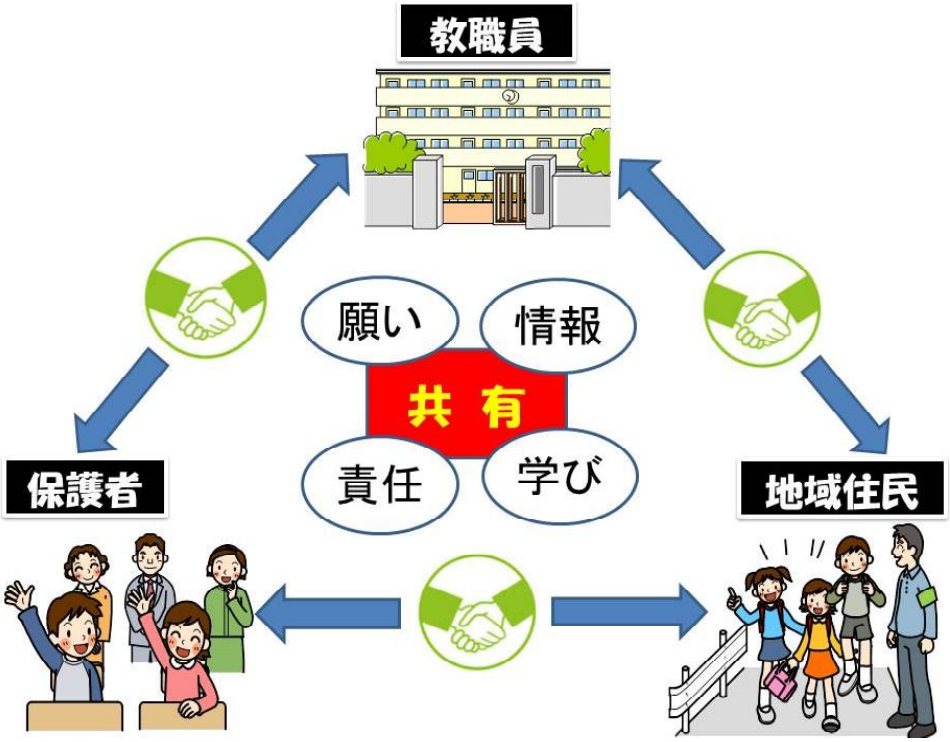
平成２７年度

地域密着型教育推進事業

実践報告集



「地域密着型教育」を通して
子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを！

学校・家庭・地域社会が連携・協力し、
(1) 子どもたちによりよい教育環境を提供します。
(2) ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを育てます。
(3) 地域ぐるみの教育活動を展開し、
明るく活力あるまちづくりに貢献します。

八戸市教育委員会

巻頭言

地域密着型教育の推進から充実のステップへ

八戸市教育委員会
教育長　伊藤　博章

平成２０年度に第一中学校、柏崎小学校が地域密着型教育モデル校として指定されて以来８年が経過しました。現在は、地域密着型教育推進事業として、市内の全小・中学校の取組となりました。

本事業は、学校・家庭・地域社会が一体となって「子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを保証する」ことを目的として立ち上げたものであります。

今年度１年間を振り返りますと、７月の美保野小学校並びに１月の白山台小学校のそれぞれの実践発表は、いずれも地域の特色を生かした取組であり、他校の取組の参考となる事例でありました。

さらに、１２月に行われた「教育の広場　はちのへ」のステージ部門では、中居林小学校地域密着型教育の実践発表が行われ、「中小グリーン」（活動組織名）の活動内容が紹介されました。特に印象に残ったことのひとつとして、様々な活動を通じて、保護者のみならず地域全体の団結力や活性化につながったとの報告があったことです。まさに、地域と共に歩む学校づくりが具現化されたことが心強く感じられました。中居林小学校の取組は、今年度の学校教育実践功労表彰にも選ばれました。また、展示部門での「我が校自慢」では、各校とも地域とのかかわりについて多くの紹介があり、地域密着型教育の裾野の広がりが感じられたことも大きな成果でありました。

市内全小・中学校で地域密着型教育を実践して３年目を迎えた今年度は、まさに集大成の年であったと言えましょう。このような節目の年に、これまで以上に学校・家庭・地域社会が連携し、子どもたちが健やかに成長する体制づくりが構築されましたことは、誠にうれしい限りであります。市教育委員会といたしまして、今後さらに充実・発展するよう、各学校を支援してまいりたいと考えております。

結びに、これまで御協力を賜りました保護者・地域の皆様、学校関係者に心より感謝申し上げますとともに、各校の取組がますます充実することを心から願い、発刊の挨拶といたします。

目　次

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　八戸市教育委員会　教育長　伊藤　博章

１章　平成27年度の事業概要
１　基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

１章　平成27年度の事業概要

１　基本方針　・・・

1章　平成27年度の事業概要

１　基本方針

各推進校は、八戸市教育委員会が定めた「地域密着型教育推進事業実施要項」、「八戸市『地域密着型教育推進事業』推進校における地域学校連携協議会の設置等に関する要綱」及び「地域密着型教育推進事業に係る『地域密着型教育コーディネーター』設置要綱」により、平成27年度の重点を中心に事業を推進する。

今年度より、全推進校で八戸市地域密着型教育推進事業予算を活用して取り組むこととする。

(1) 趣旨

児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を通じて、学校運営に関して、保護者及び地域住民等の参画を進める。

(2) 推進校における実践内容

保護者及び地域住民が、学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

①「願い」「情報」「責任」「学び」の四つを学校・家庭・地域社会が共有し、ＰＴＡ活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。

②教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。

③地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

(3) 推進校

市内全小・中学校で地域密着型教育を推進する。

(4) 推進校の組織

推進校においては地域学校連携協議会を組織し、年３回程度開催する。専門部会、企画推進部会等他の組織の設置については、推進校の裁量とする。

２　平成２７年度の重点

(1) 推進校連絡会等の開催による各校取組への支援

推進校連絡会、コーディネーター研修会等を開催し、各校の取組状況の共有や課題解決に向けた話合いを通して、各校の取組を支援する。

・推進校連絡会の開催（１回）
・コーディネーター研修会の開催（３回）
・地域密着型教育実践発表会の開催　　等

(2) 地域学校連携協議会の充実のための支援

各推進校の地域学校連携協議会が充実するよう、担当指導主事を中心に支援する。

・協議題の吟味や資料提示等の工夫及び、協議進行の工夫

・災害発生時の安全確保に係る体制についての協議　　等

(3) 一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動

地域密着型教育に対する理解が広がるよう、各学校の活動紹介など、一般市民への広報活動に努める。

・市教委による「教育の広場」の開催や「広報はちのへ」への特集記事の掲載　等

・各学校による、ホームページ、ブログ、たより等への記事の掲載　　等

３　平成２７年度の予算

学校支援地域本部事業が平成26年度で終了したため、予算関係はすべて教育指導課が担当する。なお、提出書類は様式集のとおりとする。

【 平成27年度地域密着型教育推進事業予算案（１校当たり）】

		普通規模校	小規模校	備　　考
規模の基準	小学校	100人以上	100人未満	
	中学校	80人以上	80人未満	
コーディネーター謝金		160,000	0	800円／ｈ×200ｈ
消耗品費		35,000	15,000	用紙代、インク代
保険料		各校50人まで	各校15人まで	ボランティアの保険料 300円／人

４　平成２７年度の関係行事

月	日	曜	内　　容	備　　考
4	23	木	地域密着型教育推進校説明会	基本方針、事務手続き
5	19	火	地域密着型教育コーディネーター研修会①	
7	8	水	地域密着型教育コーディネーター研修会②	発表：美保野小学校
11	26	木	地域密着型教育コーディネーター研修会③	
12	10	木	地域密着型教育推進校連絡会	
12	26 27	土 日	第２回　教育の広場	発表：中居林小学校
1	18	月	小中JS・地域密着型教育実践発表会	発表：白山台小学校
3			地域密着型教育実践報告集発行	

５　事業推進のための留意点

(1) 地域学校連携協議会を充実させ参加者の参画意識を高めるための留意点

①保護者や地域住民が関心をもちやすい具体的な内容を、分かりやすい資料を提示するなど、意見が多く出るように工夫する。

②学校の課題や児童生徒の課題については、参加者全員の課題として捉えられるようにする。

③要望、意見について、検討する機会（学校で、ＰＴＡで、企画推進委員会で等）を明らかにし、検討結果（学校行事の変更、ＰＴＡ活動の改善、ボランティアの活用等）を次回の協議会で報告するなどし、結論を急がない。

④委員全員から意見を吸い上げたり、年間行事予定等を諮り意思決定の機会をつくったりするなどして、委員としての意識の高揚をはかる工夫に努める。

⑤司会者（会長）との事前の打合せを行い、学校としてどのような話合いを望んでいるのかを司会者に理解してもらう。また、必要に応じて協議会中でも校長や教頭が司会者にアドバイスして、建設的な話合いになるように工夫する。

(2) コーディネーターの活用に関する留意点

①連絡調整のために、毎週定められた曜日に活動日を設ける。あとは必要に応じて活動するなど、年間活動時間に留意の上、コーディネーターと相談しながら効果的な活動ができるよう工夫する。

②提出書類等について年間の見通しを立て、コーディネーターに計画的に作成してもらう。

③活動報告をする際は、コーディネーターの活動には謝金が発生することから、ボランティア活動等コーディネーターとしての活動に含まれないものを記載しないよう留意する。（「地域密着型教育推進事業に係る『地域密着型教育コーディネーター』設置要綱」で定められていない内容はコーディネーターの活動としては認められない）

＜コーディネーターの活動例＞

ア　地域学校連携協議会委員等への案内の作成・印刷･発送
イ　地域学校連携協議会議事録等必要書類の作成・管理
ウ　学校支援ボランティアバンクの作成･保険手続き
エ　各専門部会の全事業についての案内文作成･発送･参加ボランティアの掌握
オ　地域学校連携協議会だよりの作成・全町内会への配付
カ　各専門部会で使用する用紙類や消耗品等の購入･会計処理
キ　授業等でボランティアが必要な教科･内容･時期の確認･調整
ク　学校が必要とするボランティアの開拓・連絡･日程調整
ケ　研修
コ　その他

６　予算から見た各校活動状況

(1) 項目ごとの予算執行状況（２月末現在）

項　　目	予算額	執行額	備　　考
コーディネーター謝礼	7,000,000	5,682,400	800円/ｈ×活動時間（55校分）
消耗品費	2,153,000	1,863,242	35,000円or15,000円（70校分）
傷害保険料	939,000	331,700	コーディネーター　85人 ボランティア　　879人

(2) コーディネーターの１校当たり月別平均活動時間（２月末現在）

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	合計
時間	4.4	15.0	13.9	13.2	4.5	11.2	14.5	14.6	13.1	11.2	13.4	129

(3) ボランティアの活動状況

	短期的活動のべ人数		長期的活動登録人数		備　　考
	69校合計	1校平均	69校合計	1校平均	
４～　７月	7,942人	115,1人	705人	10.2人	
８～１２月	8,796人	127,5人	78人	1.1人	２学期から開始
合　計	16,738人	142,6人	783人	11.3人	２学期末の人数

７　平成２７年度の成果と課題

(1) 市教委の重点等に関する取組について

①説明会・連絡会による支援

○今年度は全て市の予算を執行することもあり、説明会と連絡会で事務手続きなどの確認と情報共有をすることができた。

○各校の取組状況についての情報交換により、課題解決につながる情報を得たり、参考になる実践を共有することができた。

●市内全小・中学校実施３年目にあたり、基本的な流れや取組が定着していることもあり、説明会や連絡会の内容や進め方を見直す必要がある。

②コーディネーター研修会による支援

○コーディネーター研修会では、協議のグループ編成を工夫し、多くの学校と情報交換や交流を深めることができた。

○コーディネーターからの意見等を吸収し、事務処理の改善案を検討することができた。

●コーディネーター業務や専門性に関わる研修会等、内容の工夫をする必要がある。

③地域学校連携協議会の充実

○担当が各協議会に１度は参加するようにし、事業に関わる説明や協議会の運営や話合いの中で困っていることなどないか状況把握と支援に努めた。各協議会とも会長中心にして、子どもを中心に据えた話合いが行われた。

●他の協議会や委員などと兼任していることでの負担等、協議会の設置や他の事業等との兼ね合いを考慮していく必要がある。

●協議や取組内容について定着してきたので、各地域に合わせて無理なく継続していける取組等について検討していく必要がある。

④市民への事業に対する理解を深めるための広報活動

○「第２回 教育の広場 はちのへ」において、中居林小学校の地域密着型教育コーディネーターによる実践発表を行い、市民へ発信した。

○「地域密着だより」や学校ブログ等を通して、情報発信している学校が増えている。

●学校からの発信も増えているので、「教育の広場」や「広報はちのへ」等も活用しながら、さらに協力して各方面からの情報発信に努める必要がある。

⑵ 推進校連絡会等で協議された内容について

①地域学校連携協議会に関して

○小中一緒に行うことによって、それぞれの成果や課題を共有できた。

○中学校区の協議会でも、第２回（学校評価）を分科会形式で行うことにより、学校評価も適切に行うことができた。

●話合いが形式的になったり、活動内容が過重な負担になったりしないようにしていく必要がある。

●委員の依頼について、委嘱期間が長期になっている場合や小中の調整に苦慮している。

●話合いの際のお茶代や長年の協力へのお礼の予算があると助かる。

②コーディネーターに関して

○学校運営や地域との連携で、コーディネーターが欠かせない存在になっている。

○コーディネーターの複数体制により、地域・学校との連携が円滑にできている

○コーディネーターの活動のおかげで、教頭の負担が軽減されている。

●長く続けていたコーディネーターの後任がなかなか見つからない。

●児童生徒数の減少に伴い、コーディネーターを配置できなくなるのが心配である。

③ボランティア活動について

○学習活動支援によって活動が充実し、子どもが生き生きと活動する姿が多く見られるようになった。

○地域の方々の見守り活動により、安心感をもち、明るく充実した学校生活を送っている。

●同じ人がボランティア活動を行うことが多いため、新しい人たちの開拓が必要である。

●ＰＴＡ活動との関わりについて検討していく必要がある。

④その他

●休日の地域行事への参加を求められることが多くなってきており、負担等課題がある。

(3) コーディネーター研修会等で出された内容について

○ボランティアとの活動が楽しく、子どもたちの笑顔がみれるのがうれしい。

○研修会で他の学校の情報を聞けるので、情報交換等がとてもありがたい。

○研修会で情報交換したことなどをもとに、活動内容を広げてみたい。

●事務手続きなど、校長先生・教頭先生と一緒の研修会等を行うとどうか。

●実績簿や報告書の作成文書の様式等について、現状に合わせた見直しが必要ではないか。

●学校での取組やＰＴＡ活動等との兼ね合いで、活動を広げることが難しい。

(4) その他

●小・中学校ジョイントスクール事業やグッジョブウィーク事業との関連について検討していく必要がある。

●コーディネーターやボランティア等の活動について、教職員や保護者・地域へも周知していく必要がある。

８　次年度の見通し

(1) 平成28年度の基本方針

平成27年度同様の基本方針を基に改善しながら事業を展開する。

(2) 平成28年度の重点

①説明会・研修会等の工夫による各校の取組への支援・・・・・・　継続

②地域学校連携協議会の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　継続

③連携した取組の継続のための支援・・・・・・・・・・・・・・・・　新規

④一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動　・・・　継続

(3) 地域密着型教育推進事業予算案（１校当たり）

		普通規模校	小規模校	備　　考
規模の基準	小学校	100人以上	100人未満	
	中学校	80人以上	80人未満	
コーディネーター謝金		160,000	0	800円／ｈ×200ｈ
消耗品費		30,000	10,000	用紙代、インク代
会 議 費		**1,500**	**1,500**	**お茶代（お茶を配付）**
保 険 料		各校50人まで	各校15人まで	ボランティア保険料 300円／人

(4) 関連行事

月	日	曜	内　　容	備　　考
4	25	月	地域密着型教育推進校合同説明会 コーディネーター研修会①	事業推進の基本方針 事務手続き
7	6	水	**「地域密着型教育研修会」**	講師を招聘しての研修
11	24	木	地域密着型教育コーディネーター研修会②	
1	18	月	小中JS・地域密着型教育実践発表会	推進校からの実践発表
1	21	土	第３回　教育の広場	市民への事業の周知
3			地域密着型教育実践報告集発行	

９　地域密着型教育への取組状況に関するアンケートのまとめ

実施日　平成27年12月　　対象　校長または教頭

Ｑ１　協議会をどのように設置していますか？（単位は校）

学校単独	協議会の実施形態	中学校区	協議会の実施形態
小学校３１ 中学校１３	44校のうち２中学校区で 第１回・第３回を合同実施。	小学校１４ 中学校１２	12中学校区のうち１中学校区で第２回を分かれて実施。

Ｑ２　協議会の委員は、どのような方がなっているか？（のべ人数）

地域代表	568名	ＰＴＡ関係者	330名	学校関係者	250名
町内会長	143名	現職副会長	104名	教務主任	76名
民生委員・児童委員	52名	現職会長	96名	教頭	63名
公民館等施設職員	51名	会長のＯＢ	46名	校長	61名
交通安全協会	41名	現職その他役員	34名	生徒指導	19名
防犯協会	40名	副会長のＯＢ	7名	研修主任	10名
幼稚園・保育園	40名	その他役員ＯＢ	5名	学年主任	６名
子ども会	38名	その他	38名	その他	15名
青少協	33名				
学識経験者	26名				
体育振興会	13名				
老人クラブ	9名			合計	1148名
その他	82名				

Ｑ３　教育支援ボランティアの活用状況はどのようになっているか？（単位は校）

①学習活動に関するボランティア

	小学校	中学校	合計
校外活動安全管理	３６校	５校	４１校
読み聞かせ	３５校	２校	３７校
ゲストティチャー	３０校	７校	３７校
その他（補助等）	２８校	９校	３７校

②環境整備・安全に関するボランティア

	小学校	中学校	合計
図書館支援	２７校	１３校	４０校
安全安心見守り	３５校	９校	４４校
校庭整備・花壇	３４校	１９校	５３校
校舎整備	２２校	５校	２７校
その他	４校	２校	６校

Ｑ４　地域学校連携協議会と学校評価の関係はどのようになっているか？（単位は校）

	小学校	中学校	合　計
全委員が学校関係評価を行っている。	３４校	１９校	５３校
一部の委員が学校関係評価を行っている。	６校	５校	１１校
学校評価委員を別に設置している。	５校	０校	５校

Ｑ５　地域密着型教育に関する情報発信をどのように行っているか？（単位は校）

	小学校	中学校	合　計
地域密着型教育のたよりを作成している。	２１校	７校	２８校
参観日等に説明している。	２７校	１３ 校	４０校
学校だよりで紹介している。	３９校	１９校	５８校
ホームページ・ブログで紹介している。	２１校	１４校	３５校

１０　地域密着型教育コーディネーター業務に関するアンケートのまとめ

実施日　平成27年11月　回答者54名

Ｑ１　現在（または以前）は、どのようなお立場ですか（でしたか）？（単位は人）

	小学校	中学校	合　計
現職のＰＴＡ役員	7	4	１１
ＰＴＡ役員のＯＢ	２４	１０	３４
ＰＴＡ事務	3	5	8
その他	１１	5	１６

※複数回答あり。

Ｑ２　勤務日は決めていますか？

	小学校	中学校	合計
不定期	７	３	１０
定期	３２	１７	４９

Ｑ３　学校の窓口は誰ですか？（単位は人）

	小学校	中学校	合計
教頭	３４	１６	５２
その他	２	２	４

Ｑ４　どのような業務を行っていますか？複数回答あり（単位は人）

	小学校	中学校	合　計
①地域学校連携協議会委員等への案内の作成・印刷・発送	２０	１２	３２
②地域学校連携協議会議事録の作成・管理	２２	９	３１
③学校支援ボランティアバンクの作成・保険手続き	１６	１０	２６
④協議会だよりの作成・町内会への配付	１８	１２	３０
⑤各専門部会の案内作成・印刷・発送・ボランティア掌握	１８	６	２４
⑥用紙類等消耗品の購入・会計処理	１２	９	２１
⑦ボランティアの開拓及び連絡調整	３２	１２	４４
⑧市教委との事務連絡	９	４	１３
⑨コーディネーター研修	３２	１７	４９
⑩その他	１３	９	２２

Ｑ５　コーディネーター業務をしていて、よかったこと、改善したいことなど

＜よかった ＞

・子供たち、ボランティアさんたちの笑顔が見られて、コーディネーターをさせて頂いて幸せに思っています。
・先生方、子供たち、地域の方々たち（ボランティアさん）に大分、名前と顔を覚えて頂き、声をかけて頂く事が多くなりました。
・ボランティアさんが気軽に引き受けて下さるのがとてもうれしいです。
・複数で業務を行っているので、時間や気持ちに余裕が生まれ、活動しやすい環境です。
・教育ボランティアだよりの発行をはじめました。学校側のボランティアに対する理解が周知されているので、活動しやすい。
・玄関に地域密着掲示板のスペースをいただいているので、ボランティア活動や、地域の方々が携わった行事など、随時お知らせすることが出来る。
・コーディネーターの名札があり、学校に来た時の札に使える。
・コーディネーターの仕事を、現Ｐが理解して、後押ししてくれてうれしい。
・今年度は地域の行事に参加して、長い時間ボランティアをしました。そのとき中学生も来ていて作業合間の会話が楽しく又期待と思いました。
・少しずつ地域の方とも言葉をかわせるようになりました。いろいろな方々との出会いがあります。ありがとうございます。
・学年末の反省会などに毎回呼ばれて、楽しい時間をすごしています。

＜改善したい＞

・学校側との連絡が、先生方の多忙ぶりを見て、なかなかタイミングが見つからない時がある。
・活動について、広報誌などを通じてＰＲする必要があると思う。ＰＴＡとの交流の必要性を感じている。
・ボランティアをお願いする際、もう少し余裕があればと思っています。学校からの依頼が急だったりすると、お願いしやすい人に偏ってしまう時があるので、もう少し、いろんな方に声をかけるようにしたいです。
・ボランティアの開拓。・先生方に「こんなボランティアもありますよ！」という情報を発信したい。
・コーディネーターもマンネリ化して、自分の意欲を保つのが悩みどころでいます。
・まだまだ担任が入って打ち合わせをするということが少ないと思います。
・ＰＴＡとのつながりが減って、ボランティアの依頼をしにくい。
・もう少しボランティアとしての仕事を先生方に理解してもらえる様に自分から発信していきたいと思います。
・事務所への職場体験を依頼するので、交渉するにあたって簡単な名刺があれば良いです。
・研修会についてですが、皆それぞれ不安や悩みをかかえているのが毎回分かります。そして、グループでの協議が時間が足りない！と思います。研修会のほかに、フリーで話せる場があ　れば良いなぁと思っています。
・中学校で必要とされるボランティア、地域密着って何だろう？
・ＰＴＡ委員会と活動がダブっていて、ＰＴＡの方は委員会、常任委員会、連携協議会と、同じ内容の報告をしなくてはならなく、大変そうです。
・コーディネーターと現役ＰＴＡ執行部との関わりが少ないと思います。
・学校（教頭・校長）とコーディネーターが一緒に行う研修会をして欲しいという希望は、本部事業の頃から言われていました。学校とのコミュニケーションをとるためにも、少しでも改善できればと思います。
・ＰＴＡの活動とコーディネーターの関わり。活動内容がかぶって、協力できることは一緒に進めていっても良いのかと思いますが、コーディネーターの認知度が低いためか、うまく関わっていけない部分があります。

２章　平成27年度推進校報告書

＜小学校＞

１　八戸　… 11
２　城下　… 13
３　吹上　… 15
４　長者　… 17
５　図南　… 19
６　中居林　… 21
７　柏崎　… 23
８　小中野　… 25
９　江陽　… 27
10　湊　… 29
11　青潮　… 31
12　白銀　… 33
13　白鷗　… 35
14　白銀南　… 37
15　町畑　… 39
16　美保野　… 41
17　鮫　… 43
18　種差　… 45
19　大久喜　… 47
20　金浜　… 49
21　根城　… 51
22　白山台　… 53
23　江南　… 55
24　田面木　… 57
25　下長　… 61
26　城北　… 63
27　高館　… 65
28　根岸　… 67
29　日計ヶ丘… 69
30　是川　… 71
31　三条　… 73
32　西園　… 75
33　明治　… 77
34　桔梗野　… 79
35　轟木　… 81
36　多賀　… 83
37　多賀台　… 85
38　豊崎　… 87
39　新井田　… 89
40　旭ヶ丘　… 91
41　市野沢　… 93
42　中野　… 95
43　鳩田　… 97
44　島守　… 99

＜中学校＞

１　第一　… 101
２　第二　… 103
３　第三　… 105
４　長者　… 107
５　小中野　… 109
６　江陽　… 111
７　湊　… 113
８　白銀　… 115
９　白銀南　… 117
10　鮫　… 119
11　南浜　… 121
12　根城　… 122
13　白山台　… 125
14　下長　… 127
15　北稜　… 129
16　是川　… 131
17　三条　… 133
18　明治　… 135
19　市川　… 137
20　豊崎　… 139
21　大館　… 141
22　東　… 143
23　中沢　… 145
24　島守　… 147

＜小・中学校＞

１　田代　… 149

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　八戸小　学校
校長　橋向　久美子　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　６月　９日（火）１６：００～１７：００
②協議内容　・委嘱状交付　・自己紹介
・専門部会の今年度の活動について
・質疑応答　・その他

(2) 第２回　①実施日時　２月１０日（水）１４：５０～１６：３０
②協議内容　・来年度の地域学校連携協議会の会長と委員について
・平成２７年度の活動と平成２８年度の展望について
・質疑応答　・その他

２　上記以外の会議の実施状況

（１）専門部会　５／２８　・各専門部会　案件「今年度の事業」について
１２／１４　・学習サポート部会　案件「今年度の反省と来年度の展望」について
１２／１７　・環境整備部会　案件「今年度の反省と来年度の展望」について
１２／１８　・広報部会　案件「今年度の反省と来年度の展望」について
１／１８　・安全サポート部会　案件「今年度の反省と来年度の展望」について
１／２５　・施設開放部会　案件「今年度の反省と来年度の展望」について

（２）学校関係者評価部会（構成メンバー：連携協議会委員，PTA 執行部，校長，教頭，教務主任）
１／２２　・学校評価アンケート集計結果，自由記述について

（３）企画推進委員会　（構成メンバー：連携協議会委員，PTA 執行部，校長，教頭，教務主任）
２／１０　・学校評価アンケート集計結果を教育活動に反映させるために立案した具体的施策について

３　具体的な取組状況

（１）教育活動・学校行事

①菊づくり（６年児童　八戸菊花会から４名，講師１名）　年８回
・秋の八戸菊まつりに向けて，６年生児童が菊の栽培に取り組んでいる。（今年で９年目）
・菊の栽培を始めるにあたり，八戸の菊栽培の歴史を学んだ。（講演）

②七夕飾り作り（２年生児童，学習サポート部会）　６月９日（火），７月３日（金）
・七夕飾りを制作し，八戸七夕祭りへ飾りを出品した。

③いかの短冊飾りづくり（全校児童，学習サポート部会，地域）　７月１７日（金）
・いかの形をした短冊を制作し，八戸七夕祭りへ飾りを出品した。

④八戸三社大祭の歴史「内丸山車組見学」（３年児童，地域）　７月８日（水）７月１４日（火）
・学区内にある山車組を見学する活動を通して，郷土の歴史を学んだ。

⑤安全マップづくり（４年生児童，安全サポート部会）　６月１６日（火）
・防災教育の一環として，本校学区を探検し，安全マップを作成した。

⑥俳句教室・みやぎ山祭り（５年児童，地域）　年４回
・俳句教室を２回実施後，宿泊学習の時に種差海岸や葦毛崎展望台で吟行した。その後，俳句教室で講師の先生に添削していただいた。出来上がった俳句は，８月２９日（土）に開催されたみやぎ山まつりに奉納した。

⑦学区探検「わたしたちの町大好き」（２年児童，保護者）　９月　９日（水）
・学区内の商店や施設を訪問し，自分たちの暮らす身近な地域や人々について学習した。

⑧学区の文化財「町中探検」（４年児童，保護者）　１１月　４日（水）
・八戸中心街に点在する先人（偉人）の足跡や文化財を訪ね，郷土について学習した。

⑨あさがおリースづくり（１年児童，保護者）　１１月１８日（水）
・朝顔を育ててきた学習の締めくくりとして，乾燥させた朝顔の蔓を利用してリースづくりを行った。

⑩スケート教室での靴紐結び（１～３年児童，保護者）　各学年２回
⑪八戸市美術館見学（２年児童　コーディネーター）　１月２９日（金）
・美術館で開催されている企画展を見学し，芸術に対する興味関心を培った。

（２）環境整備
①早朝奉仕作業（児童，教職員，環境整備部会）　５月１６日（土）
・学校敷地内の環境整備（校庭，中庭，体育館及び校舎周辺の除草作業）
②お父さん会による早朝奉仕作業（教職員，保護者）　１０月１１日（日）
・学校敷地内の環境整備（校庭の側溝上蓋の清掃，ビオトープの湧水確保作業及び剪定）
③図書室整備（学習サポート部会）　年６回
・図書修理，図書室環境整備，壁面飾りつけ
④花壇整備（教職員，環境整備部会）　年４回
・花壇の草取り，苗植え等を行い花壇コンクールに応募

（３）地域との連携行事
①サマーキャンプ　（児童，教職員，三八城子ども会）　７月２５日（土）～７月２６日（日）
・施設開放部会の事業として，地域の子ども会・保護者とともに体育館に宿泊しながら共同生活の体験をした。体育館で一泊したり，流しそうめんをみんなで食べたり楽しいひとときを過ごした。
②みやぎ山祭り（児童，教職員，三八城神社，地域）　８月２９日（土）
・５年生児童が俳句を奉納したほか，児童が「八小音頭」を披露した。
③注連飾りづくり（５年児童・三八城公民館老人クラブ）　１１月９日（月）
・地域の皆様から注連縄の作り方を教わった。正月に玄関を飾る注連縄を自分の手で製作することを通して，日本の伝統行事について改めて考えるきっかけとなった。

（４）外部講師を招いてのクラブ活動　年１０回
今年度活動した全てのクラブ活動（編み物，囲碁，茶道，科学，英語，グラウンドゴルフ，絵画工作，ニュースポーツ，調理，百人一首）に，外部から講師を招いて子どもたちに，指導していただいた。

４　ボランティアの状況
（１）ボランティア登録現在数　３５人（保護者含む）※実際の活動人数は，のべ約１００名
（２）今年度ボランティア保険加入者数　６人

５　地域密着型教育の成果と課題
（１）成果
・２名のコーディネーターが保護者や地域との連絡調整役となり，様々な活動に積極的に関わってきたことで，地域や保護者の学校への支援体制が明確になっている。
・地域の歴史や伝統を学んだり，伝統行事等に参加したりする活動を，地域の方々と子どもたちがふれ合いながら継続していることで，児童は自分たちの地域に誇りをもち，地域とのつながりを深めている。
・今年度から全てのクラブ活動に，外部講師が入り活動することができた。大変好評だったため，次年度も，全てのクラブに外部講師を依頼することになった。
（２）課題
・学校診断評価の結果から，保護者は学校の活動や児童の様子について最新の情報を知りたがっていることがわかった。今後も，月２回ペースでの学校だよりの発行を継続しながら，ホームページやブログを通した情報発信を週１回のペースで行っていきたい。
・コーディネーター２名の積極的な関わりによって，教職員の準備等に係る時間が減少した反面，教職員と地域の方との関わりに変化が生じてきたように感じる。保護者からも，地域行事への教職員の参加を望む声が聞かれた。地域とのつながりを大切にし，感謝の気持ちを忘れない地域密着型教育を心がけていく。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城下小学校
校長　小　泉　孝　一　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年　６月１２日（金）午後４時
②協議内容
・委嘱状交付
・学校経営方針について
・今年度の計画について
・その他

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１２月１５日（火）午後４時
②協議内容
・平成２７年度の活動報告について
・今年度の学校評価について
・その他

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年　２月２６日（金）午後４時〔実施予定〕
②協議内容（予定）
・今年度の活動について
・今年度の学校関係者評価の状況について
・その他

２　上記以外の会議の実施状況

・特になし

３　具体的な取組状況

(1) 図書室整備
・図書整備ボランティア９名による本の修復・整頓、図書室の装飾等を、５月から１月まで計１３回実施した。

(2) 本の読み聞かせ
・読み聞かせボランティア５名による本の読み聞かせを、５月から２月（予定）まで計５９回実施した。(学級ごとに実施)

(3) 卓球部の指導
・ボランティア２名による卓球部の技術指導を、４月から２月まで実施した。

(4) 自転車教室（３学年）
・４月１６日（木）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、八戸地区交通指導隊沼館・城下支隊、沼館・城下防犯協会、城下四丁目町内会、淀町内会おたすけ隊女性部から１３名の協力を得て実施した。

(5) 交通安全教室
・４月２０日（月）に、八戸警察署、沼館警察官駐在所、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、八戸

地区交通指導隊沼館・城下支隊、沼館・城下地区防犯協会、淀町内会おたすけ隊女性部から１２名の協力を得て実施した。

(6) 三八城にこにこ教室（４学年）

・６月１９日（金）に、三八城公民館との共催で、４学年児童が三八城地区老人クラブとのふれあい交流を実施した。

(7) 地域安全マップづくり（５学年）

・１０月２８日（水）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、沼館・城下地区防犯協会等の協力を得て、学区内のフィールドワークを実施した。

(8) しめ飾りづくり（５学年）

・１１月１６日（月）に、三八城公民館との共催で、老人クラブ「寿の会」の協力を得て実施した。

(9) 「子ども・女性１１０番の家」スタンプラリー（３学年）

・１１月１７日（火）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、沼館・城下地区防犯協会等の協力を得て、学区内５事業所（デーリー東北新聞社・ミニストップ城下三丁目店・えび屋酒店・八戸燃料城下給油所・浪岡設備工業所）を訪問するスタンプラリーを実施した。

(10) 俳句教室（５学年）

・１１月１９日（木）に、沼館二丁目第二町内会長の佐々木ツタ子様を講師に迎え、俳句教室を実施した。

(11) 校外巡視活動

・７月から１２月まで毎月１回、ＰＴＡ校外指導委員会による巡視を実施した。また、沼館・城下地区防犯協会による巡視も定期的に行った。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１８人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１２人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成　果

・地域学校連携協議会では、委員の方々から学校の教育活動について協力的かつ前向きな御意見をうかがうことができ、学校運営に生かすことができた。併せて、子どもや地域に関わる有意義な情報を共有することができた。

・地域諸団体の御協力による教育活動への支援により、数々の体験的な学習を行うことができた。このことにより、児童の意欲や主体性が高まり、生き生きと活動する児童が増えてきた。

・地域密着型教育コーディネーターのコーディネートにより、図書整備ボランティアによる図書室の環境整備及び読み聞かせボランティアの活動が一層充実したものとなった。

(2) 課　題

・より多くの方々に協力していただけるよう、ボランティア登録者数を増やしていくための取組を今後進めていく必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立吹上小学校
校長　河 原 木　　聡　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　　①実施日時　　平成２７年６月１６日（火）８：３０～９：３０
　　②協議内容　　○委嘱状交付
　　ア　学校経営方針等について
　　イ　地域密着型教育推進事業の概要について
　　ウ　学校評価について
　　［資料］・平成２６年度の地域密着型教育推進事業の報告書
　　・平成２６年度の学校評価結果と報告書

（２）第２回　　①実施日時　　【参観日】平成２７年１１月２７日（金）
　　○　授業参観
　　○　教育講演会（ＰＴＡとの共催）
　　立教大学・教授　大石　幸二 先生
　　『子どもを見つめる親のまなざし』

（３）第３回　　①実施日時　　平成２８年１月２６日（火）１７：３０～１８：３０
　　②協議内容　　ア　地域密着型教育推進事業の経過報告
　　イ　学校支援ボランティアの活動報告
　　ウ　学校評価（児童・教員・保護者）の結果報告
　　エ　学校関係者評価について（意見拝聴）

２　上記以外の会議の実施状況

開催なし

３　具体的な取組状況

（１）図書室整備支援

＜日常的な活動・図書室の環境整備＞

期　　日　　毎週１回（水曜日）１０：００～１２：００
回　　数　　週１回
参加人数　　常時３名～６名（図書ボランティア）
内　　容　　図書室の環境整備作業（修理・整備・登録・装飾・廃棄）の実施

（２）環境整備支援

＜校庭草取り・運動会入場門設置作業・廊下ワックスがけ・窓ふき＞

期　　日　　平成２７年５月１７日（日）　　平成２７年１１月１日（日）
回　　数　　２回
参加人数　　保護者・おやじの会・児童・教員　　春…２６０名　　秋…１３０名
内　　容　　〈春〉・運動会に向けた校庭草取り作業・入場門設置作業
　　〈秋〉・ポリッシャーによる廊下清掃・ワックスがけ・窓ふき作業等

＜学校花壇の整備＞

期　　日　　５月から１１月
回　　数　　適時
参加人数　　３８名　保護者・教職員
内　　容　　ＰＴＡ環境厚生委員会による苗植えや草取り，花壇じまい等を実施

（３）学習活動支援

＜ふれあいタイム＞

期　　日　　５月～１２月
回　　数　　毎週火曜日に実施　年間１４回
参加人数　　２６人（地域の祖父母）
内　　容　　①おじいちゃん，おばあちゃんランド…昔の遊びを通しての児童との交流
②読み聞かせランド…ボランティアによる読み聞かせの活動を実施

＜総合的な学習の時間　５年＞

期　　日　　６月３０日（火）　７月７日（火）
回　　数　　２回
参加人数　　９４名程度　５年児童・教員　教育ボランティア：１２名
内　　容　　①鍛冶町山車組の山車小屋を訪問し，三社大祭の歴史や山車づくりを見学
②吹上山車組のお囃子の方を招いてのお囃子体験

＜総合的な学習の時間　４年＞

期　　日　　１０月２２日（木）
回　　数　　１回
参加人数　　９４名程度　４年児童・教員　教育支援ボランティア：７名
内　　容　　学区内の危険箇所の確認と「安全マップ」づくり

＜総合的な学習の時間　３年＞

期　　日　　１２月１６日（水）　１２月１７日（木）
回　　数　　２回
参加人数　　８０名程度　３年児童・教員　教育支援ボランティア：８名
内　　容　　豆しとぎづくり

（４）生活安全活動支援

＜通学路の見守り＞

期　　日　　４月～３月
回　　数　　不定期（都合がつく時間帯）
参加人数　　１９０名　保護者・地域ボランティア・教員
内　　容　　学区住民有志及び吹上地区防犯協会による登下校時の巡回指導の実施

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　２９名（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　２９名

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

・地域の教育力（ボランティア等の人材）を活用した学習活動への支援を行ったことにより，体験的学習が充実し，児童の学習に対する意欲や主体性が高まり，生き生きと活動する様子が多く見られた。
・地域学校連携協議会委員の方々から，学校の教育活動に対する建設的な意見や要望を直接うかがうことができ，学校運営の改善に生かすことができた。
・「学校教育支援ボランティア」の適切なコーディネートにより，児童の学習活動やＰＴＡ活動への支援を充実させることができた。今年度は特に，校内外の環境整備と授業の充実をサポートするという面での成果が大きかった。

（２）課題

・職員，保護者，地域の地域密着型教育に対する理解を深めるために，今後さらに学校だよりやブログ等を活用しての情報発信に努めていく必要がある。
・これまで積み重ねてきた成果を各学年で共有しながら，学習や活動をさらに充実させるとともに，教育活動への具体的な支援を呼びかけながら，地域や保護者との連携強化を図っていく必要がある。

平成 27 年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立長者小学校
校長　嶋脇　郁夫　　印

1　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回

①実施日時　　平成２７年６月２２日　※委嘱状交付式

②協議内容

◆今年度の学校経営方針（校長）、学校教育目標具現化全体構想の具体的な取組（教務）について説明し、ご意見をいただいた。

◆今年度の事業計画…学習支援部、行事支援部、安全指導部、環境整備部の重点事項について提案（教頭）し、ご意見をいただいた。

◆登下校時、地域での子どもたちの様子について情報交換した。

(2) 第２回

①実施日時　　平成２７年１０月１６日

②協議内容

◆学校経営の経過報告（校長）をした。

◆学習支援部、行事支援部、安全指導部、環境整備部の取組状況と予定。

◆放置自転車の撤去について、子ども達のあいさつも状況について、冬季の手袋の着用の勧めについて話し合われた。

(3) 第３回

①実施日時　　平成２８年１月２５日

②協議内容

◆今年度の学校教育活動の振り返りと新年度の学校経営方針について（校長）

◆学校教育目標具現化全体構想の具体的取組の評価結果について（教務主任）

◆今後の課題解決・改善に向けた取組について（教頭）その後委員からご意見をいただいた。

◆コーディネーター後継者、学校ブログ、周年事業について話題に上がった。

2　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会

①実施回数　　１　回

②構成メンバーの概要　◆事務局、コーディネーター、各専門部長

③検討内容　◆学習支援部、行事支援部、安全指導部、環境整備部の取組について

(2) 専門部会

＜学習支援部会＞

①実施回数　　４　回

②構成メンバーの概要　◆事務局、コーディネーター、学習支援部(教務主任)

③検討内容　◆学習支援活動について　◆図書支援活動について

＜行事支援部会＞

①実施回数　　３　回

②構成メンバーの概要　◆行事支援部長、教務主任、長者幼稚園主任保育士、たいなか保育園主任保育士、福聚保育園主任保育士、はくさん保育園主任保育士、サンフラワー保育園主任保育士

③検討内容　◆校内相撲大会について　◆幼保小合同学習会及び懇談会について

＜安全指導部会＞

①実施回数　　４　回

②構成メンバーの概要　◆事務局、コーディネーター、安全指導部長、地域諸団体

③検討内容　◆登校時・下校時の安全指導について　◆安全パトロール活動について　◆生徒指導情報交換会について

＜環境整備部会＞

① 施回数　　３　回

②構成メンバーの概要　◆事務局、コーディネーター、環境整備部長

③検討内容　　◆学校環境整備について

３　具体的な取組状況

(1) 学習支援部

◆学級園

５月には、学級園とフラワーロードの土起こしをしていただいた。

◆長者の歴史を聞く会

10 月には、４年の総合的な学習の時間(地域の寺社巡り)で、寺社の由来や歴史等を解説していただき学習を深めることができた。

◆南部の昔っこ

今年度は、総合的な学習の時間の計画の改善に伴い、見送ることとした。

◆ミシンの学習補助

10 月には、５年家庭科の「ミシン掛け」補助を行っていただいた。

◆図書支援

現在、20 名の方々が図書ボランティアに登録している。毎月２～３回（火曜日を中心に）図書室の本の整理・修繕・装飾などの環境整備に努めている。また、「おはなし会」（読み聞かせ）も自主的に行っていただいた。クリスマス会の読み聞かせは大変好評だった。

(2) 行事支援部

◆校内相撲大会

６月の校内相撲大会開催時には、児童の廻し締めの手伝いをしていただいた。

◆幼保小合同学習会

給食試食会では、昨年度まで配膳のお手伝いをしていただいていたが、行事計画の見直しに伴いボランティア活動はなくても実施できるようになった。

(3) 安全指導部

◆安全指導

年間を通し児童の登校時には、交通量の多い交差点に立っていただき、安全を見守っていただいている。

◆パトロール活動

児童の下校の際や近隣神社の祭礼時には、学区内をパトロールしていただき、児童の安全を見守っていただいている。

(4) 環境整備部

◆早朝奉仕作業

早朝奉仕で花壇に苗植えをする際、適切なアドバイスをいただいている。

◆花壇整備（フラワーロード土起こし・草取り）・樹木剪定は今年度はなし。

７月と 10 月には、校庭・花壇の樹木剪定と草取りをしていただいた。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　３９　人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　３０　人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

◆地域学校連携協議会では、協議会委員の方々に学校の教育方針や取組状況を知っていただき、ご意見やご指導をいただいた。開かれた学校づくりの推進に努めるとともに、地域の情報も入れながら課題解決に結び付けることができた。

◆図書支援ボランティアのお力添えをいただき、児童の読書意欲の向上を図ることができた。また、環境整備では、草取り・花壇の手入れ、樹木剪定をしていただいた。さらには、学習支援として５年ミシン掛け、３年総合的な学習の時間でお手伝いをいただいた。特に、今年度は、ミシンの整備、調整を行っていただき、授業がスムーズに展開できた。

◆学校ブログやホームページ、ＰＴＡ新聞で取り上げることによって、多くの方々がボランティア活動を知る機会となった。

(2) 課題

◆今後、長者地区各小・中学校が連携して、地域諸団体とかかわっていく必要もあるのではないか。今後ネットワークづくりを重視した地域密着型教育も考えていく必要がある。

◆保護者や地域の方々に対して、学校の取組をより理解していただくことができるように、発信する情報の内容を工夫するなど、更に質を高めていきたい。

◆コーディネーター後継者の課題

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立図南小学校
校長　小　関　恵　子　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回　①平成２７年5月１７日（日）１０：００～
②協議内容
ア　会則について
イ　今年度の組織（案）・事業日程計画の説明
ウ　平成２７年度学校経営方針・学校目標について

（２）第２回　①平成２７年8月２７日（木）１５：００～
②協議内容
ア　学校目標に係る１学期のアンケート調査結果の分析と２学期に向けた対応について
イ　授業参観しての意見・情報交換

（３）第３回　①平成２７年１１月２６日（木）１３：００～
②協議内容
ア　今年度の学校経営・運営及び活動について
イ　２学期までの学校目標に係るアンケート集計結果及び資料説明と考察
ウ　質疑応答及び情報交換
エ　学校目標に係る意見書（学校評価）の依頼

（４）第４回　①平成２８年2月２５日（木）１５：００～
②協議内容
ア　今年度の地域密着型教育について（課題・改善点等）
イ　３学期の学校経営・運営状況及び事業状況
ウ　２８年度地域学校連携協議会事業案について

２　上記以外の会議の実施状況

（１）理事による授業参観
①実施回数３回
ア　授業参観と意見交換（７月と２月）
イ　授業参観として学校保健委員会に参加（１１月）

（２）ボランティアとの意見交換会
①実施回数２回（１２月と２月）
ア　地域ボランティア（クラブ活動ボランティア）との意見交換
イ　まる付け・朝の見守り・図書のボランティアとの意見交換

３　具体的な取組状況

（１）常時的なボランティア活動
①愛好会活動の指導（１２名）：４月から実施
・野球愛好会、サッカー愛好会、バスケット愛好会、吹奏楽愛好会の練習及び試合・大会等の指導を行っている。

②朝自習の見守り（３名）：４月から実施
・職員朝会のある月曜日と木曜日に、朝自習の活動を見守っている。朝自習中には、特別な支援を要する児童などに対しても適切に対応してもらっている。
③読み聞かせボランティア（３名＋読み聞かせボランティア紙風船）
・月１回木曜日の昼、全学年に入り、本の読み聞かせを行った。学年に応じた内容の本や南部弁の語りなどで、豊かな心や本に親しむ態度を育てることができた。

④図書ボランティア（４名）
・毎週月曜日の午後に図書の整理・補修、古くなった本の廃棄処理、季節に合わせた図書室の環境整備等を実施した。
⑤クラブ活動の指導（６名）：４月から１２月まで実施
・ヒップホップダンス、家庭科、昔の遊びの３つのクラブ活動での指導・支援を実施した。バザーでは、今年もヒップホップダンスクラブによるステージ発表を実施し、観客から盛大な拍手を頂いた。
⑥まる付けボランティア（４名）４月から３月まで実施
・全児童の計算力定着のために実施しているチャレンジタイム（低・中・高学年別）及び昼休み時間に進級式プリントのまる付け補助をしていただいている。

⑦学区内巡視活動
・毎週火曜日児童の下校後、各学年の保護者が児童の安全確保のため、学区内の巡視を実施

（２）単発的なボランティア活動
①環境整備活動　第１回：５月１７日（日）、第２回：９月６日（日）実施
・校舎の窓拭き、草刈り作業、学校畑の整備作業等、児童・保護者・お父さん委員会・PTAOB延べ２５０人程で環境整備作業を実施した。
②資源物回収　　第１回：６月１３日（土）、第２回：１１月７日（土）
アルミ缶、新聞紙等の資源ごみを各町内から学校玄関前に回収し、市のリサイクルパートナー事業指定の業者に引き渡した。２回の活動で延べ６０名程が参加した。
③学校行事支援（秋を楽しむ会）１０月２８日（水）実施
・火おこしやイモ焼きの手伝いに１０人程のボランティア（保護者、地域の方、PTAOB の方）が参加してくださった。

④ PTA 行事支援（バザー）９月２７日（日）実施
・PTA 主催のバザーに、PTAOB １５名程がボランティアとして参加し、当日までの食材の準備や当日の金魚すくいコーナーや輪投げコーナー、綿あめコーナー等の支援をいただいた。

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　４７人（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　４７人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果
①今年度から、学区６町内会長様に理事として参画していただき、町内での児童の様子や学校への願いなど多方面からご意見・支援をいただける体制づくりを整えることができた。
②理事の方々から学校評価に係る意見をいただくことで、来年度の教育課程及び学校運営の改善に役立てることができた。
③日頃の子どもの成長する姿を学校ブログやボランティア通信等で情報発信をすることで、地域からの情報も入りやすくなり、子どもたちの安全・安心な生活がおくれるようになった。
④ボランティア活動を円滑に行えるよう、コーディネーターがボランティアの募集や連絡・調整を積極的に行い、教育活動を支えてくれた。

（２）課題
・今後も理事の方々や地域の皆様が、様々な学校行事や活動場面で学校の子どもたちを参観していただけるよう、情報発信をするなどして働きかけていきたい。
・地域密着型教育をさらに充実させるために、教職員の参画意識を高めるとともに保護者や子どもたちが地域行事などにも参加・協力するよう働きかけていきたい。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中居林小学校
校長　　中　村　雅　臣　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２７年６月１日（月）　１８：００

②協議内容

・学校からの説明（学校経営方針，危機管理関係，生徒指導関係，特別支援関係）についての質疑応答

・校地内駐車場内での事故防止対応策についての協議

・通学路改正後の実情について情報交換

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２７年１０月２９日（木）　１８：００

②協議内容

・１学期保護者及び児童アンケートの結果についての質疑応答と協議

・生徒指導関係，特別支援関係に関する質疑応答

(3) 第３回　　①実施日時　　平成２８年１月２５日（月）　　１８：００

②協議内容

・２学期保護者及び児童アンケートの結果についての質疑応答と協議

・平成２７年度の教育活動についての成果と課題，次年度に向けての改善策についての協議

※学校関係者評価を実施

２　具体的な取組状況

(1) 図書活動支援　　９回

〈参加人数〉　　３１名

〈内　　容〉本の修理・整頓，本の紹介コーナー作成，図書室内外装飾，読み聞かせ

(2) 学習活動支援　　９４回

〈参加人数〉　　３０１名

〈内　　容〉家庭科ミシン学習補助，家庭科調理実習補助，特別支援児童の見守り，スポーツテスト測定補助，やきいも会・もちつき会補助，町探検引率補助

(3) 環境整備活動支援　　７回

〈参加人数〉　　２６名

〈内　　容〉　山野草草取り，ヘチマ棚設営，花壇・教材園土づくり

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　７５名（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　７５名

４　地域密着型教育の成果と課題

◇地域学校連携協議会について

(1)成　果

①　学校行事における駐車場での事故防止について課題として挙げたところ，地域のボランティアの方２名に安全見守りの協力をいただくことになった。とくに，運動会や学習発表会などの学校行事の際は，校地内駐車場への車の出入りが多いため，地域の協力をいただきながら，児童の事故防止に努めていきたい。

②　生徒指導や特別支援教育に関する情報提供を行い，不登校傾向の児童や登下校時または放課後の行動に特別な配慮が必要な児童についての共通理解を図った。地域の方が家庭訪問をしてくださったり，危険なことをしていると声掛けをしてくださったりするようになり，「子どもは地域で育てる」という意識が高まってきた。

(2)課　題

毎回挨拶について話題になるが，なかなか改善が図られない。校内ではよく挨拶ができる児童でも，通学路の途中で出会った交通指導隊の方などにはまだ自分から挨拶ができないという指摘があった。日頃お世話になっている地域の方への感謝の気持ちをもち，進んで挨拶できる児童を育てていくことが課題である。

◇学校支援ボランティアについて

(1)成　果

①　本校の学校支援ボランティア「中小グリーン」の活躍を保護者に紹介する機会をもつと同時に，ボランティア募集の手紙の内容をわかりやすく工夫して配付したところ，前年度よりも登録者数が増え，活動もさらに活発になった。

②　２名の学校支援コーディネーターが交代で毎日のように来校し，ボランティア活動の窓口及び推進役としてリーダーシップを発揮してくれるおかげで，多くの場面で支援を得ることができた。ボランティア活動の活性化は，子どもたちの充実した学習及び教職員の負担軽減のために大変有効であった。

③　今年度は「教育の広場」で地域密着型教育について実践発表を行う機会をいただいた。発表に向けて，学校支援コーディネーターと何度も打ち合わせの機会をもったことが今年度の活動を見直すために有効であった。また，学校支援コーディネーターやボランティアの方々が，自校のボランティア活動に誇りをもって取り組むためにも大変よいきっかけとなった。

(2)課　題

①　現在の学校支援コーディネーターは１名がすでに子どもが義務教育を終えており，もう１名は，子どもの卒業により，今年度いっぱいで小学校のＰＴＡを引退する立場にある。後継者の目途が未だ立っておらず，その人選が今後の大きな課題となっている。

②　発達障害のある児童の支援にボランティアの手を借りる場面が多くなっている。複数のボランティアが交代で見守る際の引き継ぎや申し送り事項を明記することにより，スムーズな支援が可能になると考える。ボランティア同士の情報交換の場を確保していくことが課題である。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立柏崎小学校
校長　　髙　野　康　一　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回（第三中学校と合同開催）
①実施日時　平成２７年５月２０日（水）１７：３０～
②協議内容　○今年度の学校目標と重点施策について
○今年度の地域密着型教育における取組計画について
○各専門部会の今年度の取組について

（２）第２回
①実施日時　平成２７年１２月９日（水）１７:３０～
②協議内容　○学校目標にかかる学校評価について
○地域・家庭・学校の連携について

（３）第３回（第三中学校と合同開催）
①実施日時　平成２８年２月３日(水)１８：００～
②協議内容　○今年度の取組について
○次年度の学校運営・行事について

２　上記以外の会議の実施状況

特に開催していない。

３　具体的な取組状況

（１）交流連携部会
〔連携行事〕
①校外子ども会　町内会役員等
7／17…26人　12／18…34人
②柏崎地区区民運動会（9／6）　本校校庭にて　全校児童参加
・学年で行う種目、町内対抗の種目、全員による柏崎音頭　等あり
③親と子のウオーク・ラリー（9／27）
③どんど焼祭（1／10）　本校校庭にて
④PTA主催第３６回合同演奏会（1／23）
・吹奏楽部・合唱部・バトン部・６年生合唱のステージ演奏、運動部映像発表
・多数の保護者・父親の会、全教職員の協力
〔学校間連携〕
①第三中学校…小・中ジョイントスクール研究会、グッジョブ、一日入学（６年生）
②幼稚園・保育園…情報交換会、園児・児童交流会「おまつりひろば」、園児授業参観
③八戸盲・聾学校…授業交流（社会科見学、鑑賞教室、スケート教室等）
本校校内マラソン大会への参加
盲・聾学校の校舎や寄宿舎の見学や手話体験
インクルーシブ教育システム構築モデル地域推進事業による共同学習

（２）環境整備部会
①図書室整備（毎月２回）　本のコーティング、本の修理・背ラベルの付け直し
②草取り・側溝砂上げ奉仕作業（5／9）　保護者・地域・教職員・児童　465人
草取り奉仕作業（9／17）　地区老人クラブの方々 17人
③校内清掃(窓ふき・床みがき)（10／10）　保護者・地域・教職員・児童　243人

（３）安全安心部会
①集団下校指導　地域関係機関・町内会役員・保護者
4／24…37人　12／18…42人

②夏休みプール監視（7／23～8／21）
③交通少年団活動（9／23）　交通安全マスコット配付
④柏崎地区安全安心パトロール（青色回転灯車）
⑤PTA防犯ボランティアパトロール
⑥防犯協会パトロール
⑦類家防犯協会パトロール
⑧柏崎地区交通指導隊

（４）教育活動部会

①ボランティアによる夏休み学習会（7／22～7／24）
○午前・午後の部に分けて実施　柏崎小学校図書室利用
○楽しい音読や読み聞かせ教室、英語で遊ぼう、楽しい音読、高校生による学習
・ボランティア人数　　八戸東高校生：のべ52人　地域・保護者：のべ21人
・参加児童数　のべ374人

②読み聞かせ「かしわお話のたまご」
・毎月１回の朝の読み聞かせ活動実施（全学年一緒）
・入学おめでとう読み聞かせ会（5／26）１年生対象　　読み聞かせメンバー８人

③授業支援
○１学年　・動物ふれあい体験学習手伝い（10／22）
・生活科「むかしのあそびを楽しむ会」（2／2）　地区老人クラブの方々
○２学年　・生活科「おまつりひろば」幼保小交流活動（9／17）
・生活科「まちたんけん」（6／1・11／10）２回　地域の公共施設見学
・生活科（烏帽子づくり）（1／15～27）地域の方
○３学年　・総合的な学習の時間「学区探検」（6／22・10／23・11／12）３回
○１～３年・スケート教室ひも結び
○４学年　・自転車教室（4／21）こどもの国にて
・総合的な学習の時間「福祉体験」（6／10）
○５学年　・総合的な学習の時間「安全安心マップ作り」（9／25）

④クラブ活動ゲストティーチャー　　茶道クラブ
⑤愛好会指導および見守り　地域・保護者
⑥教材園の土おこし（5／9）

（５）ボランティアの集い　　2／15

①各ボランティアによる情報交換　　地域・保護者の方々参加

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　４０９人（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　４０人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

○地域の方々の協力による教育活動への支援により、安全に多くの体験的な学習を行うことができた。このことにより、児童の意欲や主体性が高まった。
○集団下校、校外子ども会に参加する地域の方々が増え、児童と顔見知りになり、児童と地域の方々がつながってきている。
○地域学校連携協議会による学校関係者評価を行ったことにより、地域・保護者の立場から、「共育(共に育て、共に育つ)の精神」にたって意見交換することができた。

（２）課題

○より一層、地域密着型教育を充実させるためには、小・中学校の連携を一層強化し、地域への情報提供を積極的に行う必要がある。また、今後も教職員はもとより、保護者や子どもたちが地域の様々な行事や活動に参加・協力することで、まちづくりに貢献していくことが大切であると考える。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 小中野小 学校
校 長　　井 上　貫 之　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回

①実施日時　　平成２７年 ６月　８日（月）　１８時３０分

②協議内容　　・会則について
・会長及び副会長の選任
・学校経営方針説明
・今年度の事業計画説明

（２）第２回

①実施日時　　平成２７年１２月１７日（木）　１４時００分

②協議内容　　・今年度の活動状況報告
・教育活動状況について
・成果と課題について

（３）第３回（予定）

①実施日時　　平成２８年 ２月２５日（木）　１８時３０分

②協議内容　　・各プロジェクト活動状況及びボランティア活動状況報告
・各校の教育活動状況について
・次年度の計画についての確認

２　上記以外の会議の実施状況

開催なし

３　具体的な取組状況

（１）学習支援事業

①生活科町探検、八戸市内自主見学・景観学習（総合的な学習の時間）の支援
グループごとに１～２名の保護者がつき、安全確認と見守り

②家庭科調理実習支援
調理実習時における助言と補助

③読書活動支援
朝の読み聞かせ（全学年各学期１回）、おはなし会（第１・３木曜日の昼休み）
本の補修、図書室の環境整備

④部活動支援
野球、ミニバスケットボール、バレーボール、吹奏楽、卓球における技術指導及び練習見守り（通年）

⑤小中野小学校書道展・書初め教室支援

作品掲示準備、書初めの助言・補助

⑥小中野小学校創立１４０周年記念事業支援

掲示物準備、記念事業の計画・実践、記念誌の編集・校正、式典での受付・接待・案内・補助

（２）地域連携事業

①小学校・地区合同運動会（５月２４日）

②民生児童委員との懇談会（７月１３日、３月７日…予定）

③ボランティア報告会・交流給食（１２月１７日）

（３）環境整備事業

①校地内の草取り（親子奉仕作業）

②花壇づくり

（４）安心・安全事業

①交通安全マスコット配布（９月２８日）

②長期休業中の校外巡視（夏：７回、冬：２回）

③プール見守り支援（夏休み）

④登校時交通安全指導（全学年保護者分担　６回）

⑤登下校時見守り

地域諸団体有志による登下校時の交通安全指導及び見守り（長期休業を除く平日）

４　ボランティアの状況

（１）ボランティアの登録現在数　・・・　１８４名

（２）今年度ボランティア保険加入者数　・・・　５０名

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

組織や活動について、コーディネーターを中心に地域の方々とコミュニケーションを図りながら、それぞれの立場や持ち場で意見や感想を出し合い、学校支援ボランティア申込書の様式を改善するなどしてスムーズに運営できた。読書活動や総合的な学習の時間での支援等、計画的にボランティアの活用が図られ、各活動が充実している。地域と学校とのつながりを保護者や地域に発信するよう心がけたことで、来校する方や子どもたちの笑顔がたくさん見られるようになった。

（２）課題

小中野地区にまだまだいると思われる人材を今以上に発掘したり活用したりするために、地域からの情報にさらに耳を傾けていきたい。また、地域密着型教育についての情報発信の仕方を工夫したり、教職員一人一人が、地域の方々や中学校と積極的に関わっていくことができるよう、校内での意識を高め、「地域の中の学校」としての教育活動が活性化するようにしていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江陽小学校
校　長　　堰　合　雅　弘　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　（小中合同）

①　実施日時　　平成２７年５月２２日（金）　１６：３０～１７：１０

②　協議内容　　・委嘱状交付　・会長、副会長の指名　・会則審議

・昨年度の協議会活動、小中学校経営、小中学校運営報告

・今年度の小中学校経営、小中学校運営方針、協議会活動計画の説明

・質疑応答

（２）第２回　　（小中合同）

①　実施日時　　平成２７年１１月２６日（木）　１８：００～２０：００

②　協議内容　　・今年度の小中学校経営、運営及び活動について

・質疑応答　・情報交換　　・学校評価の依頼

（３）第３回　（小中合同）

①　実施日時　　平成２８年２月２３日（火）　（実施予定）　１８：００～２０：００

②　協議内容　　・今年度の小中学校経営、小中運営及び事業報告

・来年度の小中学校経、運営及び事業、地域学校連携協議会会議の日程

２　上記以外の会議の実施状況

（１）地域づくり会議専門部会

①　実施回数　１回　　（５月２２日）

②　構成メンバーの概要

・町内会長　　・地域各種団体長　・両校の職員、ＰＴＡ役員

③　協議内容

・専門部会の現状、地域や学校の課題、要望

（安心・安全づくり、人づくり、まちづくり、健康づくり、環境づくり）

３　具体的な取組状況

（１）安全・安心活動

①　交通安全見守り隊の方々による朝・夕の立哨と巡回（通年）　１６名

②　交通安全教室（４月１３日）１３名　‥‥ 歩行訓練の見守り

③　緊急引き渡し訓練（６月１０日）３名‥‥校地内の誘導

④　交通少年団街頭指導（７月９日～１６日）２名‥‥登校時、交通安全の呼びかけ

⑤　「子ども１１０番の家」点検（８月２２日）６名‥‥現状確認、地図の作り直し

⑥　交通安全標語づくり（８月末）‥‥青少協主催のコンクール。入選作品を掲示

⑦　交通安全マスコット配布（１０月５日）２０名‥‥メッセージとティッシュ配布

⑧　防災教室（２月２６日）１名‥‥３・１１の様子を映像と作文で

（２）教育活動

①　外部人材を活用した授業

・畑栽培（４月～１１月、１名）　・さきおり（４月～１１月、２名）

・江陽の移り変わり（９月、６名）　・戦争体験（９月８日、１名）

・まめしとぎづくり（１２月１７日、１名）

・書き初め（２月８日、４名）　・ジャズダンス（２月、１名）

②　図書ボランティア（ 通年）１０名‥‥読み聞かせ、図書整理

③　江陽音頭指導（５月２回、５名）‥‥婦人会の方による指導

④　運動会協力（５月１７日）４名‥‥旅人塾による用具準備や校地内の誘導

⑤　小中合同あいさつ運動（９月２９日～１０月１日）５０名‥‥教員・児童・中学生が参加

⑥　すこやか会議（９月２日、１０名）‥‥学校保健会議（ゲームについて）

⑦　招待給食（１１月２０日、２４名）‥‥お世話になっている地域の方を給食に招待

（３）環境整備活動

①　江陽緑地公園清掃・除草（７月１９日、１００名）

（４）地域行事

①　スポーツ交流会（９月６日、４０名）‥‥地区対抗スポーツ大会

②　クリスマス会（１２月１３日）１０名‥‥子ども会主催、音楽部参加

③　どんと焼き（１月１０日）２０名‥‥子ども会主催、餅つき、お汁粉、甘酒

４　ボランティアの状況

（１）　ボランティア登録現在数　現在登録　１１名　（保護者含む）

（２）　今年度ボランティア保険加入者数　　１２名

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）　成　果

①「子ども１１０番の家」点検では、看板や建物が無くなっていたり見えづらくなっていたりしていることがわかった。地図を作り直し、修繕を要請した。

②各学年からボランティアの要請が増えた。子どもが生の声を聞いたり本物を体験したりすることで、感動と意欲が高まった。ボランティアとの交流も深まり、地域への愛着も強くなった。

（２）　課　題

①コーディネーターが中学校にいるため、連絡がスムーズにいかない。小中学校に交互に出勤する体制ができると、ボランティアの活用がもっと活発になるのではないか。

②部活動のボランティアを集めることが難しい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　湊　小　学校
校長　田　中　昭　子　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回地域学校連携協議会（小中合同）

①実施日時　　平成２７年５月２５日（月）１８：００～

②協議内容（箇条書きで）

〇委嘱状の交付、出席者の自己紹介

〇会長・副会長の指名

〇議事

・今年度の目標

・地域密着型教育における取組計画

・今年度の取組についての意見・要望

(2) 第２回地域学校連携協議会（小学校単独）

①実施日時　　平成２７年１２月７日（月）１８：００～

②協議内容（箇条書きで）

〇２学期の様子について（説明、質疑応答）

・現時点までの取組について

・学力の状況について

・学校評価アンケートの結果について

〇評価及び意見

(3) 第３回地域学校連携協議会（小中合同）

①実施日時　　平成２８年１月２７日（水）１８：３０～

②協議内容（箇条書きで）

・今年度の取組について

・学校評価結果の報告

・次年度の教育計画について

・地域からの情報等

２　具体的な取組状況

(1) 読み聞かせ活動

・１学期と３学期に各１回ずつ低学年、中学年、高学年ごとに本の読み聞かせをした。

(2) 学習支援

・回数８　　・参加人数８名

・夏休み中に５回、ボランティアによる学習会を行った。夏休みの宿題を中心に指導し、長期休業中の学習習慣の確立を図った。

・家庭科におけるミシンがけの補助を行った。

(3) 郷土芸能指導

・回数１７　　・参加人数４名

・湊に伝わる郷土芸能である「湊沖あげ音頭」と「浜っ子勇み太鼓」を５年生と６年生が学習発表会で発表することになり、その指導のために地元「湊沖揚男組」の方々に来ていただいた。

(4) 校地内外の環境整備

・回数３０　　・参加人数１名

・校地内の壊れたところ（ドアや窓ガラス等）の他に行事に使う道具の修繕、校地外の草刈り等様々な場面で、環境整備に協力してもらっている。

(5) 部活動指導・補助

・回数１２０　・参加人数４名

・野球部とサッカー部については、担当職員が指導する補助をしてもらったり、対外試合の引率の手伝いをしてもらったりしている。バスケット部については、外部指導者として実質的な指導をお願いしている。

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　３１人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　２３人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・ボランティア登録者が増えてきて、コーディネーターが中心になってボランティア活動を展開できるような仕組みをつくることにより、ボランティア活動が充実してきた。

・学校での活動を地域に発信する場が確保できるだけでなく、地域からの情報も収集でき、学校と地域の役割が明確になった。

・保護者や地域の方の協力を得ながら、体験的な活動に数多く取り組ませたことにより、児童の地域や郷土を大切にする心を育成することができた。

・地域学校連携協議会では、学校の教育活動について数多くの建設的な意見をいただき、学校運営の改善に生かすことができた。

(2) 課題

・ボランティア活動が充実する一方、ボランティアと職員との打合せ時間の確保が難しくなってきている。

・「地域密着型教育」の趣旨を保護者や地域の方々にさらに周知し、さらにボランティアの登録者を募るとともに、ボランティアを活用する活動内容を工夫していく必要がある。

・中学校と共通理解を図る時間が十分にとれなかったので、連携を密にして、同一歩調で進めていくことが必要である。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立青潮小学校
校長　大 久 保 伸 夫　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年６月２５日（木）午後６時３０分から
②協議内容　ア 委嘱状交付
イ 会則及び協議会組織について
ウ 会長・副会長指名，挨拶
エ 学校経営方針，今年度の教育活動計画等説明
オ 地域学校連携協議会組織・年間計画審議

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１０月２８日（水）午後６時３０分から
②協議内容　ア 今年度の教育活動の実施状況説明
イ １学期末学校関係者アンケート結果説明
ウ 教育支援ボランティア活動の実施状況説明

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年１月２６日（火）午後６時３０分から
②協議内容　ア 今年度の教育活動の実施状況説明
イ 学校評価結果説明及び学校関係者評価
ウ 平成２８年度学校運営基本方針及び年間行事予定説明
エ 教育支援ボランティア活動の実施状況説明

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施回数　１　回
②構成メンバーの概要　校長　教頭　コーディネーター
③検討内容　ア 地域密着型教育の方針及び活動内容について
イ 学校支援ボランティア活動計画について
ウ 学校図書館支援ボランティア活動の進め方について

３　具体的な取組状況

(1) 教育環境整備
ア　図書整備　12 月 7 日　12 月 16 日　（のべ６名）
図書室・来客用玄関掲示整備活動及び図書データ登録等

(2) 教育活動支援
ア　１年給食配膳支援　4 月 13 日　14 日　15 日　16 日　（のべ３６名）１年給食指導支援
イ　青潮音頭指導　5 月 15 日　18 日（のべ７名）青潮音頭踊り方の指導
ウ　お茶の入れ方　5 月 28 日（　１名）５年家庭科学習支援

エ　町探検活動支援　　9月18日（１４名）２年生活科学習支援
　　10月29日（　７名）３年総合的な学習の時間学習支援
オ　絵本読み聞かせ　　6月25日　7月14日　9月17日　10月23日　11月10日
　　12月10日　1月29日　　（のべ２３名）
カ　部活動見守り　外部指導者指導　部活動開催日　（外部指導者登録状況７名）

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２１名（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１４名

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①　学校の教育活動について直接説明することで理解が深まり、ボランティア支援や非常災害時の対応についての協力を得る体制ができた。また、地域学校連携協議会を通して、学校・保護者・地域関係機関の三者の考えを交流して、よりよい課題解決のために検討を深める場が確立した。

②　校内にコーディネーターやボランティアが使用できる専用室を確保したことにより、活動がしやすくなった。学校図書館に関わるボランティア活動は定期的に行われ、学校図書館環境整備、図書データ登録作業、読み聞かせ活動に取り組んだ。特に、読み聞かせは、楽しみにしている児童もたくさんいるので、昨年度より回数を増やして実施することができた。読書に親しむ児童も増えてきている。

③　コーディネーター２人体制により、コーディネーター同士で話し合い、協力し合いながら運営できるようになり、学校支援活動の充実やコーディネーターの負担軽減につながった。来客用玄関掲示板に地域のコーナーを設置するなどの情報提供活動により、保護者や地域の理解がさらに深まった。

(2) 課題

①　学校としてどのようなボランティア支援を必要としているのかを改めて確認し、コーディネーターが計画的に活動できる環境づくりに努めたい。また、教育支援ボランティア活動に参加した後のコミュニケーション活動を充実させるなど、楽しく誰もが参加できる活動にしてボランティアの人材確保を進めていく必要がある。

②　地域学校連携協議会の機能を充実させ見通しをもったものにするために、より具体的な内容について協議をしていく必要がある。

③　２つの中学校区や各町内会との連携を図るために、地域密着型教育のねらいや推進状況などについての情報提供を今後も積極的に行っていく必要がある。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀小学校
校長　梅　村　千鶴子　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回（白銀中学校・白鷗小学校と合同開催）
①実施日時　平成２７年６月１日（月）１８：３０　白銀中学校
②委嘱状交付　教育委員会説明
③協議内容　会則の審議・承認、会長・副会長の指名、会長あいさつ、組織及び今年度の計画、学校経営方針、ＰＴＡ活動計画

（２）第２回（白銀中学校・白鷗小学校と合同開催）
①実施日時　平成２７年１１月１１日（水）兼白銀中学校区ＪＳ
②白銀中学校区ＪＳ授業研究会・全体会・研究協議・分科会参加
③協議内容　各校取組状況、各校の学校評価

（３）第３回（白銀中学校・白鷗小学校と合同開催）
①実施日時　平成２８年１月２０日（水）
②協議内容　今年度取組状況、来年度の計画

２　上記以外の会議の実施状況

（１）地域学校連携協議会企画・推進部会　３回
地域学校連携協議会の開催内容について
各校取組状況、各校の学校評価

（２）地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「教育講演会」
（青森山田高等学校男子新体操部監督　荒　川　　栄　氏）
９月２６日地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員保護者参加

（３）地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「懇親会」
１１月１３日地域密着型教育取組状況の説明、地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

３　具体的な取組状況

（１）環境整備部会
○校内奉仕作業
・玄関窓ふき、下足箱清掃

（２）交流連携部会
○ＪＳ事業
・６年生の白銀中学校の授業と市中体壮行会の参観
・６年生の立志式の参観

○地域諸団体主催行事
・白銀地区三校合同歓送迎会・白銀児童館運営委員会・五校連絡協議会
・三嶋例祭への出店と作品の出品・白銀地区区民運動会
・子ども会による夏休みラジオ体操や行事への参加
・白銀すもう愛好会、白銀振興会白銀地区すもう大会開催
白銀小学校、白鷗小学校、白銀南小学校の４年生以上の児童参加
・白銀地区敬老会への参加
・白銀まつりパレードへの参加

・公民館祭への作品の出品・体育振興会による野球教室への参加
・ライオンズクラブ主催なわとび大会への参加、白銀いろはカルタ大会への参加
○情報発信
・学校新聞、学校便りの町内会への配布・ホームページの更新・ブログの更新
（３）学習指導部会
○ＪＳ事業
・「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」の協同実践、学習のきまり・家庭学習の推進（一人勉強ノート）
○ＧＴによる指導
・１年…もちつき会　・２年…学区探検
・３年…豆しとぎづくり、昔のくらし体験
・４年…水くみ体験　・５年…いかめしづくり、沖揚勇音頭
・６年…エコキャンドルづくり
○読み聞かせ
・シロガネーゼによる読み聞かせ（毎週木曜日の朝）
○習　字
・習字の指導の補助、書き初め教室の指導
（４）生徒指導部会
○ＪＳ事業
・あいさつ運動
○部活動、クラブ活動
・クラブのボランティア
お茶生け花、バレーボール
○防犯パトロール
・夏休み、冬休みに午前、午後
○保護司との授業（ＤＶＤの視聴、話し合い）

４　ボランティアの登録現在数
（１）ボランティア登録現在数　　５５人（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題
（１）成果
○地域の方々に各校の学校の現状や課題を理解し、協力していただいている。
①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」を協同実践し、白銀中学校区ＪＳとの一体化の推進
②地域学校連携協議会のポスターの掲示、地域学校連携協議会だよりの発行による、学校・家庭・地域の連携の推進
③教育支援ボランティアの協力により、より専門的な内容を教えてもらったり、個に応じた丁寧な指導をしていただいたことにより、児童の確かな学びが見られた。

（２）課題
○「地域密着型教育」を通して、学校・家庭・地域がさらに連携・協力し、今後どのような課題に取り組んでいくのか明確にしていく必要がある。
①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」に成果が出てきたが、今後も継続する。
②家庭での学習習慣・読書・お手伝いをさらに定着させる。
③コーディネーターと学校と地域・家庭との「つながり」をさらに強化する。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白鷗小学校
校長　田　村　　元　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回（白銀中学校・白銀小学校と合同開催）
①実施日時　平成２７年６月１日（月）１８：３０　白銀中学校
②委嘱状交付　教育委員会説明
③協議内容　会則の審議・承認、会長・副会長の指名、会長あいさつ、組織及び今年度の計画、学校経営方針、ＰＴＡ活動計画

（２）第２回（白銀中学校・白銀小学校と合同開催）
①実施日時　平成２７年１１月１１日（水）兼白銀中学校区ＪＳ
②白銀中学校区ＪＳ授業研究会・全体会・研究協議・分科会参加
③協議内容　各校取組状況、各校の学校評価

（３）第３回（白銀中学校・白銀小学校と合同開催）
①実施日時　平成２８年１月２０日（水）
②協議内容　今年度取組状況、来年度の計画等

２　上記以外の会議の実施状況

（１）地域学校連絡協議会企画・推進部会　３回
地域学校連絡協議会の開催内容について
各校取組状況、各校の学校評価

（２）地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「教育講演会」
（青森山田高等学校男子新体操部監督　荒川　栄　氏）
９月２６日地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員、保護者参加

（３）地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「懇親会」
１１月１３日地域密着型教育取組状況の説明、地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

３　具体的な取組状況

（１）環境整備部会
○校外奉仕作業
・高見町老人クラブ『睦会』による花壇の花植え、草取りの手伝い
・お父さん協力会による運動会入場門の設置
・地域の方による運動会大漁旗の設置
・３・４学年ＰＴＡによる除草作業
○校内奉仕作業
・お父さん協力会による本校舎３階廊下壁面のペンキ塗り
○図書ボランティア　年７回
・図書室の環境整備
・蔵書の整理

（２）交流連携部会
○ＪＳ事業
・６年生の白銀中学校の授業と新人戦壮行会の参観
○地域諸団体主催行事
・白銀地区三校合同歓送迎会・白銀児童館運営委員会・五校連絡協議会
・三嶋例祭への出店と作品の出品・白銀地区区民運動会（本校）
・子ども会による夏休みラジオ体操や行事への参加
・白銀すもう愛好会、白銀振興会白銀地区すもう大会開催

白銀小学校、白鷗小学校、白銀南小学校の４年生以上の児童参加
・しみず保育園運動会（本校）・白銀地区敬老会への参加・福祉パレードへの参加
・白銀まつりパレードへの参加・公民館主催水泳教室の開催（本校）
・公民館祭への作品の出品・体育振興会による野球教室への参加
・ライオンズクラブ主催なわとび大会への参加

○情報発信
・学校新聞、学校便り、白銀中学校区地域学校連携協議会だよりの町内会への配布
・ホームページの更新

（３）学習指導部会

○ＪＳ事業
・「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」の協同実践、学習のきまり・家庭学習の推進（一人勉強ノート）

○ＧＴによる指導
・加藤たい子さんとそのお仲間による運動会『十二足』の指導
・１年…むかしの遊び・２年…白銀地区町たんけん・３年…白銀の昔を知ろう
・５年…八戸の海の仕事

○読み聞かせ
・読み聞かせボランティアによる朝と昼休みの読み聞かせ年７回

（４）生徒指導部会

○ＪＳ事業
・地域学校連携協議会と連携したあいさつ運動（年２回）

○交通安全
・交通指導隊２名、みどりのおばさん１名とＰＴＡによる横断指導
・みなと白銀交番、交通安全啓発ののぼり旗の設置

○防犯パトロール
・白銀地区防犯協会による特別巡視
毎週月・金曜日児童、生徒の下校時刻帯パトロール実施、スーパー、コンビニ等への立ち寄り

○保護司による「万引き防止」授業

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　１４６人（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　１人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

○地域の方々に各校の学校の現状や課題を理解し、協力していただいている。
①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」を協同実践し、白銀中学校区ＪＳとの一体化の推進
②地域学校連携協議会のポスターの掲示、地域学校連携協議会だよりの発行による、学校・家庭・地域の連携の推進
③読書量・図書館利用の増加
④校外学習での地域の方々の協力
⑤部活動のコーチ・見守りボランティアと個別指導時間の確保

（２）課題

○「地域密着型教育」を通して、学校・家庭・地域がさらに連携・協力し、今後どのような課題に取り組んでいくのか明確にしていく必要がある。
①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」がまだ十分ではないため、今後も継続する。
②家庭での学習習慣・読書・お手伝いをさらに定着させる。
③コーディネーターと学校と地域・家庭との「つながり」をさらに強化する。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南小学校
校長　佐　藤　修　士　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年６月１６日（火）　１８：３０～１９：３０

②協議内容

・会則の承認
・会長，副会長の指名，挨拶
・組織について
・年間計画について
・小・中学校からの説明(経営方針)
・質疑応答，要望，意見等
・八戸市教育委員会より

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１２月３日（木）　１８：３０～１９：３０

②協議内容

・学校自己評価の結果報告（小・中校長）
・委員のみなさんから(アンケートをもとに情報交換)
・質疑応答，要望，意見等
・その他

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年３月中旬（予定）

②協議内容

・平成２７年度学校評価報告
・平成２７年度活動報告
・平成２８年度の事業計画
・その他

２　具体的な取組状況

(1) 安全･安心支援

・見守り隊：安協支部，地区有志による登下校時の見守り（登校日）　約８名

・防犯パトロール：安協支部，地区有志による登下校時の見守り（週２回程度）　　約２名

・ＨＥＬＰ活動：お世話になった地域の方々に感謝の絵手紙を出す（１２～１月）約１１０名へ

(2) 情報共有支援

・すこやかみなみネット情報交換会：地域関係者が一堂に会しての情報交換会（７月，１月）

約７０～８０名参加

(3) 教育活動支援

・えんぶり指導：３年生が大久保えんぶり組の親方を招いて学習会　（９～１０月）　１～２名

・えんぶり発表の補助：３年生が「学習発表会」で発表する際の囃子方（１０月）　４名

・ホタルの学習：４年生が白銀南公民館館長を招いて学習会（６月）　１名

・相撲指導：白銀地区相撲大会に向け，地域の方から心技体の指導（８月）　１名

・「八幡馬」指導：１年生が老人クラブの方々から運動会の踊りの指導（５月）　４名

・運動会入場門設置，撤去：おやんずの会（５月）　５名

・図書ボランティア：図書室の本の修繕・図書室整備(月２回程度)　２４名

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　４０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・教育活動支援が充実した。

・学習環境が整備された。

・学校での活動を地域に発信する場が確保できるだけでなく、地域からの情報も収集できた。

(2) 課題

・地域の人材の確保（固定化）

・コーディネーターの活用

・時間の確保・調整(地域やＰＴＡの会議が他にも多くあるため)

・教職員や保護者への周知

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立町畑小学校
校長　蔦　林　洋　司　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①平成２７年　６月　８日（月）午後６時３０分
②協議内容　○委嘱状交付
○会則の承認，会長・副会長指名
○学校経営方針について
○今年度の計画について

(2) 第２回　　①平成２７年　９月２９日（火）午前１１時３０分
②協議内容　○地域密着型教育の推進状況について
○学校目標評価中間報告について
※給食の試食会

(3) 第３回　　①平成２８年　２月　１日（月）午後６時００分
②協議内容　○地域密着型教育の総括（成果と課題）について
○学校関係者評価について

２　上記以外の会議の実施状況

今年度は開催なし

３　具体的な取組状況

(1) 教育活動

《読み聞かせ支援》
○ボランティアの方による，年間を通して週１回各学級を回っての読み聞かせ。

《学習活動支援》
○４月～９月　…１～４年生の畑作業補助　ボランティア１名
○４月～２月…隔週木曜日の将棋クラブ指導補助　ボランティア１名
○　６・７月，１１・１２月　…５年生家庭科ミシン学習活動補助
ボランティアのべ３５名
○１０／２９　…２年生校外学習引率補助（学区内）ボランティア７名
○１１／　９　…昔の遊び指導補助　ボランティア１２名
○１１／１３　…１年生焼きいも会活動補助（校庭）ボランティア１１名
○１１／２７　…３．４年生豆しとぎづくり　ボランティア２名
○１２／１０　…低学年スケート教室滑走補助（新井田）ボランティア３１名

《行事支援》
○ＰＴＡ父親委員会による運動会準備・後始末・水まき。
○ＰＴＡによるバザー開催。ＰＴＡＯＢ会の支援。５．６年児童のお手伝い。

《広報活動》
○地域密着コーディネーターによる教育ボランティアだよりの発行。
○ＰＴＡ広報委員会による年３回の広報紙の発行。
○町内会による地域全戸へのボランティア募集の回覧。

《部活動指導支援活動》
○野球部１名，バレー部１名，サッカー部４名のボランティアのコーチによる児童への指導補助。

《児童が地域の行事に参加》
○５．６年児童の有志１５名が町畑地区運動会の運営に参加。
○１年生の代表と６年生の全児童が地区の敬老会に参加。全校児童が書いたお手紙を配布。
○５．６年生の有志２０名が東公民館まつりの読み聞かせに参加。

(2) 安全安心活動

《交通安全教室支援》

○ＰＴＡ交通安全母の会，みなと白銀交番，交通安全協会町畑支部の方々に協力していただき実際に通学路を使って行った，１．２年生の交通安全教室。

《交通安全支援》

○交通安全協会町畑支部の方よる，運動会の際の校門前の交通整理。

○ＰＴＡ交通安全母の会が，交通安全のマスコットを作成し，交通安全協会町畑支部の方々に協力していただき実施した，地区の道路でのマスコット配布。

《防犯パトロール活動》

○ＰＴＡの父親委員会による，東地区青少年生活指導協議会と協力して行った，夏季・冬季長期休業中の夜間巡視。

《朝の立哨活動》

○全保護者よる，年間を通して交替で通学路の危険な場所に立ち，子どもたちに交通安全を指導する立哨活動。

《集団下校支援》

○ＰＴＡ交通安全母の会となかよしクラブの指導員に協力していただき実施した，４月の１年生の集団下校指導。

《避難訓練》

○保護者に協力していただき実施した，１月の地震を想定した児童引渡訓練。

(3) 環境整備活動

《奉仕活動》

○ＰＴＡの母親委員会よる，年３回の花壇整備。

○地区のボランティアの方による，学校が地区の方から借りている畑の耕作補助。

○ＰＴＡの母親委員会による，図書室へのひな人形の設置・撤去。

○ＰＴＡ６学年委員会による，３月の校舎清掃作業。

《除草・剪定》

○ＰＴＡ会員の方々による，５月の校庭の除草作業。

○地区の老人クラブによる除草作業。

《施設設備修理》

○ＰＴＡ父親委員会・父親委員会ＯＢ会による，駐車場の砂利敷き，樹木の剪定，老朽化した花壇の撤去作業。

○ＰＴＡ父親委員会・父親委員会ＯＢ会による，防球ネットの張り替え作業

《ベルマーク収集活動》

○ＰＴＡのベルマーク委員会よる，ベルマークの収集・集計作業。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　８０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　６４人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・地域密着型教育の視点で，様々な教育活動や地域，保護者との連携を整理することができ，今まで以上に充実した活動にすることができた。

・今年度も，町内会の協力をいただき，教育ボランティアの募集を全戸に回覧することができた。その結果，老人クラブ等を通して教育ボランティアとして参加していただくなど，ボランティアの輪が広がった。

・コーディネーターによる今年度から発行した月１回の「教育ボランティアだより」や積極的なボランティア開拓により，地域に地域密着型教育の良さを発信することができた。

・今年度も地域学校連携協議会による学校関係者評価を実施したことにより，学校が抱える課題や児童の実態や変容を共有し，校内外の児童の実態や地域，保護者の立場からの意見などを幅広い視点から意見交換をすることができた。

(2) 課題

・図書室の環境整備や防災教育等,更に学校の教育活動の学びの質を向上させるために,今後も継続して地域密着型教育のよさや教育ボランティアの活動の様子を発信したり募集の仕方を工夫したりすることで教育ボランティアの輪を広げていく必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立美保野小学校
校長　山　内　　哲　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①５月１３日(水)
　　②総会
(2) 第２回　①６月１１日(木)
　　②役員会「第３回みほの里山夏まつりについて」
(3) 第３回　①８月２１日(金)
　　②役員会「第３回みほの里山夏まつりについて」

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施回数　：　３回（６／２４、７／１１、７／２９）
　　②構成メンバー：　みほの里山夏まつり実行委員
　　③検討内容　：　「第３回みほの里山夏まつりについて」

３　具体的な取組状況

(1)環境整備

①里山にプレート設置	４／２９(水)	植物の特徴がわかる解説プレート	約２０名
②フラワーロード整備	５／　８(金)	校門前に花壇を整備	約３０名
③里山・グランド整備	５／２４(日)	校舎裏の里山整備、キノコ菌植付 グランドの草刈り、整地等	約５０名
④グランド整備	８／１６(日)	グランドの草刈り、整地等	約３０名

(2)みほの里山夏まつり

①前日準備作業	８／２９(土)	夏まつり準備	約６０名
②みほの里山夏まつり	８／３０(日)	第３回みほの里山夏まつり	約８０名
③後片付け	９／１～４日	夏まつり片付け	約３０名

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　４０　人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０　人
＊町内及び各施設において保険に入っているため。

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

校舎裏の里山は着々と整備が進み、昨年度完成した散策道には地域の方々の散歩する姿も見られるようになった。子どもたちも、福祉施設「のぞみ会」理事長の蒔田さんを講師に迎え、定期的に里山観察を行ってきた。特に国蝶オオムラサキの観察は年間を通して続けてきた。今年は残念ながら羽化するまでにはいたらなかったが、動植物への興味・関心と自然愛護への意識を高めることができた。鷗盟大学ＯＢ・ＯＧの方々も、「オオムラサキ」の観察を今年も続けている。

今年度はさらに、旧美保野中学校理科室後ろに、里山で見られる昆虫や植物に関しての資料が展示された「里山資料室」を作ることができた。展示されている資料は、鷗盟大学 OB･OG の方々が平成２５年に作成した「オオムラサキ自主研究報告書」や、福祉施設「のぞみ会」理事長の蒔田さんから提供された里山の植物や昆虫の写真等である。その他にも、子どもたちのオオムラサキ観察記録や里山新聞も掲示されている。

８月３０日には地域の活性化を目的に、「第３回みほの里山夏まつり」が開催された。光星高校吹奏楽部の演奏を皮切りに、子どもたちも出場したカラオケ大会、麻生しおりさんのステージ、さらには数々の出店により、たくさんのお客さんで賑わった。当日は好天にも恵まれ、一日中お客さんが途切れず、昨年を上回る１０００人以上の来場者があった。回数を重ねる毎に、準備・片付けも手際がよくなり、ボランティアの方々も市内一円から来てくれるようになった。

最後に、子どもたちは大勢の客の前で立派に感謝の言葉を述べることができ、３回目の夏まつりも成功裏に終えることができた。

町内会とは共に地域スポーツ大会（グラウンドゴルフ）を開催したり、収穫祭では老人会の方々をお招きし、親睦・交流を深めることができた。

２４年度をもって美保野中学校が閉校となり、小学校単独となって３年目だが、運動会をはじめとした学校行事も、地域、保護者、福祉施設（ユートピア、のぞみ園、瑞光園）、八戸学院大学、短期大学の方々のご協力でさらに盛り上がりを見せてきている。

(2) 課題

地域の方々の協力は大変大きいのだが、少子高齢化が進んでおり、次世代を担う若い方々の協力者を、美保野地区から確保することが大変難しくなってきている。そのため、地域にある福祉施設（ユートピア、のぞみ園、瑞光園）、八戸学院大学、短期大学の方々の力を借りないと、多くの事業が進んでいかないという現実もある。

２８年度は、里山整備をさらに進め、子どもたちの学習環境として、また地域の交流拠点として発展させていきたいと考える。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鮫小学校
校長　白　石　哲　志　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年　６月　９日（火）　１５：４０～
②協議内容　〇委嘱状交付
ア　会長指名
イ　副会長指名
ウ　会長・副会長挨拶
エ　会則について
オ　今年度の組織，計画について
カ　鮫小・鮫中学校の学校教育方針について
キ　情報交換

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１１月２７日（金）　１５：１０～
②協議内容　〇全体会
ア　鮫小・鮫中学校の学校の現状と課題の説明及び審議
イ　情報交換

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年　２月１６日（火）　１８：００～
②協議内容　〇全体会
ア　小学校・中学校より今年度の成果と課題，学校評価の説明
イ　小学校・中学校より来年度の教育計画についての説明
ウ　審議
エ　情報交換
オ　こども支援センター　木村朋子指導主事挨拶

２　上記以外の会議の実施状況

な　し

３　具体的な取組状況

(1) 図書室整備支援
・毎月１～２回
・図書の整頓，ラベル貼り，修繕，環境整備，図書準備室整頓

(2) 読み聞かせ支援

・毎週金曜日

・絵本の読み聞かせ

(3) 環境整備支援

・毎月２～３回

・ペンキ塗り，生け垣の剪定，花壇の手入れ，清掃，体育館ワックスがけ，草刈り
新入生リボン作り

(4) 授業支援

・２学年　　鮫町探検，山車小屋体験

・３学年　　うみねこ観察，鮫の文化と歴史学習

・４学年　　老人ホームとの交流，蕪島清掃

・５学年　　種差の植物観察，蕪島清掃

・６学年　　蕪島まつりでのドラムマーチ発表，蕪島清掃，職場見学

・クラブ活動ゲストティーチャー　　鮫神楽クラブ

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１７人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・コーディネーターを中心に学習支援や環境整備など地域との連携が進められ，計画的に実施できるようになった。

・保護者や地域の方が，日常の学校や子どもの様子を知るよい機会となっている。

・学校だよりなどで，地域学校連携協議会の活動内容を地域や保護者の方に発信してきた。そのため地域密着型教育の趣旨が地域や保護者に理解されてきている。

・授業を見ていただくことで，本校の教育活動の理解を進めることにつながった。

・情報交換の場では，地域での子どもたちの様子を聞くことができ，また，学校の教育活動に対しての質問や意見が出された。

・地域学校連携協議会では，学校の教育活動について建設的な意見をいただき，改善に生かすことができた。

(2) 課題

・ボランティア登録者の増員が課題である。今後は，人材確保のために地域学校連携協議会に呼びかけたり，日々の活動を学校便りなどで紹介したりして具体的な支援を呼びかける必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立種差小学校
校長　小　野　一　樹　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時 平成２７年５月２２日（金）

②協議内容

・会長・副会長の指名、あいさつ

・種差小学校の学校経営方針・重点施策等説明

・年間スケジュール等説明

・学校支援ボランティア組織について

(2) 第２回　　①実施日時 平成２７年１０月２２日（木）

②協議内容

・前期学校評価について説明及び審議

・創立１４０周年記念事業について

・現在の教育活動について

・学区の危険箇所について

(3) 第３回　　①実施日時 平成２８年１月１４日（木）

②協議内容

・今年度の教育活動について（海洋教育・環境美化教育などの発表）

・後期学校評価について説明及び審議

・次年度の予定に関する説明及び審議

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 準備委員会　　なし

(2) 企画推進部会　なし

(3) 専門部会　　なし

３　具体的な取組状況

(1) 学習支援

①運動部指導　卓球部　２名

②昆虫の学習　１回

(2) 環境整備

①校外環境整備　２回　のべ６０名

②資源回収　２回　のべ６０名

③花壇の草取り　４回　のべ４０名

(3) 校外安全指導

①交通安全週間街頭指導　保護者２４名

②交通安全教室　４月１４日　１名（種差駐在）　保護者６名

③防犯教室　　６月１１日　１名（種差駐在）

④地域安全探検見守り　６月２日　６名

(4) 連携行事

①オオハンゴンソウ駆除活動　６月８日

・八戸森林組合員・種差海岸ボランティアガイドクラブの方とともに外来植物であるオオハンゴンソウ駆除を行う。

②南浜スポーツ大会　７月１９日

・南浜青少協と連携し、フリスビーゴルフを種差少年自然の家で実施する。

④健康教室「歩く会」　９月６日

・種差海岸ボランティアガイドクラブ会員を講師に種差海岸の自然にふれる活動を実施する。

⑤敬老の集い　９月８日

・種差連合老人クラブの方に講師になっていただき、昔遊びを通して交流を深める。

⑥東幸園交流餅つき会　１１月２４日

・東幸園の方と餅つきやゲームを通して交流を深める。

⑦南浜防犯レクリエーション　１２月２１日

・南浜防犯協会と連携して、ミニ運動会を種差少年自然の家で実施。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　３８人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・種差海岸インフォメーションセンターと連携し、種差海岸のよさを発信する教育活動を推進することができた。（種差らしいお菓子づくりプロジェクトの実施・ジオパークの学習・環境美化教育の充実）

・学校支援ボランティアによる活動が軌道に乗ってきた。学校環境を整える活動以外にも、地域の安全確認、地域のよさを生かした海洋教育、種差地区の昆虫の学習など教育活動が充実した。

・学校目標の達成に向けた取組に対して、地域の理解と協力が得やすくなった。

(2) 課題

・地域学校連携協議会を通して、種差小学校ボランティア組織が機能してきた。今後は、学校職員担当のコーディネーターと地域人財のコーディネーターが協働することにより、地域と学校の連携を充実させていきたい。

・複式学校の教育活動や児童の日常の様子を知っていただくために、授業参観や学校行事への参加を地域に広く呼びかける必要がある。

・南浜中学校区小・中ジョイントスクール推進事業と地域学校連携協議会との連携を密にして、相互の事業を円滑に進める必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立大久喜小学校
校長　神　　彰　彦　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２７年６月５日（金）
②協議内容
・委嘱状交付
・大久喜小学校経営方針・重点施策等の説明
・組織・年間スケジュール等の説明
・授業参観
・情報交換

(2) 第２回　　①実施日時　平成２７年９月２４日（木）
②協議内容
・１学期の教育活動について（子どもたちの様子）の説明
・学校評価結果（１回目）の公表
・情報交換
＊１４０周年第１回協賛会会議

(3) 第３回　　①実施日時　平成２８年１月２１日（木）
②協議内容
・今年度の教育活動についての説明
・学校評価結果（２回目）の公表
・来年度の計画について
・情報交換
＊１４０周年第２回協賛会会議

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画会　　①実施回数　　５回
②構成メンバーの概要
・PTA会長、校長、教頭
③検討内容
・学習活動支援、学校行事、環境整備等の内容・進め方の確認
・地域学校連携協議会の内容の検討

３　具体的な取組状況

本校はこれまで様々な教育活動を、漁業生産部会・婦人会・町内会等の諸団体や保護者・地域住民の協力を得て実施している。そのため、専門部会は設けずこれまでと同様、諸団体や保護者・地域住民との連携を基本に取組を実施している。

取組		期日	参加者	主な内容
学習支援	ホッキ貝・海藻採り	4.20(月)	漁業生産部会(7名)	大久喜漁港でホッキ貝採り
	しおかぜ遠足	6.17(水)	漁業生産部会 保護者(計12名)	漁業生産部会の小屋でウニの殻剥き体験学習
	浜小屋学習	6.11　6.25　8.27 9.17 10.1 10.20	漁業民俗保存会 (延べ21名)	重要有形民俗文化財「浜小屋」について学習
行事支援	運動会	5.23(土)	おやじの会(12名)	用具の準備・片付け
	南浜スポーツ大会	7.19(日)	南浜青少協(8名) 南浜ＪＳ(22名)	南浜地区4校の小中学生がグラウンドゴルフやフリスビーゴルフを種差少年自然の家で実施
	大久喜のつどい	11.20(金)	婦人会・地域住民・保護者(70名)	餅つき、豚汁作り、会食
	南浜防犯レクリエーション大会	12.20(日)	防犯協会(10名) 南浜ＪＳ(16名)	南浜地区３校の小学校児童がミニ運動会を種差少年自然の家で実施
安全指導	交通安全教室	4.14(火)	交通安全委員会 交通指導隊(計12名)	自転車の乗り方・歩行指導
	登校指導	4.8 ～ 15 8.24 ～ 27 1.14 ～ 19	交通安全委員会 １学年保護者 南浜交通指導隊 (延べ98名)	登校時の交通安全指導
環境整備	早朝奉仕作業	5.17(日)	保護者（35名)	草刈り、窓拭き
	海岸清掃	6.5(金) 10.22(木)	環境・厚生委員会・保護者 (延べ60名)	大久喜海岸のゴミ拾い、漁港トイレ清掃

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１６人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１６人

5　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・地域の自然や環境を生かした、多様な体験活動を継続して実施できた。

・これまで学校と家庭が協働で取り組んできた「あいさつ運動」を地域にも広げようと、地域学校連携協議会の理事が、地域に働きかけたり見守ったりしてくれている。

・地域学校連携協議会の理事が学校関係者評価委員も兼ねることにより、様々な立場からの意見を聞くことができ、教育活動の改善につなげることができた。

・１４０周年を迎えるにあたり、協賛会会議では建設的な意見を述べてくれた。地域の方々の学校への思いの強さを知ることができた。

(2) 課題

・情報発信を心がけ、学校と地域との壁を低くし、さらに開かれた学校にすることで、保護者や地域の方々が気軽に来校して取り組めるボランティア活動を今後も検討していきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立金浜小学校
校長　馬　場　悦　子　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回

①実施日時　平成２７年　５月２６日（火）　１８：３０～２０：３０

②協議内容

・理事委嘱状交付式
・会則審議
・会長・副会長指名
・会長・副会長あいさつ
・学校経営及び運営方針等説明
・組織・年間スケジュール等
・学校評価について
・質疑

（２）第２回

①実施日時　平成２８年１月１９日（火）　１８：３０～２０：３０

②協議内容

・地域密着型教育の推進状況報告
・自己評価（学校評価）に関する説明
・学校関係者評価の実施
・平成２８年度の教育計画（予定）について説明
・質疑

２　上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし，準備委員会は初年度の学校のみ記入）

（１）金浜地区合同役員会

①実施回数　　２　　回　　平成２７年５月１８日（月）・９月　９日（水）

②構成メンバーの概要

金浜町内会　漁業部会　金浜子供会育成会
金浜小ＰＴＡ　校長　教頭　教務主任

③検討内容

・金浜小学校 金浜町内合同運動会について　（日程，種目，係等）
・浜学習について　（日程，内容，準備物，係等）
・金浜小学校 金浜町内合同学習発表会について（日程，演目，係等）
・金浜小学校 金浜町内会合同バザーについて　（日程，内容，準備物，係等）

３　具体的な取組状況

（１）教育活動・学校行事

①民謡練習・昼食会　　平成２７年　５月２５日（月）

・２０名（児童，教職員，金浜町内会婦人部）
・南部とらじょさま，八幡馬の指導

②金浜小学校 金浜町内合同運動会　　平成２７年　５月３１日（日）

・約１００名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・会場準備及び後始末，係，各種目への参加

③浜学習及，清掃活動，防災教育～金浜海岸～　　平成２７年　６月１９日（金）

・約３５名（児童，教職員，保護者，漁業部会，金浜町内会婦人部）
・引率補助，磯の生き物観察時の補助及び指導，調理体験補助，
　東日本大震災時の漁港の被害について

④金浜小学校・金浜町内合同学習発表会，合同バザー　　平成２７年１０月１８日（日）

・約１００名（児童，教職員，保護者，金浜町内会婦人部，地域住民）
・会場準備及び後始末，係，学習発表会への出演，バザーの運営

⑤昔の遊び集会・昼食会　　平成２７年１１月　５日（木）
・２７名（児童，教職員，金浜町内会，金浜町内婦人部）
・昔の遊びの紹介，活動支援
⑥参観日　６校時：環境学習会「ゴミのリサイクルについて」平成２７年１１月２６日（木）
・１２名（児童，教職員，保護者，学校地域連携協議会理事）
（２）環境整備
①第１回早朝奉仕作業　　平成２７年　５月２４日（日）
・約８０名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・学校敷地内の環境整備（校庭を中心に除草作業，ソメイヨシノ及び松の剪定）
②第２回早朝奉仕作業　　平成２７年　８月３０日（日）
・約７０名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・学校敷地内の環境整備（校庭を中心に除草作業，ツツジの剪定）
（３）地域交流
①塩竈神社祭礼でのよさこい披露　　平成２７年　６月２１日（日）
・約２０名（児童，教職員，保護者，地域住民）
②種差観光まつりでのよさこい披露　　平成２７年　７月１２日（日）
・約３０名（児童，教職員，保護者，地域住民）
③金浜町内盆踊りへの参加　　平成２７年　８月１３日（木）
・約８０名（児童，保護者，地域住民）
④金浜地区敬老会での歌とよさこい披露　　平成２７年　９月２０日（日）
・約３０名（児童，教職員，保護者，地域住民）
⑤南浜公民館まつりでのよさこい披露　　平成２７年１１月　１日（日）
・約３０名（児童，教職員，保護者，地域住民）
（４）連携行事
①南浜スポーツ大会（主催；南浜地区青少年生活指導協議会）平成２７年　７月１９日（日）
・南浜中学校区４校の小中学生が，種差少年自然の家でフリスビーゴルフ，
パターゴルフを実施
②南浜防犯レクリエーション（主催；南浜地区防犯協会）　　平成２７年１２月２０日（日）
・南浜中学校区の３校の小学生が，種差少年自然の家でミニ運動会を実施

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　０人（※市連Ｐ安全互助会賛助会員として１７名登録）
※登録はしていないが，その都度保護者や地域の方が参加協力してくださっている。
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果
①地域密着型教育に取り組んで５年目となり，地域学校連携協議会の場は，教育活動や学校評価の結果について意見をいただくとともに，地域の情報交換の場として定着した。また，話し合われた内容は，学校運営の改善や次年度の教育課程編成に生かすことができた。
②地域の方々とふれあう活動や地域と学校が連携して様々な活動を行うことで，「地域の学校」として，地域と学校の連携が深まっている。児童数は減少しているが，児童数より多い人数が行事に参加して下さって，活動が盛り上がり，その成果も大きい。
（２）課題
①これまで参加協力いただいた方々の高齢化が進んでいる。また，児童数の減少に伴い，保護者の負担が大きくなっている。今後は，日々の教育活動を学校便りやブログ等で情報発信し，年度当初に教育活動に対する具体的な支援を呼びかけるなど，新たな人材確保のための，工夫が必要である。
②本校は非常災害の避難所となっている。防災に関わる地域との連携，協力等について，学区内の関係諸団体（金浜町内会，金浜漁業部会，防犯協会，交通安全協会）と体制づくりを進めていく必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　根城　小学校
校長　赤 石　和 枝　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年６月１日
②協議内容　ア　根城小学校の組織、会則の確認
イ　会長の指名（校長）　副会長の選出（会長）
ウ　会長・副会長あいさつ
エ　根城小学校の学校経営方針について（報告）
オ　今年度の活動の概要

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１２月１１日
②協議内容　ア　事業の進捗状況（支援事業、ボランティア活用状況等）
イ　学校評価について（学校関係者評価）
ウ　学校保健委員会の設置について
エ　１４０周年記念事業について

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年２月１６日
②協議内容　ア　今年度の事業のまとめ
イ　地域学校連携協議会の皆様のアンケートまとめ
ウ　２７年度の学校運営のまとめ
エ　学校保健委員会

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施回数　４　回
②構成メンバーの概要　校長、会長、事務局、PTA 副会長、PTA 幹事
PTA 専門委員長、PTA 学年委員長
③検討内容　・組織確認、PTA 活動との整合性理解、今後の予定
・ボランティアの活動状況・意見要望
・保護者の意見要望
・今年度の取組総括と次年度への要望

(2) 専門部会　①実施回数　教育活動部、環境整備部、安全対策部、交流連携部
それぞれの部会が随時活動
②構成メンバーの概要・検討内容　資料参照

３　具体的な取組状況

(1) 教育活動部

①学習支援（授業支援、校外学習支援、学校行事支援）
ア　授業支援
・習字ボランティア…１日、３人　・家庭科（ミシン指導）　…４日、のべ28人
・スケート指導　…２日、のべ３人　・校外学習・地域学習補助…５日、のべ55人
イ　地域を活かした学習への取組…もっと地域のことを学んでほしいという願いから、全学年で地域の方や地域の施設などを生かした学習に取り組んでいる。

②部活動支援（指導・引率等、三部演奏会支援）
ア　部活動支援では、コーチとして卓球部に３名、バスケット部に１名、バトン部に１名地域等の方にご協力いただいた。
イ　１月に行われた三部演奏会では、運営の中心となってたくさんの保護者や地域の方に支援いただいた。

(2) 環境整備部

①校内外環境整備（花壇・教材園整備、除草奉仕、校地整備、ベルマーク集め、バザー）
ア　花壇整備…花壇のデザインと年間を通して植栽、除草、摘花等の活動を行う。
イ　ＰＴＡバザー…保護者・子ども・教員が１つになって成功、みんなで楽しんだ。

ウ　玄関生け花…月２回、公民館の生け花クラブの方が来校し、玄関と校長室に生け花をいける。

②学校図書館整備

ア　読み聞かせボランティア　　…　約40日、のべ160人

イ　図書貸し出し・本の修繕作業…　約30日、のべ300人

(3) 安全対策部

①校外安全安心（登下校巡視活動、防犯パトロール、通学路・危険箇所の点検、集団下校支援）

ア　交通安全教室 4/9…入学してすぐの1・2年生の交通安全教室での見守り。

イ　毎朝の登校指導

ウ　交通安全母の会による立哨指導

②学校安全安心（プール監視）

ア　ＡＥＤ活用講習会 7/8…根城分遣所の職員４名が来て人工呼吸やＡＥＤの使い方など救急救命の実地訓練を指導した。教員と保護者約40名が共に学んだ。

イ　夏季休業中のプール監視は２・３年保護者による見守り支援。

(4) 交流連携部

①連携行事（老人クラブ連携、子ども会キャンプ、区民運動会、三社大祭、えんぶり鑑賞会、親子学習会、三水会）

ア　三社大祭に参加 8/1～3…三社大祭に参加したのは約100名。新組、売市、吉田産業、六日町、八戸市職員互助会、新荒町、神明宮等で、太鼓、引き子、神楽、行列等に参加。

イ　合同キャンプに参加 8/8･9…14名の児童がテント作り・キャンプファイヤー・炊事などを経験した。

ウ　参加者が増加した根城地区運動会 9/6…児童の参加が増え、若い保護者の参加も見られた。地域の方の指示に従い大人と一緒に競技に参加したり、町内の応援をしたりした。

②学校間連携（幼保小連携、小中ＪＳ、ＪＳあいさつ運動）

ア　あいさつパワーアップ大作戦…学級で工夫しながら取り組んでいる。

イ　地域の根城地区あいさつ運動…９月の毎週水曜日に行われた地区あいさつ運動では、7:20から20分間、多くの地域の方が学校近くや交差点付近に並び、あいさつを交わした。

ウ　幼保小連絡会…江南小と本校、６幼保園の代表者が集まり、年２回連携について検討した。

エ　小中ＪＳ…中学校長講話、小小連携が継続されるようになった。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　５０人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①地域諸団体の会合等で出された意見や、各町内の行事等の取組を地域・保護者・学校それぞれが互いに理解することができた。また、それらに児童・地域住民が気持ちよく参加し、地域関係団体組織とＰＴＡ組織との調和と融合を図ることができた。

②地域学校連携協議会「ねじょっ子はぐくみ協議会」を開催し、学校・保護者・地域の願いを共有し意見交換をしていくことで、地域・保護者が、学校の取組やねらいを理解し、地域との連携を深め、地域とともに歩む学校づくりを推進することができた。

③授業でもボランティアに支援していただきながら、地域の文化・施設・人材を活用してきた。教員もボランティアを活用した授業や活動に積極的に取り組むようになった。

④ボランティアの輪が広がり、コーディネーターと共に地域密着型教育の展開を図ることができた。その結果、ＰＴＡやボランティアによる支援活動をやってよかったと思う人が増え、ＰＴＡ活動への参加者やボランティアの人数が増えるようになった。

(2) 課題

今後もコーディネーターと連携し、地域の教育資源の活用を図っていきたい。また、児童の学力の保証とともに豊かな体験活動の一層の充実を図るよう、教育課程の編成に生かしていくこととする。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白山台小学校
校長　奥　山　一　夫　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況　　※白山台中学校と合同で開催

（１）　第１回　①実施日時　平成２７年５月２７日（水）
１７：００～

②協議内容

・会則の確認　　・役員選出

・学校経営方針　　・活動状況の報告

・各委員からの御意見（御要望）

（２）第２回　①実施日時　平成２７年１１月２４日（火）１８：００～

②協議内容

・学校経営・運営状況について　　・情報交換

・２７年度の学校評価について

（３）第３回　①実施日時　　平成２８年２月２２日（月）１８：００～〈開催予定〉

②協議内容

・事業のまとめと次年度へ向けて　　・ボランティア状況

・学校課題についての御意見・御助言

・本校の教育環境改善に向けた方向性と課題について

２　上記以外の会議の実施状況

（１）ボランティア集会　　①実施回数　　１回

②構成メンバー　　ボランティア登録者･コーディネーター
校長･教頭･教務主任

③検討内容　　･活動についての打ち合わせ
･反省･改善点等の話し合い

３　具体的な取組状況

（１）学習支援

①学習支援・・・登録者５名（保護者）

・書き初め学習補助

②各学年学習支援・・・(随時募集)

・スケートの靴紐結び

・動物ふれあい指導補助

・２年生 町たんけん

・３年生 白山台ふれあいの路探検

・４年生 総合的な学習の時間補助（調理活動）

・１年生 むかしあそび

③よみきかせ・・・登録者３０名　（地域の方　２５名・保護者　５名）

６月～２月　８回　朝８時～８時３０分

（２８学級に各１人～２人のボランティアが入り、よみきかせをする。）

第１回のよみきかせ（５月２３日）は「新山淑子元校長先生のおはなし会」

（２）環境整備支援

①図書支援・・・登録者２０名（地域の方１名・保護者１９名）

５月～２月　　年８回　　朝１０時～１２時

・創立二十周年記念飾り制作

・本の修理作業、図書室内の季節の飾り制作､飾り付けなど。

②校地内草刈り・・７月１８日予定　（雨のため中止）

・８月２９日、ＰＴＡ環境美化委員会と児童、保護者、教師で作業

（３）登校安全指導

①３Ａサポーター登校時見守り・・・登録者　５名

４月～１２月　ミニストップ前交差点

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　１０６人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　５５人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果　・小・中合同での地域学校連携協議会は３年目となる。地域内の各団体の代表者を構成員としたため、多方面での理解や協力が得られている。また、地域での子どもの様子について、様々な立場から話を聞くことができた。

・平成２９年度の西白山台小学校開校や学校課題について、情報交換や話し合いを行った。課題を共通理解し合い、それぞれの立場で改善策を出すなど、学校・家庭・地域が「共に力を合わせて子どもたちを育てていこう」という意識を高めることにつながった。

・子どもたちは、ボランティアの方々の学習支援により、地域に対しての関心を高め、地域行事へ進んで参加する機会が増えている。またボランティアの活用により、一人一人に十分な支援をすることができ、学習意欲や学習効果を高めることにつながった。

（２）課題　・よりいっそう教育効果をあげていくために、保護者や各団体へ積極的に情報を発信し、理解と協力を仰いでいく必要がある。また、今後も地域や学校の行事を関連させて教育計画を立てていく必要がある。

・西白山台小学校開校にむけて、ボランティアの新メンバー確保に努めていく。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　江南小　学校
校長　荒　木　　興　一　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２７年６月１１日（木）
②協議内容
ア　会則についての審議（教頭）　　イ　会長指名（校長）
ウ　副会長指名（会長）　　エ　協議会長・副会長あいさつ
オ　学校経営方針説明（校長）
カ　地域学校連携協議会組織図・年間計画について（教頭）
キ　学校評価の計画について（教頭）　ク　質疑応答・情報交換

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２７年　９月１６日（水）
②協議内容
ア　学校経営の状況について（校長）　イ　学校評価に関する説明（教頭）
ウ　事業の進捗状況説明（中間報告）（教頭）
エ　質疑応答及び提案・要望等
オ　学校支援本部から（コーディネーター）

(3) 第３回
①実施日時　　平成２８年　１月２７日（水）
②協議内容
ア　学校評価報告（教頭）　イ　学校評価についての意見交換
ウ　次年度の教育計画について（教務）
エ　質疑応答及び提案・要望等
オ　地域密着型教育コーディネーターからの報告

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　　４／２８　コーディネーターと学校三役との打ち合わせ
(2) 専門部会（開催なし）
(3) その他
○　地域密着型コーディネーターとの情報交換
○　読み聞かせボランティアとの意見交換会

３　具体的な取組状況

(1) 教育活動部
○ 部活動支援（バスケット）　　通年　　２名
○ 親子学習会
・１学年　1/18　12/18　（２回）　　・４学年　10/26（１回）
・２学年　6/25　（１回）　　・５学年　5/28・12/1（２回）
・３学年　6/26　（１回）　　・６学年 2/25（１回）
○ 総合的な学習の時間・生活科の補助

・３年三社大祭のお話	６／２６	１名
・３年えんぶりのお話・指導	２／８	１名
・５年安全マップ作り地域探検補助	１１／１３	６名
・２年町探検引率ボランティア	１２／３	５名
・３年イチゴ苗植え	４／２４	１名
・１年昔の遊び	１／２５	４名
・６年あったか交流会	１１／４	６名
・４年方言指導	１１／１６・２７・３０ １２／４	１名

○ 学校行事の支援

・入学式手伝い	４／７	５名
・運動会補助	５／２３	２７名
・学習発表会手伝い	１０／１８	５名
・学習発表会衣装づくり	１０／５・１５	１１名
・卒業式手伝い	３／１８	５名

○ その他の授業支援

・１・２年水泳指導	４回	のべ４名
・高学年着衣泳	９／７	５名
・６年ミシン補助	７／１・２／５	のべ２５名
・５年ミシン補助	１０／２	５名
・スケート指導	２／９	２名

○ その他

・臨時歯科検診	１１／６	１名
・プール監視補助	夏休み５回	のべ１５名

(2) 環境整備部

○ 読み聞かせ（朝　年１０回）	４／１７～３／３	のべ６０名
○ 図書ボランティア（３１回）	４／９～３／１０（３１回）	のべ９３名
○ 環境整備	５／１７	約１５０名
○ 清掃奉仕	５／１７	約１５名
○ 花壇除草	７／３	３名
○ プール環境整備	６／３	２名

(3) 安全対策部

○ 交通安全教室	４／１３	５名
○ １年下校指導	４／８～４／１４	のべ約５０名
○ おやじの会地区パトロール	７／２４	１０名

(4) 交流連携部

○ 子ども会

・町内子ども会	５／１１・６／２４・１２／７	のべ２０名
・３町合同子ども会	７／２５	５０名
・３町合同子ども会 Xmas 会	１２／２２	１５名
・子ども会ラジオ体操	７／２２～７／３１	

○ PTA 活動

・江南バザー出店	９／２７	９０名

○ ４校合同ＰＴＡ懇談会	７／３	
○ 根城中学校区ジョイントスクール	４／３０・８／２１・１１／２７	

○ 根城町内連携

・三水会	１０回	
・地区防災会	８／２４	
・地区防災訓練	１０／３	
・根城地区あいさつ運動	９／２・９・１６・３０	
・あいさつ声かけ促進キャンペーン	１１／２	
・正門登校の日	１１／２・１／１４	

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　約１４２人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　２０ 人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

① 教職員のニーズに応じたボランティア・サポートを受けることで、教育活動の内容が充実したものになってきている。

② ブログ・通信等を通して教育活動を公開することで、保護者や地域の方々が好意的な目で学校の活動を評価していただけるようになってきている。

③ 学校、保護者、地域が児童の健全育成を目的に連携することで、児童や保護者が地域の活動に関心をもち、参加する児童、家庭が増えてきている。

(2) 課題

① 保護者や地域の方々との連携が深まることで、教育活動への支援が高まっている一方で、しっかりとした目で評価していただける方が増えている。学校はそれらの方々の声を真摯に受け止め、教育活動の改善を図っていく必要がある。

② 地域学校連携協議会の委員の皆様に対する普段の授業に関わる情報提供が少ないため、貴重な御意見をいただくことが難しかった。授業公開の方法などを工夫していく必要がある。

平成 27 年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立田面木小学校

校長　内　山　伸　治　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２７年６月３日（水）１３：３０～

②協議内容　◆委嘱状交付

◆議事　・会則・組織に関する審議

・学校経営方針・重点施策等の説明および審議

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２８年１月２９日（金）１３：３０～

②協議内容　◆学校の現状と課題の説明及び審議

◆学校評価に関する説明及び審議

◆来年度の教育計画についての説明

(3) 第３回　　〈 予　定 〉

①実施日時　　平成２８年３月２日（水）１３：３０～

②協議内容　◆来年度の計画等審議

２　上記以外の会議の実施状況

(1) ボランティア運営委員会　　①実施回数　年２回

②全ボランティア登録者と全職員の参加

③活動についての打合せ、反省、改善点等の話合い

(2)　学校関係者評価委員会　　①実施回数　年２回

②学校関係者評価委員(地域代表・ＰＴＡ)参加

③学校評価について説明、評価についての意見聴取

３　具体的な取組状況

◆**教育活動**（クラブ活動、生活科、総合的な学習の時間、学校行事、その他）

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
交通安全教室	全学年	防犯協会と婦人部　20 名	4/13
よもぎもち作り （摘み、アク抜き、きざむ、もち作り）	3 学年	老人クラブ・田面木地区社会福祉協議会　　のべ 22 名	5/8、5/20
田面木音頭の指導	全学年	婦人会　　のべ 32 名	5/15～5/19
クラブ活動　年間計 11 回 点字、郷土芸能、菱ざし、英語 音楽（大正琴）、ネオホッケー	4･5･6 学年	教育ボランティア 登録者 16 名	4/21～2/9
音楽会に向けての合唱指導	5 学年	合唱指導の中里恵子さん	10/8
地域安全マップづくり	5 学年	防犯協会員　11 名	10/28
ボランティア運営委員会 年２回 （組織会・反省と来年度に向けて）		教育ボランティア 登録者 16 名	4/28、2/23
トマトの育て方の指導 スィーツ作り	2 学年	教育ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ田村満男さん、 保護者	7/14 11/27
英語学習	1･2 学年 3･4 学年	教育ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ菊地万希子さん 〃　下沢さとみさん	2/26 12/16
読み聞かせ	全児童	朝のボランティア 8 名 昼のボランティア 5 名	朝 4 回／年 昼 8 回／年
総合学習（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱをやってみよう） 地域の老人福祉施設と保育園５ヶ所を訪問	6 学年		11/24

◆**環境整備活動**（校内環境整備、学校図書室、防犯活動）

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
ＰＴＡ早朝奉仕（校庭整備、除草作業）	全学年	全ＰＴＡ	5/17、8/30
図書室の環境と本の整備		ＰＴＡベルマーク委員会 図書ボランティア	4 月~1 月 月 2 回水曜日

学校敷地内のバラの木剪定		地域の有馬弘さん	4 月～12 月

◆地域交流活動

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
ふれあい遊びランド	全学年	老人クラブ　16 名 近隣の保育園児	11/9

◆スポーツ文化交流活動（部活動、根城中学校区ジョイントスクール、地域文化活動への参加）

部　活　動	児　童	ボランティア	月　日
野球部　（基本練習、大会へ向けての指導）	部　員	指導者　2 名	通年
卓球部　（　〃　）	部　員	指導者　3 名	〃
ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ部　（　〃　）	部　員	指導者　4 名	〃
吹奏楽部　（　〃　）	部　員	指導者　2 名	〃

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
根城田面木地区合同キャンプへの参加	4.5.6 学年対象	ＰＴＡ	8/8～8/9
田面木地区婦人会親睦会演芸会にて大黒舞を披露	郷土芸能クラブ	教育ボランティア　4 名	9/12
田面木地区敬老会にて大黒舞を披露	郷土芸能クラブ	教育ボランティア　4 名	9/21
史跡根城まつりにて根城中と合同演奏	吹奏楽部		10/10
特別養護老人ホーム「ほっとハウス」にて踊りを披露	郷土芸能クラブ	教育ボランティア　7 名	10/27
ネオホッケー大会への参加	ﾈｵﾎｯｹｰｸﾗﾌﾞ	教育ボランティア　2 名	11/29
根城中学校区ｼﾞｮｲﾝﾄｽｸｰﾙ事業 ・全職員による研修 ・6 学年による根城中学校の授業参観	 全職員 6 学年		 4/30 、8/21 11/25 11/27

◆**学校評価活動**（学校目標にかかわる評価）

評価委員会活動内容	ボランティア	月　日
第１回　学校評価についての説明・実施	学校関係者評価委員	7/2
自己評価結果と改善方策（アンケート)	学校関係者評価委員	12 月中旬
第２回　改善方策及び評価についての意見聴取	学校関係者評価委員	1/19

◆**健康増進活動**（子どもたちの健康増進を図る）

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
学校保健委員会（すこやか会議） 「ゲームと上手につきあう」について 話し合う	全学年	保護者・地域の方(7 名)	12/2

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　４０人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　３８人

5　地域密着型教育の成果と課題

(1)成果

・年３回の協議会や各事業は円滑に進められている。地域の方や保護者の方から、直接ご意見をうかがうことにより、教育活動に役立てられた。（読み聞かせボランティア・寺子屋等）

・昨年度より、ボランティア登録者数が増加し、教育活動が多様になった。(朝・昼の読み聞かせ・生活科補助)

(2)課題

・ボランティアの方々の高齢化に伴い、クラブ活動に関してはクラブ数が減少した。地域の方だけではなく、保護者の中でもボランティアバンク登録を進めていく必要がある。

◇**活動の様子**

6 年総合「ボランティアをやってみよう」

2 年生活科「スィーツ作り」

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　下長小　学校
校長　田　中　眞理恵　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①平成２７年　６月１９日（金）
（委嘱状交付）
会則審議（会則に従い、会長、副会長の指名）
②（ア）会長・校長あいさつ（学校経営方針）
（イ）各専門部会の活動予定発表
（ウ）事務連絡　・今年度の予定

(2) 第２回　①平成２７年１１月２６日（木）
②（ア）会長・校長あいさつ
（イ）各専門部会の取組状況報告
（ウ）内部評価結果と学校関係者評価実施について
（エ）その他（情報交換等）

(3) 第３回　①平成２８年　２月２３日（火）　＜開催予定＞
②（ア）会長・校長あいさつ
（イ）各専門部会今年度の反省と次年度の活動に向けて
（ウ）学校評価について　結果説明
（エ）その他（情報交換等）

２　上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

３　具体的な取組状況

(1) 春の図書読み聞かせ（４・５月中の月・木曜日　１０日間実施）
地区町内会のボランティアによる新入学児童への読み聞かせ。担任教師が職員朝会時学級を離れるので、その時間帯にお願いしている。

(2) 図書活動支援部会による本の読み聞かせと補修作業
６月２２日（月）、１２月１６日（水）、２月８日（月）
※読み聞かせは昼休みの時間帯に実施。低・中学年対象で行った。

(3) 保護者による読み聞かせ（９月～２月　計９回）
※昼休みの時間帯に実施。低・中・高学年に分けて行った。

(4) 地区町内会による畑作りボランティア

野菜を育てる学年の子どもたちが、畑の畝づくりを教えていただいた。畑作りに精通している方々に基礎から教えていただき、大変助かった。

(5) 生活・安全活動部会による交通安全 マスコット配り（９月３０日）

下長交番、地区交通安全協会の皆さんの協力を得て行った。停止中のドライバーに子どもたちの書いた標語を付けたかわいいマスコットを配り、安全運転を呼びかけた。みなマスコットを快く受け取ってくれたので、ＰＴＡのお母さん方は満足げであった。

(6) 昔の遊び体験とふれあい給食会（１１月２日）

地域のお年寄りに学校に来ていただき、１年生に昔の遊びを教えていただいた。（３０名参加）竹馬、お手玉、おはじき、竹とんぼなど、普段子どもたちがやっていない昔の遊びを教えてもらい、子どもたちは大喜びであった。その後、教室で一緒に給食を食べ楽しいひとときを過ごした。

(7) ほのぼの交流（１１月２０日）

下長地区のお年寄りのお宅を交流協力員と６年生児童が訪問し（１１軒)、自己紹介の後ゲームをしたり、お年寄りのお話を聞いたり、歌を歌ったりして交流を深めた。

「６年生のあいさつや態度が立派でした。学習発表会の全校合唱よかったよ、と言ったらその曲を歌ってくれて…。いい子たちだねえ。」と多くの方々からお褒めの言葉をいただいた。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　０人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・学校、家庭、地域社会が自分たちの役割を自覚して、責任をもって子どもたちの教育に当たっていこうという意識がさらに高まった。

・コンビニ強盗発生時、下長防犯協会に登下校時の児童の安全確保のためのパトロールを依頼し実施したことにより、地域関係団体との連携がさらに強まった。

(2) 課題

・学校、家庭、地域社会が同じ目的に向かって地域の子どもたちを育てていく意識をもっと高めるため、ＰＴＡと地域住民が一緒に活動できる場の設定をすること。

・地域の方々や保護者に向けて、さらに地域密着型教育の周知を図っていくこと。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城北小学校
校長　中　野　　聡　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２７年６月９日（火）　１８：３０～２０：００
②協議内容
ア　委嘱状交付
イ　会則審議
ウ　会長・副会長の指名、あいさつ
エ　学校経営方針の説明
オ　地域学校連携協議会の方針及び事業計画の説明
カ　地区懇談会について
キ　非常災害時の対応について
・学校と家庭、町内会との連絡体制　・避難所、避難ビルとして

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２７年１２月１７日（木）　１８：３０～２０：００
②協議内容
ア　今年度の学校評価結果の報告と協議
イ　今年度の学校経営の報告
ウ　来年度の教育課程編成方針の説明
エ　今年度の事業の報告
オ　質疑応答、情報交換
・インターネットトラブル防止について

(3) 第３回　　①実施日時　　平成２８年２月下旬に開催予定
②協議内容
ア　今年度の教育活動や事業活動を振り返って
イ　来年度の教育活動や事業活動の見通し
ウ　情報交換

２　具体的な取組状況

(1) 教育活動支援
①読み聞かせ・図書室整備
・読み聞かせボランティアが全校児童対象に年１１回実施（６名）
・「昔っこ」の読み聞かせを全校児童対象に年３回実施（１名）
・図書室内の整備と本の整理、修繕作業を毎週月曜日に実施（１３名）
②学習支援
・１学年　生活科「小正月行事・ほがほが、昔の遊び体験活動」（家庭支援チーム）
体育「スケート教室ひも結び」（保護者数名）
・２学年　生活科「町探検」（保護者数名）
体育「スケート教室ひも結び」（保護者数名）
・３学年　総合「えんぶり学習会」（１名）
・４学年　総合「地域を知ろう」（１名）
・５学年　総合「長ネギづくり」（３名）

③クラブ活動ゲストティーチャー…茶道クラブ（１名）、アウトドアクラブ（老人クラブ数名）
④部活動指導…サッカー部（１名）、バスケットボール部（１名）

(2) 環境整備支援
①早朝奉仕作業…年２回実施、児童・保護者・地域住民・教職員（のべ６３０名）
②プール清掃…６月上旬、保護者（２１名）
③学校花壇整備…４～１１月、３学年委員会保護者
④雛人形、五月人形の飾り付け…年２回、４学年委員会保護者

(3) 安全・安心支援
①夏休みプール監視…７／２２～８／２１、４・５学年委員会保護者
②夏休み中の校外巡視…７月下旬～８月下旬、６学年委員会保護者
③交通安全教室…２回、２学年保護者・下長交番・交通安全協会
④下長地区安全安心パトロール（青色回転灯車）

(4) 交流活動支援
①１学年　生活科「小正月行事・ほがほが、昔の遊び体験活動」…老人クラブの方々との交流活動
②３学年　総合「高齢者とのふれあい」…ディケアセンターを訪問しての交流活動

(5) 情報発信支援
①ＰＴＡ広報紙「まど」発行…年３回、広報委員会保護者
②地域学校連携協議会だより「城北のそら」発行…第３～４号、コーディネーター
③地区懇談会…石堂地区、河原木団地地区の２回、町内会役員・民生委員・子ども会役員等との情報交換

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　３９　人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　２７　人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果
○地域学校連携協議会において、子どもたちを取り巻く問題（防災、不審者、インターネットトラブル等）についての情報交換及び協力体制についての確認をすることができた。
○図書室整備ボランティアの募集をしたところ１３名の方に登録していただくなど、保護者や地域に地域密着型教育への理解が少しずつ広がっている。
○教職員が、昨年度までの各支援活動の実践を土台として、さらによりよい教育活動にするためにという意識で計画や活動を見直し、実践につなげるようになってきている。
○コーディネーターの方々がボランティアや地域の方々との連絡・調整を密に図ってくれているので、先生方の負担が軽減している。

(2) 課題
○地域密着型教育のよさや各支援活動による教育効果等について、今後も保護者や地域に広く発信し、理解と協力をさらに得ていく必要がある。
○地域の方々に、学校の教育活動や子どもたちの様子を見てもらったり、一緒に活動してもらったりするような機会を少しずつでも増やしていくことも考えていく。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立高館小学校
校長　木　津　正　博

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年６月１日（月）
②協議内容　・校長挨拶　・委嘱状交付　・行政説明「地域密着型教育について」
・会則について　・方針及び組織について
・今年度の教育活動について　・事業日程計画　・質疑応答
・情報交換

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１２月２日（水）
②協議内容　・校長挨拶　・校内一巡　・参観日全体会参加
・学校評価（中間評価）に関する説明及び審議　・情報交換

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年２月８日（月）
②協議内容　・校長挨拶　・平成２７年度の学校評価に関する説明及び審議
・平成２８年度の教育活動について　・専門部会の変更等について
・情報交換

２　具体的な取組状況

(1) ４月８日（水）　１年生交通安全教室
・交通安全協会、交通安全指導隊の方々に協力をお願いした。

(2) ５月９日（土）　親子クリーン作戦
・保護者、児童、教職員、地域の方々で運動会前に校庭の清掃、学級園の整備を行った。

(3) ６月９日（火）　安全マップ作り
・各町内会役員、安全安心まちづくり協議会、交通安全協会、交通指導隊の方々と一緒に、４年生児童が町内を回り、安全マップ作りのためのフィールドワークを行った。

(4) ７月１２日（日）　子ども会夏祭り
・高館子ども会の主催で本校グランドを会場に夏祭りを行い、多くの子どもたちが参加した。

(5) １０月３日（土）　親子クリーン作戦
・保護者、児童、教職員、地域の方々で学習発表会前に校内外の清掃をした。

(6) １１月３日（日）　地域防災訓練
・高館地区連合町内会自主防災会主催の防災訓練の中で、自宅からの避難と受付・誘導訓練、非常用器具の設営・作動確認を行った。

(7) １１月２９日（日）　子ども会収穫祭
・子ども会の学習田で収穫した餅米で餅つきを行った。学習田では、苗代作りから田植え、稲刈りと一年を通して活動を行った。

(8) その他

・地域のボランティアの方が、朝の読書の時間に各教室で読み聞かせを行った。

・運動会、学習発表会に向けて、高館駒踊保存会の方々に指導していただいた。

・４年の総合的な学習「わらぞうり作り」で地域の老人クラブの方々に指導をいただいた。

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　０人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・学校便りや地域学校連携協議会便り、ホームページやブログで、地域学校連携協議会の活動内容を地域や保護者の方に発信した。地域密着型教育の趣旨への理解が深まってきている。

・本校では、地域学校連携協議会委員に学校関係者評価委員をお願いしており、参観日での授業参観や教職員・保護者・児童アンケートの結果や学力テストなどの結果をもとに多くの意見をいただくことができた。

・学校の教育活動に対しての質問や意見を聞くことができて、地域住民や保護者の考えを把握しやすくなった。学校行事や部活動などの活動を見直し、実態に合ったものに改善していくことができた。

・情報交換の中で、地域における児童の実態、特に交通安全面での課題等が出され、子どもたちに具体的に指導することができた。地域で子どもたちの安全を守っていく体制づくりができている。

(2) 課題

・専門部会を実際の活動に合わせた形に変更する必要がある。組織図や会則の見直しを図り、平成２８年度は、地域学校連携協議会を新しい仕組みでスタートさせたい。

・昨年度立ち上げた図書ボランティアの会の活動を機能的に展開することができなかった。この活動をＰＴＡ会員以外の方にも参加していただけるように、活動を広げていく方法を考えていきたい。

・今年度の地域防災訓練では、避難所開設を想定して行った。このように学校と地域が協力して行うことで一層効果的であるものを今後も計画していきたい。

・子ども会行事への参加が少なくなってきていることに関して、学校の協力を求める声がある。どのように地域へ協力していけばよいかを考えていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根岸小学校
校長　　大　浦　和　典　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回協議会

①実施日時

平成２７年４月３０日（木）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）学区校長会長（北稜中校長）あいさつ　　イ）正副会長指名及びあいさつ
ウ）３校の学校経営方針等についての説明　　エ）ボランティア活用計画について
オ）会則について　　カ）緊急時の対応について
キ）評価分科会のメンバーについて　　ク）今後の予定について

（２）第２回協議会

①実施日時

平成２７年９月３日（木）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）各学校からの情報提供

〇マイブック推進事業の取組について
〇校務支援システムについて（子どもと向き合う時間の確保）
〇中核市移行に伴う変更点等について

（３）第３回協議会

①実施日時

平成２８年１月２１日（木）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）学校目標評価について（概略の全体説明）
イ）次年度の日程について
ウ）分科会（北稜中部会、根岸小部会、日計ヶ丘小部会）

〇学校評価について

・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
・質疑応答と学校関係者評価

２　上記以外の会議の実施状況　・・・　開催していない

３　具体的な取組状況

（１）教育活動・学校行事・文化関連事業

①学習支援・・朝の読み聞かせ、昔の遊びの指導、安全マップフィールドワークの引率補助、町探検の引率補助、田植え・稲刈り・脱穀・しめ縄作り・餅つきの指導、クラブ活動指導、部活動後援、スケート教室紐結び

②行事支援・・根岸音頭（運動会で踊る）の指導、入学式・運動会・音楽会・卒業式等の接待

（２）環境整備事業

花壇整備（花植え・草取り）、教材園及び教材田整備、プルタブ回収、校庭整備、窓拭き清掃作業、図書室整備と書架整理、郷土資料室の整備、鯉のぼり設置、入場門（運動会）設置

（３）安全対策事業

プール監視、安全マップ作り、交通安全教室、自転車教室、朝のあいさつ運動、防犯パトロール、通学路点検

（４）交流連携事業

クリーン作戦（地域のゴミ拾い)、えんぶり鑑賞会、地区敬老会、子ども会サマーキャンプ、ウォークラリー、区民運動会、公民館子ども教室、子ども会行事等への参加、小・中学校ジョイントスクール事業（６年生の中学校見学、グッジョブの受け入れ）

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　４２４人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

根岸地区の方々は、「地域の子どもは地域で育てる」という考えの下、三校（根岸小学校・日計ヶ丘小学校・北稜中学校）を「根岸の学校」として分け隔てすることなく支援や協力をしてくれる。特に、平成１１年３月１６日発足のボランティアネットワーク「アスネットねぎし」は、平成２０年からスタートした学校支援地域本部事業でコーディネーターが設置されたことにより、さらに学校支援活動が充実し、本事業に至っている。

このように、根岸地域の諸団体は結びつきが強く、今年度も地域が一体となって子どもの育成に取り組むことができた。また、地域の人材を子どもたちの学習活動や学習環境づくりに活かすことにより、子どもたちは地域の方々に対して尊敬や感謝の気持ちをもち、地域のボランティアの方々にとっては、自分の特技を生かすことにより、生きがいや活力の原動力ともなった。

その他の具体的な成果としては、下記が挙げられる。

〇地域ボランティアの方々が、昔ながらの知恵や技能を生かして、熱心に指導してくださるおかげで、内容的に大変充実した体験学習が行われた。１年生の「昔の遊び体験」では、独楽や竹とんぼ、あやとりなど、お年寄りとふれあう良い機会となるとともに、感謝の心を育む場となった。５年生の「稲刈り、脱穀」では、手での稲刈りや昔の脱穀のための道具（本校郷土資料室のものを使用）を活用することで、昔の暮らしを思いうかべるとともに、米一粒一粒を大切にする気もち、現在の生活をふり返ることにもつながる学習となった。

〇土曜・日曜や夏休みなど学校が休みの日に、公民館子ども教室や子ども会の行事がたくさん行われ、多くの子どもたちが参加した。「地域の子どもは、地域で育てる。」という気概をもった大人たちのがんばりによって、子どもたちの健全育成が図られている。

（２）課題

今後、さらに活動を発展させていくためには、後継者を含め、より多くの人材を発掘していかなければならない。すでに、根岸地区も世代交代が必要な時期が迫っている。広報活動や日常的な教育活動、積極的な地域を学ぶ学習の推進を通して、保護者や地域住民が学校運営、児童の教育活動に参加するという意識を醸成したい。

そこで、保護者を「アスネットねぎし」の後継者として育成する方法の一つとして、今年度の学習で取り組んだ「昔の遊び、安全マップ、田植え、稲刈り、餅つき」等に、ＰＴＡ学年委員会へも呼びかけをして、親子で一緒に学ぶ体験学習として参加をつのり、アスネットの方々の指導の補助をしてもらう形で進めている。

今後はさらに、総合的な学習の工夫改善とともに、３年後に控える給食実践発表校、創立７０周年に向けて、人材確保を進めながら、地域に根ざした学校づくりに努めていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　日計ヶ丘小　学校
校　長　西久保　雅庸　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成 27 年 4 月 30 日（木）
②協議内容　・北稜中学校地域密着型教育推進事業の概要について
・平成 27 年度学校経営方針の説明（各校）
・ボランティア活動計画について（各校）
・緊急時の対応について

(2) 第２回　①実施日時　平成 27 年 9 月 3 日（木）
②協議内容　・情報提供（マイブッククーポンについて，校務支援システムについて，中核都市移行にむけて　ほか）

(3) 第３回　①実施日時　平成 28 年 1 月 21 日（木）
②協議内容　・学校目標評価について（全体・学校毎）
・次年度の日程について

2　上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし入）　…　開催していない

3　具体的な取組状況　※（ ）内は参加人数

(1) 図書室整備

①図書ボランティア（図書室環境整備・本の補修　ほか）(10)

… 5/ 8　5/15　5/22　5/29　6/ 5　6/12　6/19　6/26　7/ 3　7/10　7/17　7/27
8/ 4　8/28　9/ 4　9/11　9/18　10/ 2　10/ 9　10/16　10/23　10/30　11/ 6　11/13
11/20　11/27　12/ 4　12/11　12/18　1/15　1/22　1/29　2/ 5　2/12　2/19　3/ 4
3/11　計 37 回

②読み聞かせ(10)

… 4/22　5/ 7　5/20　6 / 4　6/17　7/ 2　7/15　9/ 3
9/16　10/ 1　10/14　10/29　11/12　11/25　12/3　12/16
1/20　2/3　2/17　3/2　3/16　計 21 回

③その他

・図書の除籍作業　…　10/ 7（1）
・除籍本のラベルはがし　…　10/ 7（4）　10/ 8(4)
・本の譲渡会の準備作業および本の譲渡会　…　10/ 9（5），10/10（8）

(2)環境整備

校庭の草取り・花壇整備　…　5/23(214)　9/ 5（187）

(3)学習支援

①ステップアップ学習会丸付けボランティア　…　6/ 9(5)　6/11(4)　6/12(3)
②水泳教室ボランティア　…　7/16（3）　8/ 31(3)

③畑づくりボランティア　…　5/18(2)　6/ 5（2）　10/30（2）　11/13(2)
④家庭科(ミシン)ボランティア　…　10/26（4）　10/ 5(3)
⑤スケート教室ボランティア　…　11/ 9（8）　11/16(6)　11/27（4）
⑥動物ふれあい体験ボランティア　…　9/15(4)
⑦クラブボランティア（昔の遊び・家庭科・音楽）
　…　5/ 7(9 名)　5/21(9)　6/11(9)　7/16（8）　8/ 27(9)
　　10/ 11(9)　10/29(9)　11/12(9)　11/18(9)　11/19（8）
⑧その他
・連合婦人会による根岸音頭指導　…　5/19（18）
・根岸地区老人クラブとの世代交流会　…　9/ 4（33）
・地区敬老会太鼓運搬ボランティア　…　9/15（12）
・サツマイモ収穫祭り（調理補助）　…　11/17（7）
・えんぶり学習会　…　11/24（1）　11/26(4)
・ブッククイズラリー補助　…　11/20（3）　11/27（4）

昔遊びクラブでの
「干し柿づくり」

(4)行事支援
・入学式　来賓接待　…　4/ 7（3）
・運動会　来賓接待準備、来賓接待　…　5/29（10）　5/30（10）

(5)安全対策
・新 1 年生帰宅指導　…　4/ 8（7）
・地区安全協会と交番による安全教室と帰宅指導　…　4/ 9（13）　4/10（6）

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　146　人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　17　人

5　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果
・児童の読書環境作りに向けた図書室整備は，図書室担当の教員だけではできない部分で，季節に応じた飾り付けや工夫を凝らした読み聞かせなど，児童の読書への意欲を高めるのに有効であった。
・様々な活動に学習支援という形で入っていただいたことで，児童一人一人の理解度や学習状況に応じた適切な支援ができた。特に，家庭科のミシン学習やスケート学習での補助が有効であった。
(2) 課題
・今後，より多くの方にボランティア参加していただける工夫をしていく必要がある。ボランティアのために休みが取りやすいよう，年間の活動の見通しがもてるような年間カレンダーの配布などを考えてみたい。
・ボランティアコーディネーターの負担軽減のため，コーディネーターの活動についての周知を図るとともに，後継者育成の視点も踏まえた複数配置についても考えていく必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川小学校
校長　田　村　滋　子 印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回

①実施日時　　平成２７年５月１８日（月）

②協議内容

・委嘱状交付

・役員選出

・学校経営方針について

・今年度の予定について

(2) 第２回

①実施日時　　平成２７年９月２４日（木）

②協議内容

・学校目標・重点施策の説明と授業参観

・学校目標に係る保護者アンケート等の結果について

・教育課程実施状況について

(3) 第３回

①実施日時　　平成２８年１月１９日（火）

②協議内容

・学校評価に関する説明及び審議

(4) 第４回

①実施日時　　平成２８年２月２９日（月）

②協議内容

・今年度の成果と課題について

・来年度の学校目標・教育計画について

２　具体的な取組状況

(1) 学習支援

①「柿の木クラブ」丸付けボランティア　　２１名

・３～６年「柿の木クラブ」における計算学習の丸付け支援

・通年　毎週火曜日　１５：３０～１６：１０

②読み聞かせボランティア　５名

・朝の読書活動における読み聞かせ活動

・通年　毎週金曜日　８：０５～８：２５

③生活科学習支援ボランティア　２７名（保護者を含む）

・１年昔の遊び、２年干し柿づくり、２年校外学習の支援

・１１月１７日、２４日、２６日

④稲作活動支援ボランティア　１名

・５年総合的な学習の時間における稲作活動支援

・５月～１１月

⑤琴の演奏活動支援ボランティア　１名

・日本文化クラブにおける琴の演奏活動支援

・５月～２月

(2) 環境整備支援

・ボランティア（保護者を含む）のべ２００名

・タイルはり、草刈り、樹木剪定

・年３回

(3) 行事支援

・運動会における会場設営・後始末、校庭水撒き支援　３０名

・５月２９日、３０日

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２８ 人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　２８ 人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成　果

○丸付けボランティアをしていただくことで、教師は児童一人一人にきめ細かな指導ができる。計算力の向上が、児童の取組意欲を高めている。

○各種ボランティアの方々と活動の中で触れ合ったり、給食を一緒に食べたり、お礼の手紙を送ったりする活動を通して、親交を深めることができた。学校外でも、ボランティアの方々や地域の方にあいさつをする児童が増えてきている。

○地域の方が積極的に学校に足を運んでくれるようになり、学校や子どもたちのことを温かく見守ってくださっていることを実感できた。

○地域学校連携協議会では、学校の取組について評価していただくことで、実践について自信をもち教育活動を進めることができた。

(2) 課　題

○ボランティアの方々と教職員・児童が、より信頼関係をもって事業等に取り組んでいけるよう、連絡や御礼、感謝の会等を丁寧に行い、地域に開かれた学校づくりを進めていきたい。

○保護者、地域住民の地域密着型教育に対する理解をさらに深めていただくよう、ブログ等の情報発信を充実させていく。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　三条小　学校
校長　　山　内　　均　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２７年６月１１日　１８：００～
②協議内容
・委嘱状交付式
・会則の承認
・会長，副会長の指名，挨拶
・小学校からの説明
・意見交換
・その他

(2) 第２回　　①実施日時　平成２７年１０月２２日　１８：００～
②協議内容
・学力検査の結果報告（教務主任）
・安全情報配信システムについて（教頭）
・「あすなろ活動」等について（校長）
・中間活動報告（コーディネーター）
・意見交換
・その他

(3) 第３回　　①実施日時　平成２８年１月２１日　１８：００～
②協議内容
・今年度の活動報告（コーディネーター）
・「学校評価」について報告（教務主任）
・意見交換
・その他（来年度の創立１４０周年式典の進捗状況説明）

２　上記以外の会議の実施状況

(1)企画推進部会　開催なし
(2)専門部会　開催なし
(3)その他　コーディネーターとの会議・打ち合わせを必要なときに随時行っている。

３　具体的な取組状況

(1)安全安心活動支援

○交通安全指導	４月～３月	１～２人	交差点での見守り
○新入学児見守り指導	４月　８日～１７日	２２人	危険箇所での見守り
○交通安全教室指導	４月１４日	６人	交通安全教室の見守り
○校外巡回指導	７月～２月	８６人	地域の危険箇所の確認
○プール監視指導	夏休み中	９６人	プールでの見守り

(2)教育活動支援

○読み聞かせ	５月～３月	６人	１・２年生への読み聞かせ（年間２４回）
○神楽クラブ指導	５月～２月	４人	神楽クラブ児童への指導（年間１２回＋休業日３回）
○運動会準備	５月２３日	１８人	テント及び万国旗設営
○三世代交流	６月１７日	１１０人	１・２年生へ昔の遊びの指導
○総合的な学習の時間支援	９月　３日	１人	６年生へ「八つ手観音」のお話（地域学習）

○三世代交流　　９月　８日　　４６人　４年生　昔の暮らし
○三世代交流　　９月１０日　　５３人　３年生　ふるさとの食
○地域安全マップ　１０月２６日　　９人　４年生の学習　引率補助
○町探検　　１１月　５日　　１３人　２年生　町探検児童引率
○読書指導　　７月　６日　　５人　八戸市図書情報センターによる
　　１２月　７日　　５人　全学年　ブックトーク・読み聞かせ
　　３月　７日　　５人
○米を育てる（５・６年生の活動）
・田植え　　５月２７日　　７人　田植え指導
・草取り　　７月１５日　　７人　田んぼの雑草駆除
・稲刈り　　１０月　１日　　８人　稲刈り指導
・脱穀　　１０月１９日　　４人　脱穀指導
・餅つき　　１２月　３日　　４６人　餅つき準備等
・注連飾り　　１２月１５日　　８２人　三世代交流

(3)部活動支援
・野球部指導　　４月～３月　　２人　児童への指導，安全の見守り
・バレー部指導　　４月～３月　　３人　児童への指導，安全の見守り

(4)環境整備活動支援
・運動会の環境整備　５月１８日　２６７人　運動会に向けて草取り木の伐採
・草取り交流会　　８月２７日　　６５人　老人クラブの方々と一緒に校庭の除草活動

(5)交流連携活動
・養護老人ホームでの演奏　　８月２３日　地域にある浄信館で吹奏楽部が演奏
・養護老人ホームでの演奏　　９月１２日　地域にあるほっとハウスで吹奏楽部が演奏
・神楽の演舞　　９月１３日　矢沢町内のお祭りに参加し神楽を披露
・上長地区敬老会での演奏　　９月２１日　敬老会に参加し「きざん八戸」で神楽の演舞
・まちづくり大会での演奏　１０月１２日　吹奏楽部が上長地区の集会に参加
・まちづくり大会での発表　１０月１２日　リトルジャンプチームが上長地区の集会に参加
・神楽の演舞　　２月１４日　三条館で一人暮らしの老人の方々に披露

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１８人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果
・地域の町内会，公民館，老人クラブ，幼稚園・保育園，子供会，学校など子どもに関わる代表者が一同に集まり,子どもたちの様子や地域の様子について情報交換を行えたことは，地域で子どもを育てるための土台となる貴重な場となり，児童の変容につながっている。
・今年度も学校から地域へ出ての活動を取り入れることができ，地域からも評価された。

(2) 課題
・ボランティアをしたい方はいるのかもしれないので，共に相互利益になるような取組を考え，積極的に募集を進め少しでも多くの方の協力を仰いでいきたい。
・学校の教育活動をもっと積極的に，地域へ知らせていく必要がある。
・子どもたちがもっと積極的に，地域の活動へ参加するような学校での取組の工夫が必要である。
・他地域の活用の様子を参考にしながら，ボランティアの方を活用した活動の幅を，さらに広げていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立西園小学校
校長　　齋藤 和香美　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　６月３日　１８：００～１９：３０
　　②協議内容　○経営方針・学校目標等の説明
　　○学校支援ボランティアの活動状況
　　○児童の様子
　　○市教委指導課佐々木指導主事から

(2) 第２回　　①実施日時　　９月２日　１３：５０～１６：３０
　　②協議内容　○校内研究提案授業（１年１組算数）
　　・授業参観
　　・研究協議会参加

(3) 第３回　　①実施日時　　１月２０日　１８：００～１９：３０
　　②協議内容　○学校目標重点施策の実施状況，成果と課題
　　○学校評価アンケートの結果と分析
　　○学校ボランティアの活動状況
　　○冬期間における児童の安全な登下校
　　○来年度の予定　地域学校連携協議会年間計画

「地学連協第３回協議会」

「図書ボランティア」

２　具体的な取組状況

(1) 本の読み聞かせ
　２名，年間各学級３～４回（年間４０回程度），朝自習の時間帯（８：００～８：１５）

(2) 図書環境整備
　６～７名，定期（水曜日の１０時～１２時　年間３０回程度）
　本の修理・カバー装着・ラベル張り

(3) 授業，引率補助

給食配膳（１年生）　　４月・・・・・４回
家庭科補助　　７月・・・・・２回
毛筆指導補助　　７，１２月・・・・・６回
動物ふれあい指導補助　９月・・・・・１回
安全マップ作成引率　１１月・・・・・１回
ミシン指導補助　　１２月・・・・・４回
図工彫刻刀指導補助　１２月・・・・・１回
おにぎり作り補助　　１２月・・・・・１回

「毛筆指導ボランティア」

「家庭科指導補助」

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２１人
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１８人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・毛筆やミシン，彫刻刀など子どもたちの技術的な差がある時にボランティアが個人指導してくださるので，子どもたち一人一人の確かな知識・技能の習得に役立っている。
・図書ボランティアが自主的に，季節にあった図書室の環境作りに関わってくださったので，子どもたちが本を読みやすい環境になっている。
・校外での活動にボランティアの補助が入ったことにより，効果的で安全な指導を行うことができた。

(2) 課題

・昨年度「せっかくボランティアに登録したのに，一度も活動がなかった」という話を聞いたので，今年度はどんどん活用するように先生方に働きかけた。その結果，たくさんの場面で活用することができたのは成果だったが，職員の中にボランティア活用に対する温度差があるのが課題である。
・地域学校連携協議会の会議内容やボランティアの活動状況をたより等を発行することにより，保護者や地域，職員へ，より周知する必要がある。

「老人クラブ指導によるしめ飾り作り」

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立明治小学校
校長　田　中　利　男　㊞

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①　実施日時　平成２７年６月８日（月）
②　協議内容
・委嘱状交付式
・八戸市立明治小中学校地域学校連携協議会会則審議
・会長，副会長の指名
・明治小学校，明治中学校の学校経営方針説明（学校目標を含む）
・今年度の計画審議

(2) 第２回　①　実施日時　平成２７年１２月２日（水）
②　協議内容
・明治小学校，明治中学校の学校評価の説明及び審議
・明治小学校，明治中学校の学校支援進捗状況の説明及び審議
・教育委員会挨拶

(3) 第３回　①　実施日時　平成２８年２月２３日（火）　予定
②　協議内容
・明治小学校，明治中学校の成果と課題の説明及び審議
・明治小学校，明治中学校の学校支援の成果と課題の説明及び審議
・来年度の協議委員について

２　具体的な取組状況

(1) 教育活動

①　学習活動支援……学級担任や行事担当者からの依頼を受けて随時活動。給食配膳補助８名。学校園畑畝づくりに老人クラブ１３名と保護者ボランティア２名。八幡馬踊り指導に老人クラブ１２名と保護者ボランティア２名。自習時間の見守りに保護者ボランティア３名。絵の展示作業に保護者ボランティア７名。相撲大会まわし付けに保護者ボランティア１５名。相撲大会審判に保護者ボランティア３名。陸上記録会補助に保護者ボランティア３名。校外学習の見守りに６名。１・２年収穫祭の老人クラブ接待に保護者ボランティア１名。田植えや稲刈りなどの体験活動への補助に保護者ボランティア４名。

②　図書館整備支援……４月に５名で名簿の更新作業・図書登録・本の整備を行った。

③　読み聞かせ支援……６月から３月までの毎週月曜日の朝に１～２名のボランティアが学級を訪問し，本の読み聞かせを行った。

(2) 部活動

①　部活動指導支援……野球部２名・サッカー部２名・ミニバス部２名・スケート部２名が指導者として活動している。（毎年４月に委嘱状を交付）

②　引　率　支　援……陸上競技会とスケート競技会への参加にあたって，引率支援ボランティアを配置し，児童の安全確保に協力している。

③　部活動見守支援……指導者が練習に入るまでの間，ボランティアが練習を見守っている。コーディネーターがアンケートを実施して予定表（一覧表）を作成している。

(3) 安全安心活動

① 交通安全支援……４月２２日（水）交通安全教室に４名のボランティアが自転車の乗り方指導補助として参加。地域からも駐在所所長，交通指導隊４名，安全パトロール隊６名，交通安全母の会の方々が支援に参加した。

② 防犯パトロール……全校児童が５時間授業で下校する水曜日の放課後に，１０名の安全パトロール会のスタッフが学区内巡回を行っている。

③ 朝の立哨支援……春休み，夏休み，冬休み明けに通学路の３箇所で全保護者が登校の街頭指導を行った。

④ 地域総合防災訓練…１０月４日（日）の地域総合防災訓練に参加。講話「ネパール地震における国際緊急援助医療チーム現地活動」や応急手当訓練「骨折等への対応」，消化訓練・バケツリレー，水道企業団給水訓練なども実施された。

(4) 環境整備活動

① 奉仕作業……５月２３日（土）と９月６日（日）に除草や花壇整備，側溝泥上げを中心とした奉仕作業を実施した。どちらの回も，児童と２００名を超えるボランティアが参加した。

② 資源回収……５月～１０月に６回の資源回収を実施した。回毎に担当学年を分担したことによって，毎回１０名前後のボランティアの協力を得ることができた。

③ 校内清掃……３月にボランティアによる清掃活動を計画している。

(5) 交流連携活動

① 八幡宮大祭参加……相撲大会の運営・まわし付け補助に１８名のボランティアが参加した。また，大祭期間は延べ２０名が巡視を行った。

② 学区民体育祭参加…８月３０日（日）中学校を会場とした学区民体育祭が行われた。中学生の活躍のおかげで小学生は保護者と共に大いに楽しむことができた。

３ ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１９名（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１９名

４ 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・地域密着型教育への取組は５年目となるが，地域関係者・学校職員・学校支援コーディネーター・ＰＴＡ役員等には地域全体で子どもを育てようという意識が定着している。
・小中学校が合同で本事業に取り組むことによって，学校間の情報交換が密になり，ジョイントスクールやグッジョブ事業での連携がスムーズになった。
・ボランティアの方々に協力いただくことで教育活動が充実し，基礎学力の定着や豊かな心の育成などの「生きる力」の育成に役立っている。
・地域総合防災訓練は，フリー参観日と抱き合わせて実施することにより，例年より保護者の参加数を伸ばすことができた。
・学校支援ボランティア募集案内を発行し，応募者は昨年度と同じ１９名となった。

(2) 課題

・学校支援ボランティアの登録数は伸びたが，保護者中心に呼びかけていたため，図書ボランティアの読み聞かせなど人員を必要としている。地域へもさらに募集を広げ，人材登録のデータベースを充実させていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立桔梗野小学校
校長　四　戸　慶　子　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年　６月　２日（火）　１８時３０分～
②協議内容　・委嘱状交付
・会則・組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策の説明　及び審議

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１２月１７日（木）　１８時３０分～
②協議内容　・今年度の活動報告
・学校評価に関する報告と意見交換

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年　２月２３日（火）　１８時３０分～
②協議内容　・今年度の成果と課題の説明および審議
・来年度の教育計画についての説明

２　上記以外の会議の実施状況

(1) ボランティア集会　①実施回数　２回
②構成メンバー　ボランティア登録者、
コーディネーター、
校長、教頭、教務主任
③内 容　昨年度の活動の紹介
今年度の活動の打ち合わせ
今年度の活動の報告・反省

【ボランティア集会：5 月 28 日（木）】

３　具体的な取組状況

(1) 学習支援

校外学習引率	６／１８、１１／６、１２／１	２～５人
４年安全マップ作り	１０／２３	１６人
音楽器楽指導補助	９／９～１０／９（１６回）	２～４人
すこやか会議参加	８／２８	９人
５・６年生ミシン学習補助	１２／１０～１２／１６（６回）	１～４人
５・６年生習字学習補助	１／２２	７人
習熟度別学習丸つけ支援	１月～３月（４回）	３人～６人
５年郷土料理作り支援	２／１、２／４	１１人～１４人
百人一首の暗誦聞き取り	２／５、２／１２、２／１９	若干名
クラブ活動手伝い	５月～１１月（１２回）	１～２人

(2) 行事支援

交通安全教室（５人)、入学式受付接待（２人)、音楽会受付接待（３人)、

マラソン記録会補助（２２人）

(3) 安全支援

登・下校安全指導（毎日２人）

(4) 図書支援

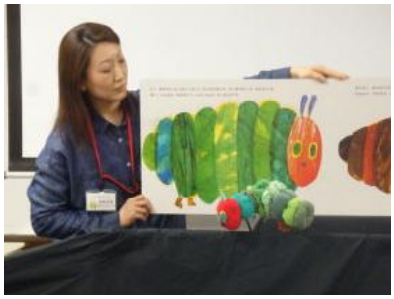
本の貸し出し（毎週月曜日２人～６人)、

本の読み聞かせ（毎週金曜日３人～７人)、

１１／１９：お話会（６人)、

１２／１１：クリスマスお話会（６人)、

図書室整備（随時)、第２図書室設営（随時）



【お話会：11 月 19 日（木)】

(5) 部活動

見守り（毎週月曜日)、部活動指導（野球部・サッカー部・ミニバス部）

(6) その他

環境整備支援（随時)、配付物仕分け（随時）

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１７人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　７人

5　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・地域密着型教育も３年目になり､地域の方々と子どもたちとのかかわり方が活発になってきた。

・保護者や地域の方々から直接話を聞く機会が増えたことにより、学校とは違う子どもたちの様子を知ることができた。

・ボランティアの方々の協力により、学習や活動、教育環境などがさらに充実した。

・ボランティアコーディネーターを２人体制にすることで､「ボランティア便り」の発行やボランティアの依頼がスムーズに行われた。

(2) 課題

・ボランティア登録メンバー同士の親睦が深まり、楽しく活動できる雰囲気が醸成されてきているものの､メンバーが固定されてきており､新規ボランティアの人数増加につながらなかった。

・「ボランティア依頼記入用紙」の活用により、随時、必要なボランティアの依頼ができるようになったが、依頼が遅くなりボランティアが集まりにくいことがあった。

・今後もたくさんの地域の方々や保護者から大きな力をいただけるように、わかりやすい説明と情報発信を継続し、さらに周知を図っていきたい。

【ミシンボランティア：12 月 11 日（金)】

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立轟木小学校
校長　髙　橋　晋　也　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①　実施日時　平成２７年１０月１７日（土）

②　協議内容　ア　委嘱状交付

イ　議事

・　会則の確認

・　会長・副会長指名，挨拶

・　学校経営方針等について説明

・　審議

(2) 第２回　　①　実施日時　平成２８年　２　月２６日（金）［予定］

②　協議内容　ア　議事

・　学校評価の説明

・　連携活動の現状と課題の説明

・　次年度の予定に関する説明

・　審議

２　具体的な取組状況

(1) 部活動支援

・　野球部，ソフトボール部に各２名のコーチを依頼。主にシーズン中の技術指導や大会参加の際の学校指導者の補助

(2) 生産活動への支援

①　学校田での米づくり支援

５月～１１月にかけて耕起，代掻き，田植え，草取り，稲刈り，脱穀作業　約２０名

その他に随時，水管理や畦の草刈り

②　学校畑での作物栽培支援

５月～１１月にかけて，畑の耕起，栽培している作物の栽培方法についての助言や各種作業の補助を主に児童の祖母１名に依頼

(3) 環境整備

① ５ 月１７日（日）校地内草刈り・校庭整地作業・運動会準備　５０名

② ９ 月 ６ 日（日）校地内草刈り・校庭整地作業　５０名

(4) 夏休みプール監視

・ 市川中学校プール運営委員会として，プール開放の際の本校割当分の１６回のプール監視
ＰＴＡ会員４４名全員及び職員８名

(5)学習及び学校行事・ＰＴＡ行事の支援

① １１月 ８ 日（日）「とどろきまつり」

・ 昔の遊びを通しての祖父母との交流活動に地域の祖父母　２０名
餅つきの手伝いに保護者，祖父母　２０名

・ 同日午後開催のＰＴＡバザーは学年毎に出店を担当し，ほぼ全員の保護者が参加

② その他，交通安全教室やマラソン記録会，スケート教室などの補助として保護者が多数参加

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２５人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　２４人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・ 地域学校連携協議会の開催により，学校の運営方針や教育活動の状況を説明する機会が明確になり，地域関係団体との情報の共有が図られるようになった。

・ 地域の方々の学校への関心が高まり，協力・支援を得やすい状況が生まれてきた。

・ 地域の方々の支援をいただく中で，児童と地域の方の交流が図られ，児童の地域理解がより深まった。

(2) 課題

・ 児童数の減少，ＰＴＡ会員の減少に伴い，地域民の教育活動への支援の必要性が高まることが予想され，ボランティアの登録増を進める必要がある。特に，学習支援及び児童の安心・安全に関わるボランティアの充実を図りたい。

・ 今年度は主に学校での活動への支援が主であった。次年度以降，地域の諸活動に子どもたちがどのように関わっていけばよいか検討する必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立多賀小学校
校長　田名部　喜　郎　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回　　①実施日時　平成２７年５月２２日（金）　１１名参加
②協議内容　・委嘱状交付式(委嘱状交付，校長あいさつ)
・趣旨説明(校長)
・会長，副会長の指名，会則承認，会長，副会長あいさつ
・今年度の学校経営ついて(校長)，組織及び計画について(教頭)
・協議(質問，ご意見)

（２）第２回　　①実施日時　平成２７年１２月８日（火）　１０名参加
②協議内容　・会長あいさつ，校長あいさつ
・平成２７年度の現状について(校長),第１回学校評価の結果等について，第２回学校評価について(教頭)
・協議(質問，ご意見，ご助言)

（３）第３回　　①実施日時　平成２８年１月２６日（火）　１１名参加
②協議内容　・会長あいさつ，校長あいさつ
・第２回学校評価の結果について(教頭)
・協議(質問，ご意見，ご助言)

２　具体的な取組状況

（１）環境整備

①校地内の環境整備

○平成２７年５月２４日（日）（ＰＴＡ，教職員，児童約１３０名）校地内の草刈り，草取りや花壇の整備等

○平成２７年１１月１５日（日）（ＰＴＡ，教職員，児童約８０名）校地内の草刈り，草取りや花壇の整備，校舎・体育館・玄関の窓ふき等

②学校田の管理・世話　平成２７年５月～１０月（保護者，地域の指導者の方々）
・学校田の日常的な管理(田おこし，代かき，肥料まき，草刈り，水管理，薬剤散布等)

（２）学習支援

①田植え体験学習　　平成２７年５月２５日（月）（保護者17名，児童100名，教職員11名）
・児童による学校田の田植え体験学習の補助

②稲刈り体験学習　　平成２７年１０月２１日（水）（地域の指導者6名，保護者15名，児童100名，教職員11名）
・児童による学校田の稲刈りの補助及び機械による稲刈り・脱穀

③６年生鮭学習　平成２７年１０月より３月まで４回（市川漁協，八戸水産事務所の指導）
・６年生への鮭の生態，飼育，放流，食の指導・補助，鮭学習会

④５年生しめ飾り体験学習　平成２７年１１月３０日(月)（橋向生活改善ｸﾞﾙｰﾌﾟ 6名，5年児童23名，教職員1名）
・５年生の稲わらを使ったしめ飾りづくり体験学習での制作指導

⑤計算スキルアップボランティア　平成２８年１月２０日～２２日　（保護者６名）
・計算練習の丸付けの補助

（５年生しめ飾りづくり）

（秋の環境奉仕作業）

（稲刈りの指導）

⑥読み聞かせボランティア　平成２７年５月～２８年２月（読み聞かせボランティア１名）
・各学級ごとに朝学習の時間に読み聞かせを行う。（原則，隔週で行う。）
⑦いちご学習　平成２７年６月～１１月　（地域の指導者１名）
・いちごジャムづくり，いちご栽培体験，いちごハウス見学，いちごの収穫体験

（３）行事等補助
①津波対応校外避難訓練　平成２７年６月１１日（木）（警察･地域諸団体11名，保護者6名，児童100名，教職員11名）
・大津波警報時に対応した八戸工科学院までの校外避難訓練の見守り，歩行指導等
②校内マラソン大会　　平成２７年１０月２９日（木）　（交通指導隊4名，児童98名，教職員11名）
・マラソン大会時の交通整理，安全確保・指導
③ＰＴＡバザーでの児童活動補助　平成２７年１１月１日（日）（保護者8名，地域指導者5名）
・餅つきの補助，神楽演奏の補助
④創立百四十周年記念式典への協力　平成２７年１１月２１日（土）（保護者６０名）
・式典準備，式典係補助，受付，接待，案内，駐車場等の係補助

（４）地域とのかかわり（地域行事・伝統芸能継承・施設との交流）
①地域の行事である白髭神社例大祭相撲大会，市川神楽奉納に参加している。地域の相撲愛好会や町内会の方のお世話いただいている。
②地域に伝わる伝統芸能「市川神楽」を地域と共に継承する活動を行っている。地域の方から指導を受けている。白髭神社例大祭，ＰＴＡバザー，記念式典のおり披露する。
③毎年地域の高齢者対象の介護施設との交流を図っている。（今年度は４年生の出前講座）
④多賀地区防災訓練への協力（平成２７年１１月２２日）

（校内マラソン大会の補助）

（読み聞かせ）

（市川神楽お囃子）

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　６人（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０人（ＰＴＡ安全互助会賛助会員に加入）

４　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果
・今年度も地域学校連携協議会は年３回実施することができた。関係諸団体や保護者の代表の方々から児童の地域での様子をおしえていただいたり，色々なご意見やご助言いただいたりすることができた。今年度も委員の方からの学校関係者評価（数値での評価）をしていただくことができ，改善への手がかりとなった。
・地域学校連携協議会の中で，創立百四十周年記念に向けての色々なご意見・ご助言をいただくことができた。おかげで，滞りなく無事に行うことができた。
・コーディネーターの方からの地域の情報を得ることができた。

（２）課題
・教職員の地域との関わり方についてより一層理解を深める必要がある。
・現在協力して下さっている教育ボランティアの活用をより充実させていくとともに，新しい活動での教育ボランティアの確保に努めたい。
・委員の方が，色々な行事や活動場面で学校や子どもたちを見ていただけるよう今後も働きかけを続けていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立多賀台小学校
校長　八　戸　邦　彦　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２７年　６月１２日（金）　１８：００～１９：３０
②協議内容
・委嘱状交付
・会則審議
・会長・副会長選任，あいさつ
・学校経営の説明
・今年度の協議会計画
・学校評価について

(2) 第２回　　①実施日時　平成２７年１０月２９日（木）　１８：００～１９：３０
②協議内容
・学校評価について（中間評価）
・今年度事業の状況

(3) 第３回　　①実施日時　平成２８年　１月２１日（木）　１８：００～１９：３０
②協議内容
・今年度活動お礼
・学校評価について
・今年度学校支援の成果と今後
・来年度の予定

２　上記以外の会議の実施状況

なし

３　具体的な取組状況

(1) 教育活動部会
①学習活動支援
１年親子学習会　…　１１／６　保護者と給食センター見学・給食試食　２２名
２年親子学習会　…　９／３　保護者と給食センター見学・給食試食　３０名
３年地域安全マップづくり　…　９／２８
（班ごとに危険箇所のフィールドワーク，地区防犯協会・保護者１０名）
４年親子学習会　…　１１／１３（星空の観察，保護者２４名）
５年米作り　…　６／２（田植え），１０／１４（稲刈り），１１／２５（庭じまい），
１２／１０（縄ない）
おいらせ町の方・高屋敷老人クラブ・保護者　延べ８０名
６年親子学習会　…　１１／２０（保護者とせんべい汁・豆しとぎ作り　２５名）
②図書館整備・読み聞かせ
毎月２～３回　…　くまの会による朝の読み聞かせ（各学年）　５名
月１回　くまの会による昼休みの読み聞かせ　５名
ブックトーク　くまの会　各学年１回　計６回　５名
随時，図書室整備　５名

③学校保健委員会

９／７「よりよい生活習慣を身に付けるために」，県病医療管理監小野正人氏による講演
児童１５９名・職員１３名・保育士・他校養護教諭・保護者４０名

④クラブ活動ゲストティーチャー

華道体験・茶道体験　　１名
手芸指導　　１名

(2) 環境整備部会

①花壇苗植え　…　６／４　三丁目老人クラブ　１４名
②運動会前環境奉仕　…　５／１９　校庭・中庭等の草取り　３０名
③バザー前環境奉仕　…　１０／２０　１階窓ふき　２０名

(3) 安全安心部会

①交通安全指導

交通安全教室 …　４／９　歩行訓練の安全指導，補助
交通安全協会・Ｐ交通安全母の会１５名

②朝の立哨指導

毎朝，　交通安全協会・交通指導隊１０名

③防犯パトロール

火・木曜日，地区防犯協会１０名

④下校見守り

６月～１１月の水曜の下校時，保護者１１７名

⑤夏休みプール監視

夏休みプール開放日，１１７名

(4) 部活動部会

部活動指導者　…　野球部８名　　バスケ部３名
部活動下校見守り，試合引率，部活動親の会活動・会計

(5) 交流連携部会

学区大運動会　５／２４
地区防犯スポーツ大会　８／２　　地区敬老会　９／１３
市川地区ふれあい運動会　１０／４
ニュースポーツ講習会　１１／２２　　どんと焼き祭　１／１１

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１４７人（全保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

○保護者や地区防犯協会・交通安全協会等，地域全体での見守りが行き届いている。また，降雪時の通学路確保のための除雪協力も行われるようになってきた。そのため，児童は事故や犯罪に巻き込まれることなく，安心・安全に過ごすことができた。
○委員の方から，「安全マップ作り」や「掲示板活用」などについてのアドバイスをいただき，改善することができた。
○地域の取組（アルミ缶回収事業）をＰＴＡが引き継いだり，親子学習会の講師として地域の老人クラブの方をお招きしたり，学校と地域・ＰＴＡの動きがより活発になった。
○学校が把握できていない学区の情報を得ることができた。

(2) 課題

○「多賀台人材バンク（仮称）」の登録を呼びかけ，来年度に向けて整備しているところなので活用を進めていく。
○コーディネーターを複数にし，役割分担をしながら効率的に活動できるよう工夫する。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立豊崎小学校
校長　金　谷　　誠 印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年５月２７日(水)　１９：００～
②協議内容
・委嘱状交付
・会則及び組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策の説明及び審議　等

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１２月１５日(火)　１８：３０～
②協議内容
・学校の現状と課題の説明及び審議
・学校評価に関する説明及び審議
・情報交換　等

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年２月８日（月）実施予定
②協議内容
・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議
・来年度の教育計画についての説明　等

２　具体的な取組状況

(1)安全・安心活動

・地区の巡回指導	毎週木曜日(６月～１０月)	毎回４～６名
・登校時の交通安全指導	４月８日～１０日(水～金)	約３０名
	９月８日～１０日(火～木)	約３０名

(2)環境整備活動

・運動会前の校庭の草取り 側溝の泥あげ 入場門の設置	５月１０日(日)	約５０名
・相撲大会前の土俵周辺の草刈り 土俵整備、校庭の草刈り	８月３０日(日)	約４０名
・校庭の雪山つくり	１月	１名
・駐車場の除雪と通学路の確保	１月	２名

(3)教育支援活動

・田植えから精米までの米作り 畑作物の栽培に関する活動支援	４月～１１月	２名
・七崎音頭指導	５月　８日(金)、１５日（金）	１名
・郷土学習　授業のＧＴ	９月１４日(月)	１名
・郷土学習　地域の方のお話	１１月１７日(火)	１名
・収穫祭（餅つき）活動支援	１１月２２日(日)	２０名

(4)行事支援活動

・相撲の作法指導	８月２８日(金)	１名
・相撲大会準備、運営、審判 後片付け	９月　６日(日)	約４０名
・相撲大会用のシート片付け	９月１３日(日)	約２５名
・マラソン大会巡視	５月２３日(土)、１０月２９日(木)	各１３名
・学習発表会後の後片付け	１０月１７日(土)	約３０名

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数・・・保護者と地域の関係者全員が協力者となっている。

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０ 人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・総合的な学習の時間等で、地域の歴史や文化に詳しい方を講師に、豊崎の歴史や伝説について授業のゲストティーチャーとしてお話していただいた。また、実際に地域の寺社や石碑を案内してもらったことは、児童にとっての地域理解が深められ地域の良さに気づくことができた。

・毎年１回、全校朝会での地域人材講話を設定している。地域で行われている活動が沢山の人の手によって成り立っていることを、実際に関わっている方から教わることで、子供たちの地域行事への参加する意識や態度の変化が見られた。

・地域連携協議会では、学校評価アンケート結果への貴重な意見を得ることができた。また、学校や地域内での子供たちの様子を情報交換することができ、次年度の教育活動の改善に生かすことができた。

(2) 課題

・児童数の減少により、協力できる保護者が年々少なくなっている。学校行事や児童の活動のの様子等を地域に積極的に情報発信し、地域の協力者を確保していかなければならない。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立新井田小学校
校長　寺地　義道　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　　平成２７年　５月２８日（木）１８：３０～１９：３０
②協議内容　ア　委嘱状交付
イ　会則の審議
ウ　正副会長の選任
エ　学校経営方針、児童生徒の現状等についての説明
オ　意見交換
カ　八戸市教育委員会から

(2) 第２回　①実施日時　　平成２７年１２月１５日（火）１８：３０～１９：３０
②協議内容　ア　学校運営状況の説明
イ　学校運営に対する質疑応答、意見交換
ウ　意見交換

(3) 第３回　①実施日時　　平成２８年　２月２３日（火）１８：３０～１９：３０
②協議内容　ア　学校評価の総括
イ　次年度の計画の確認
ウ　意見交換

２　上記以外の会議の実施状況

小学校創立１４０周年、中学校７０周年に向けて、大館地区として祝賀会を合同で行えるよう検討し、実施の目途がついた。

３　具体的な取組状況

(1) 図書支援　　活動内容・・・本の貸出し・修理，図書室の環境整備，学級図書の入替え
期日、回数・・毎週金曜日を基本（５月～１月末まで　計２２回）
参加人数・・・登録者１１名のうち１回４～６名参加

(2) 環境整備　　活動内容・・・校地内の草刈り・草取り
期日、回数・・５月１７日・９月１３日　　計２回
参加人数・・・累計６４名参加

(3) 安全指導　　活動内容・・・登下校の安全指導
期日、回数・・４月８日～１３日（新入生下校時)、毎日登校時
参加人数・・・４月８日～１３日　累計９１名、登校時３名

(4) 部活動指導　活動内容・・・卓球部の指導
期日、回数・・週に１～２回程度
参加人数・・・登録者１名

(5) その他　コーディネーターの呼びかけによる草取り奉仕の方々への慰労会開催
地域連携協議会だよりの作成、発行

４　ボランティアの状況
(1) ボランティア登録現在数　５２人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　４０人

５　地域密着型教育の成果と課題
(1) 成　果
①各学校の教育活動や児童生徒の状況等について、直接説明する機会を得たことで、情報交換の透明性を高め、双方の協力意識が高まっている。
②地域の関係団体や保護者等の代表から、学校運営に対する意見を改めて聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り学校評価に生かせるようになってきている。
③コーディネーターの負担が大きくならないようにするとともに、各学校間やボランティアの連絡調整が円滑に進むように、公民館の主事に協力を仰ぎ、コーディネーターの複数体制が実現している。

(2) 課　題
①教職員の校務分掌組織やＰＴＡ組織、ＰＴＡ活動との関連性を図り、より実質的な協働態勢づくりを推進していくことが重要である。そのために、企画推進部会並びに専門部会等の必要性や編成方法について引き続き検討する必要がある。
②児童会・生徒会活動等との関連性を図ることによって、児童生徒の意識を高めるとともに、地域の一員として、地域をよく知り、地域のために活動する機会を積極的につくりだしていくことが重要である。
③地域がより連携した防災体制づくりや防災訓練の実施に向けて具体的に協議し、平成２８年度８月２８日に予定されている八戸市総合防災訓練について一丸となって取り組む必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立旭ヶ丘小学校
校長　　今　井　裕　一　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）　第１回　①実施日時　平成２７年　６月　９日（火）１８：３０～２０：００
②協議内容　委嘱状交付　会則の承認　会長・副会長の指名と挨拶
学校経営方針の説明　組織について　今年度事業計画
各支部・協会・子ども会の報告　八戸市教育委員会の指導

（２）　第２回　①実施日時　平成２７年１０月　６日（火）１８：３０～２０：００
②協議内容　前期学校の様子　アンケートの結果説明
教育支援ボランティアについて　地域での児童の様子

（３）　第３回　①実施日時　平成２８年　１月２５日（月）１８：３０～２０：００
②協議内容　学校評価に関する報告と意見交換　地域密着型教育の活動報告
情報交換

２　上記以外の会議の実施状況

・特に開催していない

３　具体的な取組状況

（１）教育活動部会

・平成２７年　６月３０日　学校保健委員会主催「すこやか会議」
テーマ「短命県返上！！～健康で長生きするために自分たちにできることは何だろう～」
講師　八戸市役所　健康増進課　保健師　佐々木菜弥　氏
・平成２７年　９月１７日　２学年町探検（ボランティア１０名）
・平成２７年１１月１２・１３日　３学年「地域の名人発見」（ボランティア１１名）
・平成２７年１１月１２日　４学年「地域安全マップづくり」（ボランティア９名）
・平成２７年１１月２０・２１日　６学年「職業体験学習」
（協力事業所１６か所　ボランティア５名）
・平成２７年６月～平成２８年２月　個別支援学習「あさひ学習教室」

（２）安心・安全部会（安全づくり）

・平成２７年　４月　９日　歩行訓練
・平成２７年　４月１４日　交通安全教室〔地域住民ボランティア・保護者１５名〕
・平成２７年　８月　８日　旭ヶ丘まつり〔夜間巡回に教職員参加〕
・交通安全立哨指導（学期初め）〔地域住民ボランティア・保護者・教職員〕
・学区巡視（長期休業中）〔地域住民ボランティア・保護者・教職員〕
・プール監視（夏季休業中）〔保護者６５名〕

（３）環境整備部会（環境づくり）

・平成２７年　５月１２日　花壇花苗植え作業〔児童・保護者・地域住民・教職員　計２０名〕
・平成２７年　７月１２日　校地内除草・樹木剪定作業

〔児童・保護者・地域住民・教職員　計２００名〕

・平成２７年１０月１８日　校地内除草・樹木剪定作業

〔児童・保護者・地域住民・教職員　計１４０名〕

（４）図書部会（心づくり）：読み聞かせ・本の修理・図書室整備

・平成２７年　７月１６日〔保護者１０名〕　・平成２７年１０月１５日〔保護者１５名〕

・平成２７年１１月２４日〔保護者　９名〕　・平成２７年４月～１０月　図書室環境整備

保護者引率ボランティア

あさひ学習室

花壇花植え作業

剪定作業

交通安全教室　地域・保護者指導支援

読み聞かせ

４　ボランティアの状況

（１）　ボランティア登録現在数　１２０人（保護者含む）

（２）　今年度ボランティア保険加入者数　２人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）　成果

・連携協議会理事会の中で，挨拶や交通ルールなど規範意識に関わる情報交換を行った。学校・家庭・地域の三者で身に付けさせたいことの確認をし，見守り体制を強化することができた。

・地域の名人発見や職業体験など，校外学習を実施する際には，コーディネーターが窓口になり，地域事業所や引率補助者への連絡，移動の際の安全見守りを行った。そのことにより，活動が安全に実施され，教育効果も上がった。また，協議会理事会の場で，コーディネーターから「児童の挨拶が良く，誇らしい気持ちになった。」という報告があり，児童の頑張りを共有することができた。

・学習ボランティアによる個別学習教室は，個に応じた指導により，一人一人が意欲をもって学習を進めることができた。また，図書ボランティアによる，季節に応じた本の選定や掲示物の工夫など，児童の図書室利用を促した。

（２）課題

・学校と地域の連携をより強固なものにするために，学校から地域への発信や地域人材の発掘，活動方法の見直し，教職員のかかわりの意識づけなどを行い，連携を密にした教育活動の活性化を図りたい。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立市野沢小学校
校長　　佐々木　典　子　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年７月２日（水）１５：５０～１６：３０
・１３：１５～授業参観　　・１４：３０～教育講演会
・１５：４０～地域学校連携協議会
②協議内容
ア）学校経営方針・重点施策について
イ）地域密着型教育推進について・今後の日程や取組
ウ）参観されての感想・助言

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１２月１日（火）１５：５０～１６：３０
・１３：５５～授業参観　　・１５：００～全体会
・１５：４０～地域学校連携協議会
②協議内容
ア）前期教育活動の進捗状況について
イ）学校支援ボランティア・地域密着型コーディネーターについて
ウ）参観されての感想・助言、情報交換

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年２月２２日（月）１８：３０～
②協議内容
ア）今年度の地域密着型教育取組状況について
イ）学校評価アンケートの結果の説明
ウ）次年度の地域学校連携協議会について（行事・理事等含む）
エ）助言、情報交換

２　上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし入）

企画推進部会・専門部会等の開催はなし

３　具体的な取組状況

(1)環境整備活動（ＰＴＡや地域ボランティアで実施）

①　４月　５日（日）　学校横階段整備（お父ちゃん会ボランティア）
②　４月１６日（木）　学校農園整地・畝作り（お父ちゃん会ボランティア）
③　５月１０日（日）　敷地の内の草刈り・刈り払い・樹木の剪定（ＰＴＡボランティア）
④　５月１６日（土）　親子農園・運動会グランド整地（ＰＴＡボランティア）
⑤　６月　３日（水）　ヘチマ棚設置（ＰＴＡボランティア）

⑥　７月　５日（日）　敷地の内の草刈り・刈り払い・樹木の剪定（ＰＴＡボランティア）
⑦　７月１０日（金）　花壇の花苗植え作業（地域ボランティア）
⑧　７月２６日（日）　敷地内草捨て場の整備（お父ちゃん会ボランティア）
⑨　８月中旬～１１月上旬　校地内の草刈り等環境整備（地域ボランティア）
⑩　８月３０日（日）　敷地の内の草刈り・刈り払い・樹木の剪定（ＰＴＡボランティア）
⑪１０月３０日（金）　花壇の花苗植え作業（地域ボランティア）
⑫１１月　８日（日）　校内の窓ふき・草刈り（ＰＴＡボランティア）
※その他、地域の方々による除雪作業

⑵学習支援ボランティア（地域ボランティアや地域施設との連携）
①４月～２月　読み聞かせ（南郷図書館・サークルのいちごとの連携）
②５・１０月　南中ソーラン・南郷音頭指導（地域ボランティア）
③５～１１月　各学年の親子農園活動（ＰＴＡボランティア）
④５月１７日（日）　運動会用具係補助（お父ちゃん会ボランティア）
⑤６月２２・２３日　３・５年ヒップホップダンス教室（南郷公民館との連携）
⑥６月～　ひまわりの学習指導（「山の楽校」との連携）
⑦７月～１２月　そばの学習指導（「山の楽校」との連携）
⑧９月１４日（月）　３年ブルーベリー料理についての学習指導（南郷公民館との連携）
⑨１１・１２月　スケート補助（ＰＴＡボランティア）
⑩２月　１年生昔遊び教室（老人クラブとの連携）

⑶安全支援活動（地域ボランティアとＰＴＡボランティアの活動）
①４・９月　交通安全街頭指導・交通安全教室補助（地域ボランティア・ＰＴＡボランティア）

⑷地域行事との連携（ＰＴＡボランティアとお父ちゃん会・地域諸団体との連携）
①１月　子供会冬祭り・バザー（子供会・老人クラブ・お父ちゃん会・ＰＴＡボランティア）

４　ボランティアの状況

⑴ ボランティア現在数　１６　人（保護者含む）
⑵ 今年度ボランティア保険加入者数　１６　人

５　地域密着型教育の成果と課題

⑴ 成果
①「ふるさと学習」を柱に、地域機関や地域人材と連携して取り組むことができた。
②理事会を参観日に設定することで、学校での活動を見ていただくことができた。たくさんのご意見・ご助言をいただくことができた。

⑵ 課題
①統合に関わり、地域学校連携協議会の組織づくりや今後の活動のあり方を考えていく必要がある。また、ボランティアの登録と保険について早めに把握する。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 中野小　学校
校長　　佐々木　智子　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（1）第１回　　①実施日時　　平成２７年６月２３日（火）１８時３０分～１９時１５分

②協議内容

・委嘱状交付
・学校経営方針、今年度の学校目標の説明
・学校評価に関わる説明
・年間事業計画及び会則等の確認
・その他　情報交換など

（2）第２回　　①実施日時　　平成２７年１２月１５日（火）１８時３０分～１９時３０分

②協議内容

・学校評価アンケート結果及び説明
・本校教育活動に関する意見・要望等
・閉校、統合に関する報告
・その他　情報交換など

（3）第３回　　①実施日時　　平成２８年１月２９日（金）１０時４０分～１４時１０分

②子どもたちと交流会

③協議内容

・学校評価に関する報告及び意見交換
・閉校、統合に関する報告
・次年度の教育活動及び学校行事予定等について（南郷小学校）
・その他　情報交換など

２　上記以外の会議の実施状況

開催なし

３　具体的な取組状況

（1）行事等への支援　　（PTA 及び地域諸団体）

①　学区合同運動会　H.27.5 月　　中野づくりの会…会場準備、用具係、各種競技等
②　学習発表会　　H.27.10 月　中野神楽保存会…中野神楽の指導（計 13 回）
③　収穫感謝祭　　H.28.1 月　　中野そばの会…そば打ち体験

(2) 農業生産活動への支援　　（PTA 及び地域の有志）

①学校農園整備　H.27.5 月　畑の耕耘、マルチがけ、草刈り

②もち米づくり　H.27.5 月～ 11 月　代掻き、田植え、管理、稲刈り、脱穀、精米

※もち苗提供…中野稲作地域資源保全隊

③そばづくり　H.27.7 月～ 11 月　畑の耕耘、種まき、そば刈り、脱穀、製粉

(3) 環境整備への協力　　（PTA 及び学区住民　5 月、8 月、11 月、延べ約 200 名参加）

①奉仕作業　・校地内草刈り、グラウンド整備等

・花壇整備　※花苗提供…なかの地域資源保全隊

・閉校式典会場準備

②清掃活動　・体育館ギャラリー及び 1 階廊下大掃除、窓ふき

・閉校式典会場清掃

(4) 安全・安心に関わる活動　　（PTA 及び交通指導隊）

①学区内巡視　夕方～夜間の巡回指導、年 6 回

②街頭指導　通学路交差点、校門前における安全指導、年 3 回（4 月、9 月、12 月）

(5) 地域交流活動

①よさこい披露･･･ピアドゥ祭り、中野夏祭り、学習発表会、閉校式典

② PTA 主催レク･･･バス旅行（2 月、奥中山高原、約 50 名参加）

③ JS 事業･･･JS 講演会、JS 合同発表会、JS 授業研究会、いじめ根絶活動

④収穫感謝祭･･･そば打ち、もちつき、交流会、会食、感謝状

⑤中野神楽の披露･･･学習発表会、JS 合同発表会、南郷芸能発表会

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　０人（保護者含む）　※登録はしていない。

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　１５人　※地域密着型教育予算による加入者数

5　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・保護者や地域と連携した農業生産的活動や奉仕活動、伝統芸能の取組等、様々な体験・交流活動は、子どもの主体的な学びや豊かな情操に結びついている。

・地域学校連携協議会理事会における意見交換や情報交換等を通して、学校と地域との意思疎通及び子どもの健全育成に関わる願い等の共有を図ることができた。

(2) 課題

・体験・交流活動等における地域協力者の高齢化への対応

・教職員の負担解消への対策

・３校統合に関わる来年度の理事並びに事業計画の話合い

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鳩田小学校
校長　今　井　　昇

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　①実施日時　　平成２７年５月１日（金）　１８：３０～
　　②協議内容　　〇委嘱状交付式
　　〇協議会
　　・趣旨説明
　　・議事（会長・副会長指名、会則、組織、学校経営）

（２）第２回　①実施日時　　平成２７年８月３１日（月）　１８：３０～
　　②協議内容　　〇１学期学校評価アンケートについて

（３）第３回　①実施日時　　平成２８年２月２６日（金）　１８：３０～　予定
　　②協議内容　　〇学校評価について
　　・各アンケート結果から
　　・学校評価結果を受けての成果、課題、改善策等について

２　上記以外の会議の実施状況
　企画推進部会、専門部会、その他の部会とも開催実績なし

３　具体的な取組状況

（１）環境奉仕作業
・５月１０日（日）と１１月１日（日）の春秋２回
・各回とも約１２０名（保護者、学区民、児童、教職員）
・学校敷地内の環境整備（草刈、草取り、校庭整備、樹木剪定、校舎内窓拭き、校内照明清掃、スキー用ロープトウ撤去等）

（２）小学校・学区合同運動会
・５月１７日（日）　　・約２００名（児童、教職員、保護者、学区民）
・鳩田学区推進協議会との共催。運営を学校と協議会（学区民）が分担し合い、お互い協力して行う。

（３）親子レクキャンプ
・７月２５日（土）・２６日（日）
・約９０名（児童、中学生、保護者、学区民、教職員）
・親子で協力しながらテントを設営したり、夕食づくりをしたりする。また、キャンプファイヤーや花火、肝試し、スイカ割り、流しそうめん等の活動も行う。

（４）学校農園活動
・４月１４日（火）籾植え、４月３０日（木）農園（畑）開き、５月２２日（金）田植え、９月１６日（水）稲刈り、１０月１日（木）脱穀
・約６０名（児童、保護者、教職員、老人クラブ、サポートセンター虹、学校田・畑地主、水管理者）

・米づくりに関わる作業や畑の準備を保護者や学区民等の協力を得て行う。日常の水田管理は、ＰＴＡ農園活動実行委員長さんや学区の方に協力をお願いしている。

（５）さわやかグランドゴルフ大会
・９月１７日（木）　　・約６０名（児童、老人クラブ、保護者、教職員）
・鳩田学区推進協議会との共催で実施し、グランドゴルフを通してお年寄りとの交流を図る。子どもとお年寄りがチームを組み、教えていただきながら競い合う。

（６）図書読み聞かせボランティア
・木曜日または金曜日の朝自習の時間（月２回程度）
・１５名（児童、読み聞かせボランティア、教員）
・低学年を対象に読み聞かせを行っている。また、全校児童を対象に３回実施した。

（７）収穫感謝祭
・１２月４日（金）
・約９０名（児童、保護者、地区えんぶり指導者、老人クラブ、学区民、サポートセンター虹、教職員）
・収穫したもち米を利用した料理を作り、学校農園活動でお世話になった方々に食べていただき、感謝の気持ちを表す。また、指導してくださった方や水田等を管理していただいた方に感謝状を贈る。

（８）鳩田学区子どもえんぶり組の活動
・９月～２月　　・約６０名（児童、中学生、地区えんぶり指導者、保護者、教職員）
・地区のえんぶり指導者や保護者の協力を得て、地区に伝わるえんぶりを練習し、学習発表会や中沢中学校区合同発表会、地域伝統芸能まつり等で発表している。今年度は、民俗芸能の夕べでも発表。

（９）ふるさとの味交歓会
・２月２３日（火）　　・約１３０名（児童、学区民、保護者、教職員）
・鳩田学区推進協議会主催の「ふるさとの味交歓会」へ全校で参加している。そば打ち体験をしたり、そば料理を食べたりしながら学区民のみなさんと交流を図っている。

４　ボランティアの状況
（１）ボランティア登録現在数　　６　人（保護者含む）
（２）今年度のボランティア保険加入者数　　０　人

５　地域密着型教育の成果と課題
（１）成果
　鳩田小学校区には、以前より鳩田学区推進協議会があり、その中に学校やＰＴＡ（教職員、保護者）も位置付けられている。よって、学校と地区諸団体との連携が確立されており、学校の求めに対して地域の協力が得られやすい状況にある。また、それが自然な形で行われている。
（２）課題
　今年度で閉校となることから、新しい学校と鳩田地区とのつながりをどのように図っていくのかが課題となる。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守小学校
校長　荒内　信一　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①　６月１７日（水）19：00～20：30　於：島守小（27年度事務局校）
②【協議内容】
・委嘱状交付式(教育委員会)
・今年度の計画及び地域との連携事業についての説明(小・中教頭)
・今年度の教育方針についての説明(小･中校長)
・学校関係者評価についてのお願い(事務局)

(2) 第２回　①１１月１９日（木）18：30～20：00　於：島守小
②【協議内容】
・地域との連携事業についての中間報告(小・中教頭)
・１学期の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告(小･中校長)
・アンケート結果等をもとにした話し合い

(3) 第３回　①　１月２６日（火）18：30～20：00　於：島守小
②【協議内容】
・児童・生徒・保護者・教職員アンケートの成果と課題について(小･中校長)
・地域との連携事業についての成果と課題(小・中教頭)
事前に「小･中学校学校目標の重点」についてのアンケート結果の資料を送付し，ご意見・助言をいただいた。

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　６月２日（火）　　於：島守小　18:30～
・小･中学校ＰＴＡ会長・副会長（企画推進委員），小･中校長と教頭
・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会のもち方
・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討
・新委員の改選について

３　具体的な取組状況

(1) 教育関連事業
①生活科・総合的な学習の時間の支援
ア　生活科
・１年：育てようさつまいもと野菜（地域の農業ボランティア　のべ２０名）
・２年：町たんけん（菓子店・食料品店・自動車販売店・駐在所・郵便局・クリーニング店他）
イ　総合的な学習の時間(地域ボランティア・保護者１１回　のべ３０人)
・３年：ソバひき（石臼）体験・ソバ打ち体験
・４年：鮭の稚魚の飼育，四十八社めぐり
・５年：無農薬の米作り（地域の米作り名人と保護者）
・６年：炭焼きの原理と技法，炭焼き体験(炭焼き名人)
②学校行事への支援　　（のべ６０名）
・収穫感謝祭（餅つき等）
・学校田の管理(ＰＴＡ５学年委員会を中心に)

(2) 環境整備事業　（のべ１２０名）
①奉仕活動（草刈り，窓ふき作業）
②小川と池の清掃作業
③学校園耕作
④水車小屋，ミニ発電所の管理

(3)文化事業
①島守小学校神楽クラブ（神楽保存会の皆様・教職員）（１５回程度　各６名）
春まつり，活き生きまつり，南郷地域伝統まつり　練習と出演（演目は番楽と剣舞）
②えんぶり鑑賞会　（１団体　１回）
③ひなまつり会　　（１回）

(4) 交流・連携事業
①小・中学校ジョイントスクール事業（相互の授業参観，情報交換，懇親会，行事の相互参観）
②小・中合同の運動会の開催ならびに島守音頭での交流（１人×３回）
③保育所との連携事業（情報交換，行事参観）
④民生委員・児童委員との情報交換
⑤地域学校連携協議会及び小・中学校ジョイントスクール授業公開・研修会
⑥ＰＴＡ研修会　＜ＰＴＡ，ＯＢ，教職員＞
⑦子供会行事への参加
⑧各学年の親子学習会，校外学習への保護者のご協力

(5) 安全対策事業
①登下校時の指導と見守り（防犯協会，子供会世話人，駐在所長，交通指導隊，交通安全母の会）
②交通安全教室，交通安全キャンペーン（駐在所長，安協，交通指導隊，交通安全母の会）
③防犯教室（駐在所長）
④定期巡回ならびに緊急時の安全見守り（駐在所長，交通指導隊，防犯協会）

４　ボランティアの状況

(1)保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている。

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果
①　今年度もたくさんの地域のボランティアの方々にお世話いただき，総合的な学習の時間や生活科において，島守ならではの活動を取り入れた学習を推進することができた。地域学校連携協議会の際にも「体験中の児童は大変生き生きしている」「体験したことをもとに，将来島守の地域を大人になってから思い出したり伝えたりしてもらいたい」「地域や社会に貢献できる人に育ってほしい」などのご意見をいただき大いに評価されている。
②　校地内の環境整備については，ＰＴＡを含め地域の方々のご協力のもと推進されている。今年度は，長年懸案であった除草した草や土の撤去を実施することができた。重機，ダンプの手配，場所の提供など地域の方々に全面的に協力いただいた。
③　地域学校連携協議会委員には，地域の諸団体，事業所等の代表の方々を委嘱している。今年度新たに改選された委員に，他の中学校区の保護者の方，本校ＰＴＡＯＢの方が加わった。そのため他校との比較，過去との比較により協議会の話合いが活性化した。
④　３回目の協議会では，「学校目標に関する評価」についてコメントをいただいた。
・家庭学習については学校も家庭も肯定的に評価しているので，与える課題を工夫しながら児童の学力向上に努めてもらいたい。
・学習指導については，フリータイムの担任外教職員の指導など熱意が伝わる内容である。家庭読書については時間の使い方を指導する等の対策が必要である。
地域学校連携協議会を通して，委員の方々の子どもたちや学校に対する期待と，家庭でやらなければならないことを考えてくださる姿が印象的であった。

(2) 課題
①　島守小・中学校地域密着型教育推進事業では，保護者・地域住民・教職員が「島守ふるさと応援隊」として，子どもたちのためにボランティアを引き受ける組織になっている。しかし，保護者数の減少，ボランティアの方々の高齢化等のため継続的な人材の確保が課題となっている。
②　地域学校連携協議会委員の方々には，学校行事の他，参観日，小中連携の学校公開日にも案内を差し上げている。地域の諸団体の役職を兼務している方も数多く，すべての行事に来校いただくことは難しい。平常の授業の際も気兼ねなく来校いただき，日常の児童の様子を参観いただいた上で，協議会の際の話合いにつなげていきたい。
③　地域学校連携協議会の話合いでは，島守小・中学校には素直で明るい児童生徒ばかりであり，さらに個性・特技を生かしたくましさを育てるなど社会に貢献できる人間が切望されている。キャリア教育の視点からも小学校段階から基本的な生活習慣，学習意欲等と合わせて機会あるごとに社会とつながる力未来とつながる力の育成を図りたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第一中学校
校長　四　戸　康　雄　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　① 実施日時　平成２７年６月１７日(水)　１８：３０～
　② 協議内容　・委嘱状交付　・学校経営方針説明
　・組織および活動方針　・今年度の活動について

(2) 第２回　① 実施日時　平成２７年１２月１０日(木)　１８：３０～
　② 協議内容　・平成２７年度「学校目標」について
　・「学校評価アンケート」結果について
　・生徒のようすについて　・意見交換

(3) 第３回　① 実施日時　平成２８年２月２４日(水)　１８：３０～（予定）
　② 協議内容　・来年度の学校経営方針の概要について
　・意見交換

２　上記以外の会議の実施状況

◇『地域密着型教育』合同会議及びプロジェクト会議
　① 実施日時　平成２７年６月１０日（水）　１８：３０～
　② 協議内容　・全体趣旨説明
　・各プロジェクトの今年度の活動計画・活動方針の決定
　・共通理解

◇専門部会　① 学校行事支援プロジェクト（１０回）② 学校図書館支援プロジェクト（２８回）
　③ 環境整備支援プロジェクト（２回）　④ 情報発信支援プロジェクト（１２回）

３　具体的な取組状況

(1) 学校行事支援
　青葉湖ウォーク(１学年行事)の企画と支援、体育祭の企画・運営支援、授業支援（書写)、文化祭お掃除ボランティア、PTA バザーの支援、調理実習補助ボランティア

(2) 学校図書館支援
　図書室整備、研修会(ブックトーク、本の修理の仕方)、図書ボランティア全体会

(3) 環境整備支援
　校内環境整備活動
　（校内ワックス清掃、校内タイル貼り、草取り、校庭整備、駐車場の整備等）

(4) 情報発信支援
　地学連協だより「ブルースカイ」４回発行

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　５６　人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　３５　人

５　地域密着型教育の成果と課題

（1）成果

「地域密着型教育」に取り組み８年目を迎え、学校の教育活動の一部としてなくてはならない取組となっている。地域密着型教育の組織は、学校からの依頼に留まらず、子供たちのためにどのような支援が必要か、企画推進部のメンバーやコーディネータの方を中心とした主体的に考え、活動する組織となっている。地域密着型教育の組織が主体となる行事も学校の行事の一部となり、子供たちのより良い成長につながっている。

今年度は、学校が支援を受けるだけでなく、学校が地域にいかに貢献するかを意識した活動にも力を入れてきた。各学年で、総合的な学習の時間等を活用し、地域に貢献できる取組を子供たちが地域の方を交え考え、ボランティア活動を実施した。また、吹奏楽部や合唱部が地域の会合、催し物等に積極的に参加し演奏を披露したり、放送委員がアナウンスを担当したりするなど、生徒や職員が地域に出向いて行う活動も定着してきた。

さらに、今年も学校行事の企画段階から地学連協の委員の方と情報の共有を図るなど、地域の方や保護者との連携も定着してきてている。

（2）課題

「地域密着型教育」の実践活動も安定したものとなっており、各プロジェクト等の取組も着実に成果をあげている。今後は以下の点について配慮しながら、継続して地域、家庭、学校が子育てを共有していけるよう取り組んでいきたい。

①生徒、地域、家庭、職員の負担を増やさない活動を行う。

～本当に必要な活動を優先させ、できる範囲内で行う。

②既存の活動を見直し、より有用的で効果的な活動を行う。

～継続性のある支援活動になるようにする。

③地域、PTA ＯＢの方の積極的参加を促すとともに、地域に還元できる活動を行う。

～今以上に、地域、PTA ＯＢの方が足を運びやすい学校環境づくりを行う。

今後も地域密着型教育の充実のため、できることを・できる時間に・できる範囲内で、細く・長く・楽しくをモットーに活動していきたい。

【活動のようす】

【地域密着型合同会議及びプロジェクト会議】
6月10日（水）

【青葉湖ウォーク】
7月26日（日）

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第二中学校
校長　　大 塚　弘 昭　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２７年６月１０日（水）
１６：００～１７：００

②協議内容
ア　会則の説明、承認
イ　正副会長の選任
ウ　学校経営方針等の説明(校長)
エ　質疑・応答
オ　今年度の計画について
カ　校長挨拶
キ　八戸市教育委員会から(吹越指導主事)

（２）第２回　①実施日時　平成２７年１２月１０日（木）
１３：１５～１５：００

②授業参観　１年生・２年生の授業参観

③協議内容
ア　学校評価アンケート結果について
・資料を基に説明（７月と１１月実施から）
イ　質疑・応答
ウ　今後について

（３）第３回　①実施日時　平成２８年２月２５日（木）
１５：３０～１６：３０（予定）

②協議内容
ア　今年度のまとめ
イ　来年度の計画について
ウ　意見交換

２　上記以外の会議の実施状況

○臨時の地域学校連携協議会　平成２７年７月３０日(木)１６：００～１７：００
・本校職員の不祥事と今後の対応について

３　具体的な取組状況

（１）安全・巡回指導
・地区安全協会、防犯協会等による登下校時の安全指導、並びにＰＴＡ校外指導委員会による下校時の学区内巡回指導や七夕祭り・三社大祭時に保護者と教師が中心街の巡回を行っている。

（２）環境整備
・ＰＴＡによる校地内草刈り作業を行っている。(今年度は雨天のため中止)

・ＰＴＡ環境委員会と１学年奉仕委員会生徒が中心となり、玄関前や校門付近の花壇整備を行っている。今年度は花壇コンクールに応募し「街を緑にする会会長賞」を受賞した。

（３）広報・広聴活動

・コーディネーターが中心となり「学校だより」を八戸小学区・城下小学区の町内会長と連携し、回覧・発送を行っている。

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　０人

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）　成果

①昨年度課題としてあげた生徒会活動で行っている全校生徒による三社大祭後の早朝ゴミ拾い活動に三日間参加した。ＰＴＡと連携して取り組むことで、地域・保護者・学校がよりよいつながりをもち、活動することができた。今後も継続していきたい。

②コーディネーターが中心となり、本校の学校だより「明　強　正」を地域の回覧板に参加させてもらった。第二中学校区の両小学校のコーディネーターが本校と兼務していることもあり、学区への情報提供がとてもスムーズにできた。

③教育活動の説明や情報交換を行うことで、取組を振り返り学校評価等に活かすことができた。

（２）課題

①本校生徒会で実施している三社大祭期間中の清掃活動を地域・保護者と合同で行うことができたが、継続していくための連携のあり方が課題である。

②地域密着型教育について学校だよりやブログ等を活用し、さらに情報発信していきたい。また、本校教員にも活動内容やボランティア活動について知らせることで、さらに地域との連携を図っていきたい。

③図書ボランティアを募り、図書室整備を進めていきたい。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第三中学校
校長　　嘉　瀬　　卓　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）　第１回

①実施日時　平成２７年５月２０日（水）１７：３０～１９：００

②協議内容　・委嘱状交付
・柏崎小・第三中の学校目標と重点施策の説明
・地域密着型教育の取組計画
・各部会の取組予定についての意見・要望

（２）　第２回

①実施日時　平成２７年１２月１日（火）１８：００～１９：３０

②協議内容　・学校不適応を予防するための基礎学力の定着に向けての取組について
・全員参加・全員理解の授業を目指した校内研修について
・学校生活の充実・集団生活の適応を目指した取組について
・学校評価アンケートの結果について
・学校支援ボランティア活動状況について

（３）　第３回

①実施日時　平成２８年２月３日（水）１８：００～１９：００

②協議内容　・今年度の取組についてのまとめ
・各部会の活動状況について
・両校の来年度の教育計画について

２　上記以外の会議の実施状況

企画会　　①実施回数　　５回
②構成メンバーの概要　ＰＴＡ会長　ＰＴＡ副会長　ＰＴＡ監査　校長　教頭
③検討内容　　専門部の取組状況及び今後の予定の確認

３　具体的な取組状況

（１）　安全安心部会

・青少年生活指導協議会…学期２回
・柏崎地区防犯協会…月１回
・柏崎地区安全パトロール協議会…下校時の巡回パトロール
・避難訓練見守り…５／２７
・柏崎地区防災訓練…１／３０
・ＰＴＡ校外指導委員会…市中体夏季大会前・秋季大会前・文化祭強化週間の巡視

（２）　環境整備部会

・校舎内生け花ボランティア…月３回程度

・校地内草取り、枝切り…８／２３

（３）　教育活動部会

・Dear　Sanchu　（部活動懇談会）…６／５

・部活動補助…バスケット、ソフトテニスでボランティア４名

・茶道指導　…４／２５～１０／２５の支援（ボランティア１名）

・家庭科授業補助（着付）…ボランティア５名

・俳句作成指導…５／２３（ボランティア１名）

（４）　学校図書館部会

・図書ボランティア…月２回程度

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　２７ 人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　１９人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

①各行事等へ足を運んでもらうことで、学校の状況を把握してもらうことができた。また、地域の方々からの励ましの声や支援を受けやすい体制づくりに役立っていると感じた。

②本校避難訓練での避難誘導や見守り、地区自主防災会の防災訓練への生徒参加など、相互の役割を確認できる機会を今後も継続していきたい。

③地域の協力を得てグッジョブを実施したことにより、生徒は地域への感謝の心と社会へ出るための貴重な体験をすることができた。

④第２回地域学校連携協議会において、次年度への課題を明らかにすることができた。また、家庭環境を含め、生徒を取り巻く環境が変化している中、生徒の育成や安全確保は学校の指導だけでは困難であるため、地域との連携は欠かすことができないと実感している。

⑤学校だより、学校新聞及びＰＴＡ新聞を地域に配付・回覧してもらうことにより、学校理解につなげることができた。

（２）　課題

①地域学校連携協議会理事の方々もいじめ問題には大きな関心をもっており、全校体制での取り組みを強く希望している。アンケート調査、聞き取り、教育相談体制をさらに充実させ、生徒が安心して過ごせる校内体制を整備するとともに、校外へもアンテナを広げ、地域の協力も得ながら、未然防止、早期発見、早期対応を行っていきたい。

②地域と連携した避難訓練、防災訓練は、地域に生きる子供たちにとって意識の高揚を図る上で非常に意義深いものになっている。今後も連携のあり方や訓練内容及び時期等について、地域学校連携協議会の意見を参考にしながら、来年度の訓練実施につなげていきたい。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立長者中学校
校長　石 毛　清 八　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２７年５月２２日（金）
②協議内容　ア　委嘱状交付式
イ　日程説明および出席者紹介
ウ　地域密着型教育についての行政説明（担当指導主事）
エ　校長の方針説明
オ　質疑・応答・協議（組織、会則、ボランティア募集など）

（２）第２回　①実施日時　平成２７年９月１６日（水）
②協議内容　ア　学校評価（４月～７月）の結果についての説明
イ　学習の状況について
ウ　生徒の状況について
エ　意見交換および質疑・応答

（３）第３回　①実施日時　平成２８年２月２日（火）
②協議内容　ア　学校評価について（学習指導面、生徒指導面）
イ　来年度の学校経営等について
ウ　来年度の行事予定について
エ　意見交換および質疑・応答
オ　来年度の地域学校連携協議会事業予定について

２　上記以外の会議の実施状況

（１）委員による授業参観　①実施回数１回（９月１６日の自由参観日、壮行会）
②地域学校連携協議会委員
③授業参観と意見交換

（２）民生委員連絡協議会　①実施回数１回（１０月２日に実施）
②長者地区民生委員
③授業参観と意見交換、給食の試食

３　具体的な取組状況

（１）環境整備活動
・花壇整備（雑草除去、花苗植え付け作業）
・体育祭、文化祭前（校庭、校舎周辺の雑草除去作業）

（２）生活安全活動

・長者小・図南小・長者中の三校合同の生徒指導情報交換会（町内会、防犯協会、青少協、交通安全協会、中央交番の方々も含めての開催）

・市中体夏季・秋季大会、文化祭、市内祭り期間にあわせての見守り活動

・地域団体連携による巡視活動（毎週木曜日実施）

（３）学校支援活動

・学年ごとに行われる季節を感じる会の準備及び当日の手伝い

・図書の整理・補修、本の廃棄処理、季節に合わせた図書室の環境整備

・部活動の指導（卓球、剣道、柔道、バトミントン、吹奏楽）

（４）ＰＴＡ・地域行事支援活動

・体育祭、文化祭での飲食販売等の企画、運営

・ブリザーブドフラワーアレンジ講習会の開催

・区民運動会の準備、運営

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　２８人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　７人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

・コーディネーターの働きにより、図書室の長期休業中や昼休み及びテスト週間中の開放、整備など計画的に進められ、図書ボランティアの積極的な活用を図ることができた。

・学校だより、学校新聞およびＰＴＡ新聞等を町内会・地域で回覧がスムーズに進められ、学校の取組や様子等を情報発信でき、学校の理解を広げることができた。

・地域学校連携協議会で教育方針や学校の現状及び学校が抱える課題を共有することができた。また、幅広い視点からのご意見やご指導、励ましの言葉や改善を図る上での提案もいただいた。

（２）課題

・地域、ＰＴＡ、職員への周知と地域密着型教育に対する理解をさらに深めながら、より地域に根ざした取組を進めることで、後継者を含め、より多くの方の支援ボランティアを募集していく必要がある。

・学習面、生徒指導面をこれまで以上に小中の連携を図りながら、地域密着型教育を進めていくことが必要である。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　小中野中学校
校長　　上　野　修　子　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）　第１回

①実施日時　平成２７年６月８日（月）１８時３０分

②協議内容　・会則について
・会長及び副会長の選任
・学校経営方針説明
・今年度の事業計画説明

（２）　第２回（中学校評価委員会として実施）

①実施日時　平成２７年１２月１８日（金）１７時００分

②協議内容
・学校評価アンケート評価結果説明
・評価結果に対する質疑応答

（３）　第３回（予定）

①実施日時　平成２７年　２月２５日（木）１８時３０分

②協議内容
・各プロジェクト活動状況及びボランティア活動状況報告
・各校の教育活動状況について
・次年度の計画についての確認

２　上記以外の会議の実施状況

開催なし

３　具体的な取組状況

（１）　図書室整備

①図書ボランティア・・・通年週２回　火・金１０：３０～１３：００　１０人ほどが交替で参加。生徒の読書意欲向上のため、本の整理や季節の飾り付けなどを行う。

（２）　学習支援

①パパママ体験　７月８日（水）　　ボランティア８人

３年生３クラスに実施。保健士さんとともに妊婦体験や赤ちゃん人形を使っての育児を模擬体験。親の気持ちや命について学ぶ。保護者とボランティアで支援。

②コナチュウ未来への架け橋講座　～ふるさとで働くプロフェッショナル（仕事人）に学ぶ～
８月～１月　７回実施

キャリア教育の一環として卒業生や小中野地区で働くさまざまな職業の方々を講師に招き、ミニ講演会を開催。コーディネーターに講師選定の情報や依頼、進行をお願いしている。

１弘前大学医学部学生　２小中野分遣所消防士　３花屋　４小中野交番警察官
５保育士　６デーリー東北新聞記者　７まちづくり文化推進室

③図書委員への読み聞かせ指導　ボランティア１人

（３）地域連携プロジェクト

①小学校・小中野地区合同運動会への参加

②八戸小唄まつり参加

八戸小唄踊りまつり　７月２５日（土）　美術部・報道部参加

③グランドゴルフ・将棋教室　による高齢者との交流

７月３０日（木）、３１日（金）　ボランティア　２０人

※ボランティアにかかわる方々を保護者参観日・立志式に合わせ２月３日（水）に招き、感謝の会を開き、お話を伺う。

（４）その他・・・コーディネーターが直接かかわらない活動

①総合的な学習の時間支援

１年生　えんぶり、虎舞指導…小中野地区えんぶり組虎舞組による支援　９月～１０月

２年生　グッジョブ事業所開拓　２学年ＰＴＡ

②幼保ふれあい学習（家庭科）

３年生　学区内の３つの幼稚園、保育園で幼稚園教諭、保育士の指導のもと幼児教育の体験授業

４　ボランティアの状況

（１）　ボランティア登録現在数　１５人（保護者含む）

（２）　今年度ボランティア保険加入者数　５人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）　成果

①献身的なコーディネーター、ボランティアに支えられ生徒は落ち着いた学校生活を送っている。地域の大人や高齢者とかかわり合うことで、感謝の気持ち、小中野を愛する気持ちが育ってきている。生徒は八戸小唄踊り、グランドゴルフ・将棋への参加、１年生によるえんぶり、虎舞等の郷土芸能の継承に積極的に取り組んでいる。

②キャリア教育の一環として卒業生や地域の方々から講演をいただいた。身近な方々からの講話は、生徒にとって、より具体的に将来を考えることができた体験であった。

（２）課題

①近い将来、生徒数の減少により、１つの学年でえんぶり、虎舞の両方の郷土芸能を継承することが困難になってくることが予想される。１、２学年合同で取り組ませる等の対策が必要となってくる。

②図書ボランティアに新しい人が入らず、ここ数年同じメンバーで活動が続いている。新たなメンバーに入ってもらい活動をさらに活性化させたい。

平成２７年度　「地域密着型教育」報告書

八戸市立江陽中学校
校　長　　丸　山　裕　治

１　地域学校連携協議会（委員会）の実施状況

(1)　第１回

①　実施日時　　平成２７年５月２２日（金）　16:30～17:10

②　協議内容

・委嘱状交付及び会長の指名，副会長の指名
・会則審議
・昨年度の協議会活動報告
・昨年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
・今年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
・今年度の協議会活動計画
・協議会の役割を確認（学校経営・学校運営の点検と評価）

(2)　第２回

①　実施日時　　平成２７年１１月２６日（木）　　18:00～20:00

②　協議内容

・学校経営・運営の進捗状況報告（小中両校長）
・今後の学校経営・運営事業について（小中両校長）
・質疑応答（学校だよりを地域向けへの内容としても工夫はできないか，地域の遊び場の利用について，子育てに関する家庭の役割）
・学校評価の依頼

(3)　第３回（予定）

①　実施日時　　平成２８年２月２３日（火）　　18:00～20:00

②　協議内容

・今年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
・来年度の学校経営・学校運営（小中両校長）

２　上記以外の会議の状況

(1)　地域づくり会議専門部会

①　実施回数　１回（平成２７年５月２２日（金）　　17:15～19:00）

②　構成メンバーの概要

・町内会長，江陽地域各種団体長，両校の職員，両校のＰＴＡ役員

③　検討内容

・各専門部会の現状・地域や学校の課題，要望，教育活動の提案
（安全安心づくり・人づくり部会・まちづくり部会・健康づくり部会・環境づくり部会）

(2)　江陽地域づくり会議「安全安心づくり部会」

①　開催日時　平成２７年８月２２日（土）　　13:30～15:00

②　構成メンバー

・部会長，部員,中学校校長，小学校生徒指導，保護者

③　通学路点検（交通安全面,防犯面,子ども女性110番の家確認等）

３　具体的な取組状況

(1)　山公園の草刈り

７月１９日（日）　・全校児童生徒及び保護者，地域住民　　・山公園の草刈り作業を実施した。

(2)　夏の交通安全街頭広報活動

７月２１日（火）　・１年生と２年生の有志と地域の住民　　・ラピア前の交差点で，ティッシュを配布しながら，ドライバーに対しての安全運転を呼びかけた。

(3)　江陽おとぎの広場

７月２５日（土）　・２年生有志　　・江陽児童館広場における地域の子どもたちに対する絵本の読み聞かせを実施した。

(4)　体育祭

８月２９日（土），３０日（日）　・保護者および地域住民　・前日の会場設営，当日は運営協働者として，出発係，決勝係，用具係，救護係等，職員とともに運営に関わった。

(5)　江陽地区スポーツ交流会

９月６日（日）　・３年生　・各町内の選手として参加。また，生徒が競技種目を考案し、元気に活動する姿を見せることで、スポーツ交流会を盛り上げた。

(6)　江陽地区総合防災訓練

１０月４日（日）　・部活動参加者　・江陽地域自主防災会が主催する避難訓練。休日の避難対応訓練として,出校している教職員並びに生徒の協力体勢を確認する。

(7)　文化祭

１０月２１日（水）～２４日（土）　・保護者が運営協働者として，校内装飾係，学年教科展の展示係，演劇の衣装係，校内巡視等を職員とともに活動した。また，地域住民がステージ発表の照明器具の貸与と設置を協力した。

(8)　グッジョブ

１１月５日～１０日（木～火）・４日（水）グッジョブ出発式に出席　・５日（木）～１０日（火）４６事業所で体験学習。事業所事前打ち合わせは保護者の協力を得て行った。

(9)　学校保健委員会

２月１７日（水）　・小中合同。学校医・学校歯科医・学校薬剤師・町内連合会長地域保健師・保育園長・健康づくり部会長・校長・教頭・保健主事・養護教諭が参加し，児童生徒の健康教育，健康管理についての話し合い。

４　ボランティアの状況

(1)　ボランティア登録現在数　　１４名

(2)　今年度ボランティア保険加入者数　１４名

５　地域密着型教育の成果と課題

(1)　成　果

・保護者や地域住民が学校行事や公開授業、そして学校への奉仕活動等に多数出席していただくことで、本校の教育活動に対する理解が深まっている。来年度創立５０周年記念を迎えるにあたり、子どもたちの教育環境を整えてあげたいと地域の方々が先頭となり協賛会立ち上げてくれたことは、日頃の地域密着型教育の成果の表れと感じた。

・専門部会の「安心安全づくり部会」による通学路の点検活動を通して、「子ども女性１１０番の家」の問題点の洗い出しにより、子どもたちの安全確保が高まった。

(2)　課　題

・総合的な学習の時間などにおいて，地域素材や人材及び施設等の活用した教育活動を推進したい。

・生徒の自己評価項目の「地域に対する貢献度」が低いので、地域におけるボランティア活動の工夫を図りたい。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立湊中学校
校長　北　山　勝　則　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①　実施日時（湊小と合同）
平成２７年５月２５日（月）
②　協議内容
・委嘱状交付
・会長指名、会長挨拶
・今年度の学校経営方針、活動計画について

(2) 第２回
①　実施日時（湊中単独）
平成２７年１２月１４日（月）
②　協議内容
・学校評価アンケート結果について
・評価結果に関する質疑応答
・周年行事について

(3) 第３回
①　実施日時（湊小と合同）
平成２８年１月２７日（水）
②　協議内容
・今年度の取組について
・学校評価、成果と課題について
・来年度の教育活動計画について

２　上記以外の会議の実施状況

特になし

３　具体的な取組状況

(1) 学校行事支援
・避難訓練　湊地区の町内会長約２０名が参加。生徒との顔合わせと、町内ごとの危険個所の確認。

・文化祭　　茶道ボランティア５名が参加。お茶室の運営。
湊沖揚げ保存会による沖揚げ音頭・ソーラン節の指導。２学期に入り、４人に週２回程度来校して指導してもらい、文化祭の１学年ステージで発表。

(2) 部活動支援

・野球部、アイスホッケー部、総合文化部書道コースにおけるコーチ委嘱と技術指導。

(3) 地域交流活動

・グッジョブウィーク推進委員会による地域の事業所開拓や受入依頼、巡回、記録。
・学校行事への地域の方の参加。ＳＮＳ講習会や立志式の講演会。
・湊公民館への生徒作品出品。
・子ども会関連事業への生徒ボランティア派遣。
・各種地域行事における吹奏楽部の出演。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　１３　人
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　９　人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・今年度が、地域学校連携協議会を立ち上げて３年目となる。もともと地域との結びつきが強かった地域であり、本事業の趣旨が各委員によく理解された上で活動することができた。避難訓練への参加や町内会長懇談会を通して、町内会長さん方との交流も深まった。
・地域学校連携協議会を通じて、学校の経営方針や取組、成果や課題等を理解してもらうことができた。また、学校運営に関して、多面的な意見や要望を聞くことができ、前向きな助言や激励を多く頂戴した。
・小・中合同で年２回総会を設けているため、９年間を見通した湊地区の学校教育の流れを委員全員で共有することができた。

(2) 課題

・地域密着型教育の趣旨や協議の内容について、委員以外への周知がまだ不十分な面がある。協議会で学校からの説明や協議だけをするのではなく、具体的な取組（たとえば非常災害時における学校・地域・家庭の連携）を広く話し合う場を設定し、連携して行動する段階に入っているのではないか。
・地域の人材について、ボランティアの数も少なく、まだ活用し切れていない状況である。学校と地域の交流・協力関係が日常的なものとなるよう、コーディネーターや小学校とも連携しながら進めていきたい。また、ボランティアの受け入れだけでなく、中学校としても地域にどのような協力ができるか考えていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀中学校
校長　佐　藤　徳　則　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回（白鷗小学校・白銀小学校と合同開催）
①実施日時　平成２７年６月１日（月）１８：３０　白銀中学校
②委嘱状交付　教育委員会説明
③協議内容　会則の審議・承認、会長・副会長の指名、会長あいさつ、組織及び今年度の計画、学校経営方針、ＰＴＡ活動計画

（２）第２回（白鷗小学校・白銀小学校と合同開催）
①実施日時　平成２７年１１月１１日（水）兼白銀中学校区ＪＳ
②白銀中学校区ＪＳ授業研究会・全体会・研究協議・分科会参加
③協議内容　各校取組状況、各校の学校評価

（３）第３回（白鷗小学校・白銀小学校と合同開催）
①実施日時　平成２８年１月２０日（水）
②協議内容　今年度取組状況、来年度の計画等

２　上記以外の会議の実施状況

（１）地域学校連絡協議会企画・推進部会　３回
地域学校連絡協議会の開催内容について
各校取組状況、各校の学校評価

（２）地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「教育講演会」
（青森山田高等学校新体操部監督　荒川　栄　氏）
９月２５日地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員、保護者参加

（３）地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「懇親会」
１１月１３日地域密着型教育取組状況の説明、地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

３　具体的な取組状況

（１）環境整備部会
○校地内整備
①ＰＴＡ、おやじの会、生徒による刈払い及び除草作業が計画されたが雨天のため中止

（２）交流連携部会
○ＪＳ事業
①市中体壮行式を小学生が参観（白銀小：６月夏季大会、白鷗小：９月秋季大会）
②２年立志式参観（白銀小）、１年希望式（白鷗小）

○地域諸団体主催行事
①白銀地区三校合同歓送迎会（ＰＴＡ）
②白銀地区五校連絡協議会（ＰＴＡ、生活指導委員会）
③三嶋例祭への出店（ＰＴＡ）と作品の出品（生徒）
④敬老会司会（生徒）、高齢者一人暮らし昼食会（生徒：６８名）
⑤白銀まつりパレード（生徒）
⑥福祉パレード(生徒)

⑦三嶋神社子ども祭り（生徒）
⑧白銀児童館豆まき（生徒）

（３）学習指導部会
○ＪＳ事業
①学習のきまり、家庭学習の推進（自主学習ノート）
②相互の授業公開
（４）生活指導部会
○ＪＳ事業
①あいさつ運動の推進
○防犯パトロール
①生活指導委員会：夏季・冬季休業、三嶋例祭
○保護司との連絡会
①保護司と２年生との合同学習会

４　ボランティアの状況
（１）今年度ボランティア保険加入者数　０ 人

５　地域密着型教育の成果と課題
（１）成果
○地域の方々に各校の現状や課題を理解し、協力していただいている。
①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」を協同実践し、白銀中学校区ＪＳとの一体化の推進
②地域学校連携協議会のポスターの掲示、地域学校連携協議会だよりの発行による、学校・家庭・地域の連携の推進
③地域諸団体と連携し挨拶運動を行った。
④地域の行事との連携をスムーズに行うことができた。
⑤ＰＴＡの委員会の活動等にアドバイスをいただいた。
（２）　課題
○「地域密着型教育」を通して、学校・家庭・地域がさらに連携・協力し、今後どのような課題に取り組んでいくのか明確にしていく必要がある。
①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」の「あいさつ」がまだ十分ではないため、今後も継続する。
②学校の課題である読書の推進について、図書ボランティアを積極的に募集する。
③コーディネーターと学校と地域・家庭との「つながり」をさらに強化する。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南中学校

校長　　西山　康巳　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２７年６月１６日（火）１８：３０～

＊協議会の前に委嘱状交付式を行った。

②協議内容　・会則について　・会長の指名　・副会長の指名　・組織について

・会長・副会長あいさつ　　・今年度の活動計画

・小学校・中学校からの説明（学校経営方針）

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２７年１２月３日（木）１８：３０～

②協議内容　・学校自己評価分析結果の報告

＊白銀南小学校長から　　＊白銀南中学校から

・情報交換　　登下校時のパトロールについて

(3) 第３回　　①実施日時　　平成２８年３月２２日（火）（予定）

②協議内容

・会長あいさつ

・今年度の「学校評価」報告

・活動報告

・平成２８年度活動計画

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会及び専門部会は、組織にないため開催せず。

(2) 授業支援と学校行事支援のボランティアに関しては、担当教員と事務局で打合せを行っている。

(3) 図書ボランティアに関しては、週１回の活動時に会議等を適宜行っている。

３　具体的な取組状況

(1) 図書館整備

・蔵書整理　　・シール貼り　　・図書館内環境整備　　参加人数３名

＊活動期間　　平成２７年４月２４日（金）～平成２８年３月　毎週木曜日

(2) 授業支援

３学年家庭科　保育（パパママ体験）

【実施時期】　平成２８年１月２８日（木）

【学習内容】　・妊婦体験、赤ちゃんの抱き方、着替え等

【指導者】　・保健師：　堀野　佳子　氏・田中舘　真由美　氏（八戸市役所健康増進課）

・子育てメイト１３名　（白銀地区子育てひろばほたる）

(3) 学校行事・文化関連行事

・体育祭入場門設置・撤去　・文化祭ＰＴＡ売店（おやんずの会、ＰＴＡ OB）　・各種講習会

・２学年グッジョブ支援　・地域福祉施設との交流（体育祭・文化祭）　・地域行事への参加

・白銀南公民館行事への参加（公民館まつり、演芸会、カルタ大会、敬老会等）

(4) 環境整備

・校地内除草作業　・花壇整備　・地区ごみ拾い活動

(5) 安全対策事業

・地域巡回（登下校時、夏季休業中、三嶋神社例大祭）　・挨拶運動

【家庭科の授業(パパママ体験)】

【体育祭での入場門の設置作業】

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　２人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　１３人

5　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・体育祭では、昨年度と同サイズの大きなパネルを作成していただき、係生徒が迫力ある絵を描くことができた。また、前日の入場門の設置も、専門的な技術をもった方たちが行ってくれた。

・３学年家庭科の保育の授業では、専門家の話を聞くことができたとともに、ボランティアの方たちの支援により個別指導を充実させることができた。

・登下校時や行事での安全指導などでは、情報交換会を通して地域住民と教職員の情報共有を図りながら協力体制をとることができた。

・学校図書館整備では、季節に応じた飾り付けにより魅力ある環境となった。

(2) 課題

・ボランティアの方たちの多忙化や人数の減少により活動ができない日が増えた。ボランティアの在り方や募り方などを検討する必要がある。

・活動のねらいを明確にし、教員一人一人や保護者、地域住民が参画意識をもつための手立てを構築することが課題である。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　　鮫　中　学校
校長　　蛯　名　多賀寿　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年６月９日
　②協議内容　・委嘱状交付会則
　・組織に関する審議
　・学校経営方針、重点施策等の説明

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１１月２７日
　②協議内容　・学校の現状と課題の説明及び審議

(3) 第３回　①実施日時　平成２７年１月１６日
　②協議内容　・学校評価に関する説明及び審議
　・今年度の成果と課題の説明及び審議
　・来年度の教育計画についての説明

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会

(2) 専門部会

(3) その他

３　具体的な取組状況

(1) 図書室整備

実施期日：　毎週木曜日

実施回数：　２５回

参加人数：　各回２～１０名

内　容　：　図書室整備
　・図書のレイアウト・図書の分類整備・図書紹介

(2) 除草作業

実施期日：　７月１２日・８月２２日（雨天中止）・９月１２日・１１月１５日

実施回数：　３回

参加人数：　のべ約４５名

内　容　：　学校花壇の除草作業・樹木の剪定・校庭の除草

(3) 運動会協働参加

実施日時：８月３０日（日）８：３０～１５：００

参加人数：約５０名

活動内容：〇運動会種目への参加　〇テント設営及び撤収

(4) パパママ体験活動へのサポート

実施日時：１０月８日（木）

参加人数：　８名

活動内容：妊娠シミュレーションや育児体験のサポート

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１０　人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０　人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

地域密着型教育により保護者や地域の方々と接する機会が多くなった。そのことにより保護者や地域の方々のご意見や感想を聞く機会が増え、学校運営に反映しやすくなっている。また、地域の方々からは日頃の生活や地域行事での生徒たちの様子も聞くことができ、学校生活では見られない一面もわかり、生徒理解に役立てている。

地域学校連携協議会の第１回目では学校の経営方針、課題、取組等を説明し、共通理解を図る場として設定している。それを根底におき、地域としての学校に対する願いを多角的な視点で提案していただいている。そして第３回目では、１年間の取組に対しての評価について話し合い、来年度に向けて課題を確認している。

これらの結果、学校と地域がともに学校づくりをしている実感を得られる場面が増えた。特に老人クラブでの環境整備や図書ボランティアの参加者が多くなり、本校での教育活動や在校生への関心が高くなってきていることが感じられる。

(2) 課題

今までもたよりやブログで情報発信は行っているが、参加される地域の方々や保護者のメンバーが限定されつつある。それらを改善するために、コーディネーターを中心に地域密着型教育の理念をもっと地域全体へ広めていく必要がある。さらに、学校・地域の行事での連携を深めることにより、新たな参加者の開拓やより多くの方々との関わりを構築していく必要性を感じている。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立南浜中学校
校長　　野　田　明　広　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①平成２７年　６月２９日（月）　１８：３０～２０：００
②協議内容　ア　委嘱状交付
イ　会長・副会長の指名
ウ　会長挨拶
エ　会則（案）の審議
オ　学校経営方針・重点事項について
カ　生徒数の推移及び部活動について
キ　学力の状況
ク　生徒の様子
ケ　質疑応答及び意見交換
コ　その他

(2) 第２回　　①平成２７年　７月１５日（水）　１３：３０～１５：００
参観日の授業参観及び学校評価アンケート
②協議内容　　意見交換

(3) 第３回　　①平成２７年１２月　４日（金）　１４：３５～１６：３０
授業参観
②協議内容　ア　本年度の本校の教育活動の取組
イ　学校評価に関わるアンケート
ウ　本校の課題
エ　今後の部活動について
オ　その他

(4) 第４回　　①平成２８年　２月　２日（火）　１８：３０～１９：３０
②協議内容　ア　学校連携協議会活動報告
イ　来年度に向けての地域貢献活動
ウ　来年度に向けての本校への要望・意見
エ　学校連携協議会のもち方
オ　その他

２　上記以外の会議の実施状況

(1)企画推進委員会　なし　　(2)専門部会　なし　　(3)その他　なし

３　具体的な取組状況

(1) 教育関連事業
①学校目標、学校運営に関する協議
②学校評価に関する協議
③体育祭および文化祭の支援
・受付接待　入場門設置解体　ふるさと踊りの指導　体育祭の後片付け
各学年委員会による食堂等の運営
④入学式および卒業式の支援
・受付接待　駐車場での交通整理
⑤活動の支援（通年）
・野球部　卓球部　ソフトボール部　陸上競技部

(2) 環境整備活動
①校地内草刈り作業（８月）
②花壇整備（５月、８月）

(3) 地域交流活動
①地区文化祭に参加（１１月）
②ＪＳ事業・・・ＪＳ授業研修会・全体会（６月）、学区小学校先生方の中学校授業の自由参観（６月）、スポーツ大会（７月）
芸術鑑賞教室（７月）、学区小６児童の中学校訪問（１１月）

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果
①地域学校連携協議会が設置されたことにより、学校に対する要望や地域の方々の願いを直接聞くことができるようになった。学校からの要望が地域に伝わり、地区の婦人会の方々の花壇整備等の活動につながっていった。
②地域学校連携協議会の委員の方々に、授業参観や学校評価アンケートをしていただくことによって、授業改善や行事の工夫等につながった。

(2) 課題
①今年度は、２年生の総合的な学習の時間の一貫として、夏休みに地域貢献活動を実施した。一過性の活動に終わらせないように、来年度以降も各学年で地域貢献活動を継続し、積極的に発信していく必要がある。
②生徒数の減少で、学校の各種活動を保護者の方や地域の方の協力が今まで以上に必要になる。また、各種活動を精選していかなければならない。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根城中学校
校長　中 嶋　正 喜　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年６月８日（月）１３：３０～１５：００
②協議内容　・委嘱状交付
・学校経営方針説明
・組織、運営について（グッジョブ・ウィーク推進委員会含む）
・事業説明（昨年度の成果と課題・今年度の事業計画）
・学校評価項目等の提示
・学校支援地域本部事業との連携の具体策
・事業推進に向けた提言と要望

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１２月８日（火）１３：３０～１５：００
②協議内容　・事業の進捗状況説明
・グッジョブ実施報告
・学校評価第１回結果公表
・学校支援地域本部事業状況報告
・生徒の状況報告
・事業推進に向けた提言と要望

(3) 第３回　①実施日時　平成２７年２月２２日（月）１３：３０～１５：００
②協議内容　・事業の成果と課題の説明
・学校支援地域本部事業報告
・学校評価第２回の報告と委員による評価

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 学校運営協議会(PTA 実行委員会と併催)
①実施回数４回（５月、７月、１１月、２月）
②構成メンバーの概要
校長、教頭、ＰＴＡ会長及び副会長、ＰＴＡ各委員会委員長
学校支援地域本部コーディネーター　合計１６名
③検討内容
・学習活動、環境整備、地域交流、スポーツ文化活動の具体的な進め方
・学校行事、学年行事の運営
・生徒指導面での学校、保護者、地域の連携

３　具体的な取組状況

(1) 環境整備　○環境厚生委員会…学校花壇整備
・４月下旬の土起こしから１１月初旬の花壇じまいまで、開催回数１０回、参加人数のべ２００名。
・花壇コンクール　表彰式への出席
○総務委員会…親子による早朝除草作業
・実施計画についての会議２回、夏(５月３０日)と秋(１０月３日)の２回の作

業には、延べ約９００名参加。
○指導委員会…学区内及び、神明宮茅輪祭、七夕、三社大祭での巡視
・巡視計画についての会議は１回、巡視活動には保護者延べ約１５０人が参加。
○図書ボランティア…学校図書館の環境整備、図書登録、図書管理、貸出作業等
・活動回数は２５日、　参加人数は延べ２００人。

(2) 地域交流　○広報委員会－ＰＴＡ新聞の発行
・編集計画会議は５回、活動日数は１０日、参加者は延べ約３０人。配達作業。
○２学年委員会－グッジョブ・ウィーク推進事業の推進
・活動計画についての会議（４回)、事業所訪問と打ち合せ。
○根城地区社会福祉協議会－敬老会(９月１５日)の運営
・運営についての会議は２回、前日の準備、当日の運営・後始末には、協議会委員、教職員、生徒ボランティアを合わせて、約１００人が参加。
＊敬老会への参加　約５００名
○合唱部　根城記念祭(５月２２日)への出演(吟詠)
根城公民館文化祭(１０月１８日)への出演
○吹奏楽部　史跡根城まつり（１０月１０日）への出演(田面木小学校との共演)
○根城地区自主防災訓練(１０月４日)への会場運営と全校生徒参加
○根城地区運動会(９月７日)への生徒ボランティア参加(記録係４名)
○田面木公民館祭(９月２８日)への生徒ボランティア参加(６名)

(3) スポーツ文化活動
○部活動、「親の会」の組織
○部活動へのコーチ導入(１２名)

※他に、学校施設開放事業や三社大祭、えんぶり、小中ジョイントスクール推進事業等、生徒や地域住民が関わる事業がある。また、体育祭や文化祭、入学式や卒業証書授与式等、地域学校連携協議会の委員や保護者の多大な協力を得て実施している学校行事がある。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２０人
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　５人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果
・今年度は、根城地区自主防災会の協力を得て、自主防災訓練に全校生徒が参加した。
・災害時に中学生ができることについては、以前より愛する声が多く、中学校としても地域との関わりを強める上で重視している。
・昨年度より、地区生徒会を組織し、具体的な活動を模索している。今年度は、中学生と町内との連携を深める活動には至らなかったが、活動する上での土台づくりは進んだ。
・敬老会への参加は、年々人数も増し、中学生の役割も明確化してきた。

(2) 課題
・来年度も、自主防災訓練に全校生徒が参加する。町内での中学生の役割などを明確にする必要がある。
・来年度の敬老会は、中学校以外での場所で開催するため、中学生の参加が難しくなると予想される。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白山台中学校
校長　戸　来　忠　雄　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年５月２７日（水）
②協議内容　・委嘱状交付及び会長の指名、副会長の指名
・会則審議
・今年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
・今年度の協議会活動計画

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１１月２４日（火）
②協議内容・学校経営・運営の進捗状況報告（小中両校長）
・今後の学校経営・運営事業について（小中両校長）
・学校評価結果（内部評価）の説明
・質疑応答
・学校関係者評価の依頼

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年２月２２日（月）
②協議内容・今年度の事業のまとめ
・学校関係者評価と学校課題について
・その他（来年度の日程と組織について）

２　上記以外の会議の実施状況

なし

３　具体的な取組状況

(1)　地域を知る（１年）
・４月～１２月（総合の時間）
・白山台のできた経緯や課題、中学生に望むことなど地域住民から講話
・白山台の魅力、環境、福祉、防犯、安全についての提案発表会

白山台の未来に関する提案発表会

(2)　地域で学ぶ（グッジョブ　２年）
・７月６日～９日（月～木）　１回
・５１事業所（内１９事業所が学区内）
・３日間の職場体験を通して社会性及び基礎的・汎用的能力を育成する。

グッジョブウィーク

(3)　地域をつくる（３年）
・５月～１０月
・白山台山車の部品づくり
・地域づくりボランティア活動（ニュータウンまつり、公民館まつり、公民館講座、芸能発表会）

(4)「しおんの森」環境整備
・７月６日（月）　１回　３学年生徒全員
・まちづくり協議会　社会福祉協議会との共催
・生徒および地域住民で、憩いの森の除草作業

しおんの森環境整備

(5)　体育祭
・８月３０日（日）　１回
・保護者および地域住民（８１名）
・運営協働者として、出発係、決勝係、用具係、救護係等、職員とともに運営に関わる。

体育祭運営協働者

(6)　文化祭
・１０月１９日～２５日　１～４回
・保護者（２３名）
・運営協働者として、校内装飾係、学年・教科展の展示係等、職員とともに運営に関わる。

(7)　パペットロボット公演会
・１２月１６日～１７日　２回
・学区内の２カ所の保育園で、パペットロボット公演会を開催。
・３年生が学習成果の発表の場として、園長先生や保育士から、園児に分かりやすい演技や話し方の指導を受け、公演会で発表をした。

パペットロボット公演会

(8)　部活動支援
・通年　約５０～１００回　保護者、地域住民
・コーチとして週末の部活動および大会等での支援

４　ボランティアの状況
(1) 本校では、ボランティア募集を行っていない
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　６人

５　地域密着型教育の成果と課題
(1) 成果
・運営協働者が学校運営に参画することが定着し、特に行事の運営や準備において教員が生徒に向き合う時間の確保につながっている。
・地域密着型教育の中で、キャリア教育を実践することができた。このことによって、生徒の育ちと共に保護者、地域による学校教育の理解につながっている。
・地域学校連携協議会委員による意見書（学校関係者評価）は、学校運営に対する真摯な意見や評価が多く見られている。

(2) 課題
・地域密着型教育の趣旨（人材育成と地域づくり）について今後も多くの機会を捉えて、さらに啓発し、その成果を上げていきたい。
・ジョイントスクール事業と重なる部分も多く、組織、活動内容、回数の効率化を図りたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立下長中学校
校長　田名部　直美　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年７月９日（木）１８時３０分～
②協議内容
・会則審議、会長・副会長の選出
・学校経営方針について
・協議会の日程について
・情報交換

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１１月２４日（火）１８時３０分～
②協議内容
・１学期の学校評価アンケート結果
・夏休み中から２学期中の生徒指導上の成果と課題
・２学期中の主な支援事業と学校行事
・１２月以降の予定

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年１月２０日（水）１８時３０分～
②協議内容
・学校評価の説明と質疑応答及び助言
・生徒指導上の成果と課題
・支援事業の報告
・来年度の予定
・その他（学校施設開放事業について、進路志望状況について）

２　具体的な取組状況

(1) 図書室整備

①活動期間

・４月２７日（月）から開始し、昼休みに図書の貸出しが行われる日はほぼ毎日ボランティアが来校し､活動している。

②活動人数

・１、２学期で、延べ１２０名が活動している。

③活動内容

・主な活動内容は、貸出しの補助であるが、時期に応じた特集コーナーなどを設置し魅力ある図書室づくりに取り組んでいる。
・その他、図書室の整理や新規購入図書の登録などを学期末に行っている。

(2) その他の取組

①学校行事等への支援

・体育祭の準備後始末　　８月３０日（日）　保護者が協力

・下長公民館祭り　　１０月１７日（土）～１８日（日）生徒がボランティアで参加

・文化祭への食堂等出店　　１０月２５日（日）　約１００名の保護者が協力

②校内外の環境整備等への支援

・校舎周辺の除草作業　　９月５日（土）　保護者約１００名・生徒５００名が参加

③その他の支援

・ＪＭＳ（ジョイントミーティング下長）あいさつ運動に下長地区青少協役員が協力している。

・市中体夏季大会と秋季大会の前後に、保護者と下長地区防犯協会が巡回指導を行っている。

・地域のお祭りの際にも、保護者と下長地区防犯協会による巡回指導を行っている。

・各町内会に依頼し、学校だよりを回覧している。

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　６人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

○地域学校連携協議会では、学校及び地域における生徒の様子について、きたんのない意見交換を行っているため、生徒及び学校に対して好意的な意見が多い。

○継続して行っている図書ボランティアの活動では、昼休みに子どもたちが興味をもって来室できるよう季節にあった掲示物や新刊コーナーを設け、「生徒が立ち寄りたくなる魅力ある図書室」を目指して、ボランティアの方々がほぼ毎日活動してくださった。

○学校評価アンケートでは、「学校はＰＴＡや地域団体と連携して取り組んでいる」との質問に肯定的に回答した保護者が 89.7%と非常に高い割合となっている。

(2) 課題

○学校行事、学年行事、ＰＴＡ活動に積極的に参加する保護者が増えている。予定を早めに連絡し、もっと多くの保護者の方々に協力・参加いただけるような工夫と、活動内容について情報発信を行うよう努めていきたい。

○学校が保護者や地域関係諸団体代表と開催している組織には、「地域学校連携協議会」や「さわやか八戸グッジョブウィーク推進委員会」がある。重複する委員の方々がいるので、開催時期や協議会での話合いの内容について見直し、整理していくことで、より充実した協議会となるよう工夫したい。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立北稜中小学校
校長　最　上　哲　宏　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回協議会

①実施日時

平成２７年４月３０日（水）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）学区校長会長（北稜中学校長）あいさつ　イ）正副会長指名及びあいさつ

ウ）３校の学校経営方針等についての説明　エ）ボランティア活用計画について

オ）会則について　カ）緊急時の対応について

キ）評価分科会のメンバーについて　ク）今後の予定について

(2) 第２回協議会

①実施日時

平成２７年９月３日（木）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）各校からの情報提供

○中核都市への移行と学校運営に関わる情報

○マイブック推進事業の概要に関わる情報

○教職員の多忙化に関する調査及び校務支援システムの導入に関わる情報

(3) 第３回協議会

①実施日時

平成２８年１月２１日（木）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）学校目標評価について（概略の全体説明）

イ）年度の日程について

ウ）分科会（北稜中部会，根岸小部会，日計ヶ丘小部会）

○学校評価について

・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察

・質疑応答と学校関係者評価

２　上記以外の会議の実施状況

なし

３　具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事・文化関連事業

・机クラブ指導支援　・１学年総合的な学習の時間ゲストティーチャー（机の舞，お囃子等指導）　・机衣裳及び小道具の修繕等　・文化祭机発表指導　・体育祭入場門設置　・体育祭根岸音頭指導　・２学年グッジョブ支援　・３学年受検合格祈願餅つき会の支援　・家庭科の授業として「幼児触れ合い体験」実施

(2) 安全対策事業

・地域巡回（市中体夏季大会及び秋季大会前，夏季及び冬季休業中，小田八幡宮例大祭）

(3) 環境事業

・校地内除草作業　・学校花壇整備

(4) 交流・連携事業

・北稜中学校区小中ジョイントスクール推進事業（各校授業参観，あいさつ運動）

・根岸地区運動会への参加　・子ども会関連事業への参加（スポーツ大会，サマーキャンプ，ウォークラリー他）　・根岸小吹奏楽部と合同による根岸公民館芸能発表会出演

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　６０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　０人（アスネットねぎし登録者を除く）

5　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・本校においては，開校以来の伝統となっている机の継承活動に関して地域から継続的な支援を受けることで，机に関する知識が増し技能を高めることができた。今年度も，３月に１学年が机の発表会を行うこととなっており，八太郎机組をはじめ地域の方々に周知してその成果を披露することができるものと期待している。

・毎年８月末に行われる根岸地区運動会は，入場曲を本校吹奏楽部員が演奏したり，競技にも多くの生徒が参加したりしている。また、１０月～１１月に行われる根岸地区文化祭では、３年生がボランティアとして多数参加し，準備や物品販売等多岐にわたって活動している。これらの実践は，本校生徒が地域の方々に貢献するとともにする貴重な機会となっている。

・コーディネーターの活動として、北稜中学校区地域学校連携協議会通信「えぼし」を，年２回発行し，地域全体へ配付した。これにより、地域学校連携協議会の活動等を各家庭等へ伝えることができたと思われる。

(2) 課題

・今後，さらに活動を発展させていくためには，後継者を含め，より多くの人材を発掘していかなければならない。すでに根岸地区も世代交代が必要な時期に来ている。広報活動や日常的な教育活動を通して，保護者や地域住民が学校運営，児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成したい。コーディネーターを核とした人材の発掘にも積極的に取り組んでいく必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　　是川中　　学校
校長　村　上　哲　宏　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２７年６月３日（水）　１９：００～
②協議内容　　・委嘱状交付
・会長、副会長、会則の承認
・学校経営方針説明
・平成２７年度計画説明

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２８年２月９日（火）　　１９：００～
②協議内容　　・学校目標等に関わるアンケート結果の報告
・学校関係者評価
・２８年度年間計画（案）の確認

(3) 第３回　　①実施時期　　平成２８年３月中旬予定
②協議内容　　・今年度の事業報告
・来年度の予定に関する説明及び審議

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会：なし

(2) 専門部会：組織せず

３　具体的な取組状況

(1) 環境整備
７月　４日（土）：校庭の草取り（保護者・生徒・教職員約１６０名参加）
１０月１７日（土）：校舎の窓拭き（保護者、生徒、教職員約１４０名参加）

(2) 夏季休業中
７月１８日（土）～８月２１日（木）：プール監視（保護者１９名、教職員のべ１９名）
校外巡視活動：３回。保護者、教職員のべ５４名参加

(3)体育祭関係

７月　８日（水）：是川音頭指導（是川音頭保存会から１４名来校）

７月１２日（日）：体育祭にて是川音頭を生徒と一緒に踊る（地域保存会から１８名来校）

(4)野焼き

１０月３０日（金）：指導ボランティア５名参加

(5)木彫テラコッタ展

２月２６日（金）～２月２９日（日）：多数の保護者が作品の搬出入、展示、受付等に参加予定

※ 2 月 26 日は作品搬入と準備

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１２８人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１６人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・学校評価に関わる情報交換を通して、地域の方々が予想以上に学校や生徒に関して、関心と期待をもっていることが分かった。地域学校連携協議会は、三者が率直に意見交換ができる重要な会となっている。

・仕事等の都合もあり、祖父母世代との交流が親世代よりも強くなっている。自分の孫の活動を楽しみに学校へ足を運ぶ方々が増えてきている。

(2) 課題

・教職員の地域密着型教育への参加意識を高めたい。地域・保護者と共に育てるという意識を、地域・保護者・教職員で共有することが大切である。そのためにも、校内に保護者や地域の活動スペースをつくり、それぞれの立場での教育力をつなげる努力をしていきたい。

・公民館でのサークル活動と学校の活動をリンクさせたり、ゲストティーチャーの積極的活用を行ったり等、より地域の方々との交流を深めたいと考えているが、時間的に難しい時がある。長期休業や放課後等を有効に活用していきたい。

・学校・家庭・地域が連携・協力することでよりよい教育環境が提供され、子どもたちの「確かな学び」と「豊かな育ち」が保障される。まずは、学校の一番の応援隊であるＰＴＡや地域の方々を学校に呼び込む工夫が必要である。また、「地域に対してできること」と「地域から応援してもらいたいこと」をはっきりさせ、明確な目的をもって取り組むことでより効果的な活動になるはずである。保護者や諸団体の教育力を子どもたちに還元するためにも、事務局（ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教頭）の円滑な運営と的確な働きかけが大切であり、学校独自のシステムを構築していくことが急務である。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立三条中学校
校長　四　戸　康　彦　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２７年６月９日（火）　１８：３０
②協議内容
・会則審議
・役員選出
・昨年度の活動報告及び今年度の活動計画について
・学校経営及び組織運営について

(2) 第２回　①実施日時　平成２７年１０月７日（水）　１８：３０
②協議内容
・いじめ防止に向けた取組状況について
・全国学力・学習状況調査の結果について
・生徒対象生活アンケートの結果について
・文化祭の売店運営計画について

(3) 第３回　①実施日時　平成２８年１月２６日（火）　１８：３０
②協議内容
・学校経営の成果と学校課題について
・学校評価について
・次年度の教育課程の方針と学校行事の予定について

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　設置していない

(2) 専門部会　文化祭食堂運営部会
①実施日時　平成２７年１０月７日（水）、１６日（金）
②協議内容
・文化祭売店の運営について
・メニューの数量、値段、購入場所について
・ボランティアの確保について
・メニューの試食

３　具体的な取組状況

(1) 町内会との連携事業
○地域ふれあい学習の実施　５月２９日（金）
・１２の町内会から会長をはじめ計１３名が協力。
・生徒が町内会ごとに別れ、各町内からのゲストティーチャーから講話をいただき、その後生徒と意見交換を行う。
・具体的には、町内会の歴史や課題等の話を聞き、その後学区内の危険箇所を確認し、生徒から町内への要望、生徒が地域に貢献できることを話し合った。

(2) 学校行事関連事業
○文化祭売店の運営　１０月２４日（土）
・卒業生の保護者６名で運営。前日の会場設営・準備の他、事前の打ち合わせを２日行った。
・軽食販売と食事場所の提供、案内ポスターの制作、無料ドリンクの提供等を行った。

(3) 安全対策関連事業

〇登校時の交通安全指導

・保護者を中心に学校周辺及び校門付近でのあいさつ運動も並行して行う。

・計１８日実施、１日約１０人程度の協力者あり。

〇地域のパトロール（夏季休業中、地域のお祭り時）

・学区内の巡回を月３回実施。長期休業中は週１回実施。平日は放課後活動が終了する１８時３０分から、休日は１３時から、長期休業中は２０時から実施。その他、各町内会のお祭りや宵宮等でも巡回を行っている。

(4) 地域交流事業

〇上長地区安全・安心まちづくり大会への協力　　１０月１２日（月）

・上長地区安全なまちづくり協議会主催の大会に生徒会ジャンプチーム９名、吹奏楽部１７名が参加。

・八戸駅自由通路において、少年非行防止の宣誓、万引き防止広報活動、吹奏楽部によるアトラクションを披露。

〇上長公民館まつりへの協力　　１１月７日（土）～８日（日）

・本校生徒１６名が舞台、食堂、茶道の補助としてボランティアで参加。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　３０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　６人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・実施３年目となった「地域ふれあい学習」では、各町内会よりゲストティーチャーを招き、生徒が住む町内への理解と愛着を深めることを目的に実施している。ゲストティーチャーの講話の後には、町内の危険箇所を一緒に話し合ったり、中学生に何かできることはないか質問したり、生徒が町内の大人の方々と前向きに話し合える時間となっている。

・文化祭の軽食販売と休憩室の運営をコーディネーターと数名のボランティアの方々にお願いしている。４年前から始めているが、無理のない計画で順調に運営されてきている。それまでは昼食場所がなかったため、午前の部が終了すると、保護者はいったん自宅に戻ってまた午後来校しなければならなかった。以前から食堂等の要望はあったものの、保護者の鑑賞時間を十分に確保できないことから懸案事項として課題となっていた。ＰＴＡの各委員会も学校行事に積極的に関わっているが、十分に対応できないところにコーディネーターが対応してくれているので、学校、ＰＴＡ、コーディネーターの三者が相互補完できるような体制を整えている。

(2) 課題

・コーディネーターは現在２人で行っているが、仕事も抱えその中で時間を調整して協力していただいている。本校の保護者はＰＴＡ活動に協力的であり、子どもが卒業してからでもＰＴＡ同士のつながりで学校と関わりをもってくれる方が多い。ただ、コーディネーターのようにある程度の責任が伴い、学校や外部との渉外等も増えるとなると二の足を踏むようなところが見られる。地域学校連携協議会がもつ地域とのネットワークを活用しながら、コーディネーターの人材確保を進めていきたいと考える。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立明治中学校
校長　三浦　一純　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２７年６月８日（月）１８：００～

②協議内容

・委嘱状交付式

・会則及び活動計画に関する審議、会長・副会長の選出と承認

・明治小・中学校の経営方針・重点施策等についての説明及び審議

・地域学校連携協議会の組織について

（２）第２回　①実施日時　平成２７年１２月２日（水）１８：００～

②協議内容

・学校評価に関する説明及び審議

・学校支援の進捗状況説明及び審議

・来年度の予定に関する説明及び審議

（３）第３回　①実施日時　平成２８年２月２３日（火）１８：００～　・・・(予定)

②協議内容　・・・(予定)

・今年度の成果と課題の説明及び審議

・学校支援の成果と課題の説明及び審議

２　具体的な取組状況

（１）環境整備

・ＰＴＡ環境委員会・・・年２回の早朝奉仕活動（校地内の除草等）

全校生徒と保護者及び地域の方々に呼びかけ、約９０名参加

・体育祭前日の入場門づくり・・・早朝奉仕活動に来校したお父さん方の協力

・校庭の除草作業・・・町内会有志の方々（学区民体育祭の前日）

（２）地域交流

・学区民体育祭への全校生徒・職員の参加（８月３０日）

・館地区総合防災会訓練への参加（１０月４日）

学区内の自主防災会、小・中学校、八戸消防署、八戸消防団館分団、水道企業団

（３）部活動支援

・２つの運動部において３名の方にコーチを委嘱している。コーチの方々には、生徒の能力に応じた、教育的配慮のある大変熱心な指導をしていただいている。

・ＰＴＡ部活動委員会の保護者の方から、夏季と秋季の市中体壮行式において激励の言葉をいただいた。

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　１５人

（２）今年度ボランティア保険加入者数　１２人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・環境整備について、保護者と生徒全員が参加して校地内の草刈りなどを行ったが、地域の方の参加も見られた。

・中学校と地域との行事（学区民体育祭、地区総合防災訓練）が定着してきており、自分たちができることを実行しようという、生徒たちの意識が高くなってきている。

・学校だよりや行事などの機会を通して、学校の様子をお知らせしてきたが、学校評価を通して、地域の方々から様々なご意見をもらうことができた。学校経営に大変参考となる内容であった。

(2) 課題

・大きな樹木の剪定など、環境整備の充実。

・予算の確保。

・コーディネーターの後継者探し。

・周年行事に向けて、地域との連携。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立市川中学校
校長　馬　渡　教　二　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成27年6月29日（月）18：30～
②協議内容
・委嘱状交付
・会長の指名（校長）副会長の指名（会長）
・会長、副会長あいさつ
・学校経営方針・今年度の活動の状況等について
・地域学校連携協議会組織・年間計画について

(2) 第２回　①実施日時　平成27年12月9日（水）18：30～
②協議内容
・平成27年度の学校評価アンケートについて
・学校経営方針・今年度の活動の状況等(中間報告)について
・学校いじめ防止基本方針・生徒指導の状況について

(3) 第３回　①実施日時　平成28年2月9日（火）18：30～
②協議内容
・学校経営方針・今年度の活動の状況等(最終報告)について
・平成28年度の教育課程及び行事予定について
・平成27年度の地域学校連携協議会の反省と課題について

2　具体的な取組状況

(1) 学校図書館支援（図書館ボランティア）
・月５回程度　３名
・図書館環境整備、蔵書整理、図書の貸出し・返却の補助　等

(2) 環境整備支援（親父の会・ＰＴＡ環境委員会）
・５月31日（日）　約30名参加　親父の会
害虫駆除作業、樹木剪定・伐採作業、校庭側溝泥上げ作業　等
・８月23日（日）　約40名参加　ＰＴＡ環境委員会
校地内除草作業、校庭整地作業　等

(3) 学校行事支援
・８月30日（日）体育祭（ＰＴＡ総務委員会・教養委員会）
来賓接待、熱中症対策　等
・10月18日（日）文化祭（ＰＴＡ各委員会）
飲食販売、バザー、ＰＴＡ作品展の企画・運営　等
・さわやか八戸グッジョブ・ウィーク（さわやか八戸グッジョブウィーク市川推進委員会）
事業所開拓、受入依頼、巡回指導　等

(4) 部活動支援（ＰＴＡ部活動推進委員会・市川地区体育振興会）
・各部親の会の運営、各部運営支援
・運動部外部コーチの選出・依頼　等
・部活動反省会の企画・運営

(5) 地域行事支援

・親善スポーツ大会の運営（市川地区青少年生活指導協議会）
中学校区内の４小学校による、野球・ソフトボール・バスケットボール各競技の交流試合の運営　等

・ふれあい大運動会の運営（市川地域連合町内会）
中学校区内の４地区（小学校区）対抗運動会の運営　等

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

今年度も、図書館ボランティア、部活動コーチの保険は昨年度までと同様に本校ＰＴＡで負担している。来年度は、早めにボランティア登録をして地域密着型教育の予算で加入する。

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・地域学校連携協議会を実施することで、地域の関係団体や保護者等の代表から学校運営への意見や願いを聞くことができて、自校の教育活動を振り返り学校評価に生かせるようになった。また、学校の教育方針や教育活動の概要を説明することで、地域の住民や保護者の代表から、学校の教育活動全般への理解や協力を得ることができた。

・地域の諸団体の活動状況が把握できるようになり、学校と地域との相互協力体制が確立され、校内外の環境整備や諸問題の解決に対応できるようになった。本校近くのバス停留所や通学路の安全な環境整備へ大きな協力を得ることができた。

・各種の行事への参加に伴って、生徒や保護者の学校・地域社会に対するボランティアの意識が高まりつつある。

・地域学校連携協議会の開催を通じて、学校側と地域連携協議会委員との間で、本校の学校いじめ防止基本方針について共通理解を図ることができた。また、学校内で生徒指導の実態を詳しく説明することによって、日ごろの協力体制や緊急時の組織的対応体制を確かなものにすることができた。

・今年度は、本校で中学校教育研究会領域等発表会を実施したが、それに向けて１学年の総合的な学習の時間で「地域に学ぶ」というテーマで学習してきた。その際に、地域の方を数多く講師として招き、地域のことを学習する機会を設定することができた。総合的な学習の時間発表会の際には､講師をしていただいた地域の方を招いて学習の成果を発表した。

(2) 課題

・コーディネーターの役割について、学校の教育活動との関連を図ったり必要性を考慮したりしながら、効果的な活用方法について、もう少し吟味していくことが必要である。来年度は、教育支援ボランティアの募集等について検討していきたい。

・学校の教育活動についての情報発信をさらに充実するように、その手立て等を、来年度検討していきたい。

・生徒会活動等との関連を図ることによって、生徒の意識を高めるとともに、地域社会の一員として、地域のために活動する機会を積極的につくりだしていくことが必要である。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立豊崎中学校
校長　中　川　俊　也 印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２７年５月２７日(水)　１９：００～
（小・中合同）　②協議内容
・委嘱状交付
・会則及び組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策の説明及び審議　等

(2) 第２回　　①実施日時　平成２７年１２月１５日(火)　１９：００～
（中のみ）　②協議内容
・学校の現状と課題の説明及び審議
・学校評価に関する説明及び審議
・情報交換　等

(3) 第３回　　①実施日時　平成２８年２月８日（月）１８：３０～
（小・中合同）　②協議内容
・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議
・来年度の教育計画についての説明
・情報交換　等

２　上記以外の会議の実施状況

・校外指導委員会　第１回：平成２７年　５月１９日（火）
第２回：平成２７年１１月１９日（木）
・プール運営委員会　平成２７年６月３０日（火）

３　具体的な取組状況

(1)安全・安心活動

・校外巡視活動	毎週木曜日(６月～１０月)	毎回５～６名
・夏休み夜間巡視活動	夏休み期間の月・水・金	毎回３名
・登校時の交通安全指導	９月８日(火)～１０日(木)	約６名

(2)環境整備活動

・学校農園の耕畑作業	５月　８日(金)	１名
・体育祭前の環境整備奉仕作業 草取り、石拾い等	５月１７日(日)	約７０名
・ゴーヤのネット張り	５月１７日(日)	５名
・プール脇の階段改修	８月　２日(日)	７名
・相撲大会前の土俵整備、除草等	８月３０日(日)	約３０名
・学校農園用堆肥搬入	１月　６日(水)	１名
・駐車場や通学路等の除雪や融雪剤散布	１月～３月	２名

(3) 教育支援活動

・農園活動における外部講師	５月～７月	１名
・豆腐づくり	２月１０日(水)	１名

(4) 行事支援活動

・相撲の作法指導	８月２８日(金)	１名
・相撲大会準備、運営、審判 後片付け	９月　６日(日)	１５名
・文化祭屋台準備	１０月２３日(金)	７名
・文化祭屋台、喫茶出店	１０月２５日(日)	１３名
・百人一首大会の運営手伝い	１月　５日(火)	２名
・百人一首大会での昼食の提供	１月　５日(火)	６名

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　７０ 人（全保護者を含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　４ 人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・豊崎中学校区として地域密着型教育を実践してから４年目となり、小・中学校それぞれで実践している活動内容もお互いに把握でき、共通での取り組みもスムーズに行われている。

・第２回目の地域学校連携協議会では、委員の方々に事前に資料を配付し、目を通してきていただいた。限られた時間の中で、学校の状況や学校が抱える問題に対し、予め理解をしていただいてから協議ができたことは、時間的にも内容的にも有効であった。大変建設的な意見をいただくことができ、今後の学校運営の糧にすることができた。

・校内百人一首大会では、毎回地域のおばあさん方に、昼食としてせんべい汁やお汁粉の提供を依頼しているが、３年目となる今年度は、学校側から依頼する前から、地域の方々が準備をし、学校から依頼があればいつでも手伝える準備ができていた。学校と地域が一体となり、暗黙の裡に連携ができていたのは、この事業の成果であると考える。

・多くの地域の方々が小・中学校の教育活動を支えてくれていることを実感している。また、学校のために協力をしたいという気持ちをもっている地域の方が多いことにも感謝したい。学校・地域・家庭の連携をさらに強化し、学校と地域との垣根を取り払っていきたい。

・地域学校連携協議会委員の中に学年委員長である保護者がいることにより、学校に対する保護者の生の声を聞くことができた。

(2) 課題

・地域学校連携協議会での協議内容は、教職員には会議等で伝達し、共通理解を図っているが、保護者や地域の方々に対しての情報発信が随時できるように検討していきたい。

・体育祭の用具係や文化祭のステージ発表時の照明係など、生徒数の減少に伴いなかなか手が回らない状況が生じてきている。そのため、地域の方々の協力を得たいが、事前打ち合わせや事前準備のための時間の確保が難しい。地域の方々も協力したい気持ちが強いため、お互いに時間調整を工夫しながら、この課題を解決したい。

平成２７年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立大館中学校
校長　高　橋　　亨　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①　実施日時　平成２７年　５月２８日（木）　１８：３０～１８：００
　　②　協議内容　ア　委嘱状交付
　　イ　会則の確認
　　ウ　正副会長の選任
　　エ　学校経営方針、児童生徒の現状等についての説明
　　オ　意見交換

(2) 第２回　①　実施日時　平成２７年１２月１５日（火）　１８：３０～２０：００
　　②　協議内容　ア　学校目標等に係る自校評価結果の説明
　　イ　自校評価に対する質疑応答、意見集約
　　ウ　指導・助言（八戸市教育委員会）

(3) 第３回　①　実施日時　平成２８年　２月２３日（火）　１８：３０～２０：００
　　②　協議内容　ア　学校評価の総括
　　イ　次年度計画の確認
　　ウ　意見交換

２　上記以外の会議の実施状況

企画推進部会及び専門部会については、設置していない。ボランティア活動やＰＴＡ活動、生徒会活動等との関連性や方向性とあわせて、その必要の有無を検討しているところである。

３　具体的な取組状況

(1) 環境整備

①　図書支援・・・・・・蔵書の修理及び整理、新書の登録等
　　活動回数　１０回、活動延人数　　３５人

②　草刈り・草取り・・・校地内草刈作業
　　活動回数　１回、活動延人数　　２２人
　　校地内草取作業
　　活動回数　１回、活動延人数　　３２人

(2) その他

① 学校行事・・・ＰＴＡ(ＯＢ)による体育祭時の校庭整備作業、駐車場案内

② 協働事業・・・大館地区自治振興会と連携して「新田城まつり」への参加

・・・大館公民館と連携して「大館地区街づくりゼミナール」への参加

③ 巡回指導・・・ＰＴＡ(ＯＢ)による下校時の学区内巡回指導

④ 情報発信・・・コーディネーターによる地学連協だよりの作成、発行

４ ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数

草 刈 り	２８人
草 取 り	１７人
図書支援	７人
合　　計	５２人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　１９人

５ 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

① 各学校の教育活動や児童生徒の状況等について、直接説明する機会を得たことで、情報交換の透明性を高め、双方の距離が縮まってきていると受け止めている。

② 地域の関係団体や保護者等の代表から、学校運営に対する意見や願いを改めて聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り学校評価に生かせるようになってきている。

③ ボランティアに係る人材確保及び連絡調整が進み、ボランティアによる支援が定着してきている。

④ コーディネーターが３人体制となったため、各学校との連絡調整が円滑に進むようになった。

(2) 課題

① 教職員の校務分掌組織やＰＴＡ組織、ＰＴＡ活動との関連性を図ることによって、より実質的な協働態勢づくりを推進していくことが重要である。そのために、企画推進部会並びに専門部会等の必要性や編成方法について引き続き検討する必要がある。

② 児童会・生徒会活動等との関連性を図ることによって、児童生徒の意識を高めるとともに、地域の一員として、地域のために活動する機会を積極的につくりだしていくことが重要である。

③ 地域密着型教育の推進が、教職員や生徒、保護者の過度な負担にならないよう留意して進めていく必要がある。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立東中学校
校長　正部家　光彦　　印

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回

①実施日時　平成２７年６月１０日（水）　１８：３０～２０：００

②協議内容

ア　委嘱状交付

イ　会則について

ウ　会長・副会長の指名

エ　学校経営方針の説明

オ　平成２７年度の組織と事業計画についての説明

(2) 第２回

①実施日時　平成２７年１０月２５日（日）

・本校文化祭を見学していただき、その後校長室にて資料を配付し、学校の状況を校長・教頭から説明しご意見をいただき、学校評価とした。

②配付資料内容

ア　今年度の学校経営について

ウ　今年度の生徒・ＰＴＡ活動について、また地域との交流等について

(3) 第３回

①実施日時　平成２８年２月１６日（火）　１８：３０～２０：００

②協議内容

ア　今年度の事業報告について

イ　学校評価の説明について

2 具体的な取組状況

(1) 芸術鑑賞会等の地域への公開

学校と地域学校連携協議会、町内会が協力し、生徒・保護者だけでなく、町内会回覧で地域の方々に参加を呼びかけた。

①９月１０日、東中芸術鑑賞教室を開催し、本校体育館で全校生徒約５００名、地域の方約１００名が八戸市出身の落語家、桂小文治さんらの落語を鑑賞した。

②１２月１５日にNPO法人「地球のステージ」を開催した。医師である桑山紀彦氏による、語りと音楽、映像によるコンサートに地域の皆様約３０名が来場し、生徒とともに鑑賞した。

芸術鑑賞教室「東中寄席」

(2) 地域貢献活動

地域の要請に応えて、生徒が「地域貢献活動」を展開した。

①東運動公園、東運動公園前地下道、国道４５号線沿い歩道のゴミ拾い活動（７月３日、全校生徒参加）

②地域行事における吹奏楽部の演奏

ア　旭ヶ丘地区運動会（９月１６日）

イ　湊高台地区運動会（８月２３日）
ウ　労災病院野外コンサート（８月８日）
③東公民館への協力
ボランティア委員会などによる諸行事へのお手伝い
つつじ祭り（５月３１日）公民館祭り（１０月３・４日）
④総合文化部の地域貢献
「湊高台地区子ども会みこし」の台車にマスコット画を描く。
(3) 図書室整備（保護者、地域の方に図書室整備ボランティア依頼）

公民館まつりへの協力

湊高台地区運動会での演奏

地域での清掃活動

3 教育ボランティアの状況

(1) 登録現在数　　図書室整備　　２人（保護者含む）
　　部活動外部指導　２０人
(2) 保険加入者数　　２０人（学校独自の任意保険に加入）

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果
①学校行事を積極的に公開し、地域の方に多数ご参加いただいた。
②コーディネーターを１名加え、２名で運営することにより効率的な活動ができた。
③既存の学校組織、行事を活用し地域との交流及び活動を図り、協議会委員の方々に学校運営、生徒活動を効率的に把握していただけた。
④コンパクトな運営に徹することを目的に、専門部会等は設定せず、担当者（教頭・教務主任）とコーディネーターを中心に事業を推進したことから、一般教員に負担を感じさせることなく事業を推進することができた。
⑤学校行事への地域の方々の参加、地域行事への協力活動を実践する中で、地域の方々の学校に対する好意的な意見をいただき、生徒理解が図られた。
⑥地域行事や地域施設への生徒ボランティア派遣により、地域の方々との交流が深まり、また生徒たちが地域の方々から感謝のことばをいただけた。
(2) 課題
①「地域のために学校が何をできるか」と「地域（住民）に何をしてもらいたいかを地域の方々と考えながら取り組んできたが、地域の期待に添えないことや時期的に生徒協力が場合できない場合があった。しかし、地域の方々は学校事情を理解し、好意的に対応していただいた。
②地域密着型教育について、学校だよりやブログ、ホームページでの情報発信が不足していた。来年度は、積極的な広報活動を展開していきたい。
③地域の方々の学校への継続的なボランティア（図書室整備、花壇整備、環境整備、学習支援など）が少ないので、募集方法などを工夫し、協力を求めたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中沢中学校
校長　　千　葉　　誠　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回　　①平成２７年　６月１０日（水）　１９：００～２０：３０
②協議内容
ア　委嘱状交付
イ　会則（案）の審議
ウ　会長・副会長の指名
エ　学校経営方針・重点施策について
オ　意見交換

（２）第２回　　①平成２７年　８月５日（水）　１９：００～２０：３０
②協議内容
ア　１学期の活動を振り返って
イ　学校施設設備改善のための意見要望書について
ウ　意見交換

（３）第３回　　①平成２７年１１月２４日（火）　１９：００～２０：３０
②協議内容
ア　２学期の活動を振り返って
イ　保護者アンケートについて
ウ　意見交換

（４）第４回　　①平成２８年　２月２５日（木）　１８：３０～２０：００
②協議内容
ア　３学期の活動を振り返って
イ　次年度の計画について
ウ　意見交換

２　上記以外の会議の実施状況

なし

３　具体的な取組状況

（１）教育関連事業
①体育祭の支援（５月）
・受付接待　マラソンの誘導員　用具係　等
②グッジョブ・ウィークの支援（７月）
・小学校　保育園　図書館　山の楽校等の地域の事業所　等
③赤ちゃんふれあい体験学習への協力（９月）
・南郷公民館
④学校便りの配付（年１０回）
⑤部活動の支援（通年）
・バスケットボール部　サッカー部　ジャズバンド部

⑥南郷図書館からの支援
・昼休みを利用した図書紹介活動（月１回）
⑦入学式・卒業式の支援（４月・３月）
・受付接待　ステージ用松の運搬　鉢花の運搬　等

（２）環境整備活動
①校地内草刈り及び樹木の剪定作業（６月，８月，１０月）
・木の枝や草の処理を地域の事業所に依頼
②花壇及び畑の整備（６月，８月）
・草取りや開墾　等

（３）文化事業
①ジャズバンド部のライブコンサートの支援（１２月）
・受付接待　会場準備　楽器の運搬　写真撮影　ビデオ撮影　等
②小中合同発表会の支援（１０月）
・受付接待　会場巡視　地域の方の入場

（４）交流・連携事業
①民生委員との情報交換（４月）
②ジョイントスクール授業公開および講演会（６月，８月，１１月）
③学区内の巡回指導（６月～１０月毎週金曜日１９：００～）
・地区の健全育成会の活動に参加

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　２人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果
・地域学校連携協議会を通して，学校に対する要望や地域の方々の願いを直接聞くことができ，教育活動の改善に努めることができた。また，学校の教育活動をよく理解していただくことができた。
・地域学校連携協議会で話し合われた学校の施設設備に関する要望がかなり受け入れられ，教育環境はかなり改善された。
・地域との連携がうまく取れるようになり，学校行事や各種イベントに地域の方々が足を運んでくださるようになった。

（２）課題
・生徒たちの活動が校内だけでなく，地域の一員として地域のために活動する機会を，意図的に設けていかなければならない。
・地域がら地区を挙げてのお祭りやイベント，子供会などの行事がなく，楽しみを共有できない状態であるので，地域を挙げてみんなで楽しめる企画を考えていきたい。
・学区３小学校の統合により，地域学校連携協議会を小中合同で実施し，それぞれの情報交換をしながら連携した活動にしていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守中学校
校長　竹　花　和　人　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①　６月１７日（水）18：30～20：30　於：島守小（27年度事務局校）
②【協議内容】
・委嘱状交付式(教育委員会)
・今年度の計画及び地域との連携事業についての説明(小・中教頭)
・今年度の教育方針についての説明(小･中校長)
・学校関係者評価についてのお願い(事務局)

(2) 第２回　①１１月１９日（木）18：30～20：30　於：島守小
②【協議内容】
・地域との連携事業についての中間報告(小・中教頭)
・１学期の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告(小･中校長)
・アンケート結果等をもとにした話合い

(3) 第３回　①　１月２６日（火）18：30～20：30　於：島守中
②【協議内容】
・児童・生徒・保護者・教職員アンケートの成果と課題について(小･中校長)
・地域との連携事業についての成果と課題(小・中教頭)
事前に「小･中学校学校目標の重点」についてのアンケート結果の資料を送付し，御意見・御助言をいただいた。

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　６月２日（火）　　於：島守中　18:30～
・小･中学校ＰＴＡ会長・副会長（企画推進委員），小･中学校長と教頭
・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会のもち方
・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討
・新委員の改選について

３　具体的な取組状況
≪島守ふるさと応援隊の活動≫
(1) 教育関連事業
①福祉体験学習の支援
・高齢者疑似体験及び車いす体験・福祉体験学習
②グッジョブ・ウィークの支援（２年）
・八戸市立南郷図書館・ローソン南郷市野沢店･グリーンプラザなんごう株式会社
・南郷カッコーの森エコーランド・朝もやの館・医療法人南六会・西モータース
③絵手紙教室
④習字指導の支援（全学年）
⑤体験学習報告会　　職場体験（２名）
⑥家庭科の授業への支援　＜地域住民，栄養士＞
・食育教室（全学年）
(2) 環境事業
①環境奉仕作業（草刈り，枝打ち，窓ふき早朝作業）　３回（ＰＴＡ）
②資源回収（ＰＴＡ，地域住民）
③除草剤散布（ＰＴＡ環境委員）
④地域清掃（１・２学年）
⑤虚空蔵山清掃（全学年）
(3) 文化事業
①文化祭にかかるえんぶり練習，当日の発表（えんぶり組）　＜地域住民　６名＞
②島守活き生きまつり（郷土芸能への参加）

(4) 交流・連携事業
①小・中学校ジョイントスクール事業（相互授業参観・情報交換・懇親会・行事の相互参観）
②小・中学校合同大運動会の開催並びに島守音頭での交流　＜地域住民　１名＞
③民生委員との情報交換

④地域学校連携協議会及び小・中学校ジョイントスクール授業公開・研修会
⑤赤ちゃんふれあい体験，保育体験（島守コミュニティーセンター・市野沢保育所）
⑥ＰＴＡ研修　＜ＰＴＡ，中学校教職員＞

4　ボランティアの状況
(1) 保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている。
※ 地域密着型教育予算による保険加入者数については，本年度はなし。

5　地域密着型教育の成果と課題
(1) 成果
① 今年度は小学校が主担当であった。地域学校連携協議会開催の前に具体的な打ち合わせを行い，双方が共通理解した上で協議会に臨んだ。協議会（委員）がリードする部分と，学校側がお願いする内容を吟味した。
② １回目の地域学校連携協議会の前に企画推進部会を開催し，組織・会則の見直し，委員の選定，今後の事業計画や運営のあり方について打ち合わせを行った。昨年度から，オブザーバーとして企画推進部委員（小・中ＰＴＡ副会長）にも声をかけ，協議会の内容を把握していただいた。
③ 島守地区では，地域の団体（役職）に基づいてメンバーが構成されている。固定化されているメンバーの他に，様々な分野の方々から御意見をいただくために新委員の選定を行った。第１回の会議では発足当時からの経緯を説明し，協議会の趣旨を理解していただき，さまざまな視点からの御意見・御助言をいただき，協議会の活性化につながった。
④協議会委員の方々には，学校行事の他，参観日や講演会等にも案内を出し，普段の生徒の様子を見ていただく機会を作っている。そのときの感想などや御意見をうかがうことができた。
⑤ ３回目の協議会では，「学校目標に関する評価」についてコメントをいただいた。
重点施策①
・島守の子どもは，積極的に話をしたり意見を言ったりするのは苦手という感じをもっていましたが、アンケート結果を見ると積極的のできる生徒が多くいると感心しました。
・現状の生徒の弱点を分析し、改善に向けた素晴らしい取組である。保護者においても，肯定的な回答となっているので今後も継続してほしい。
・将来、社会に出てから重要なことなのでよく学んでほしいと思います。
・自分の考えを伝えることが少し低いと思う。授業での発表はもちろんのこと行事やその他の活動でも個人の考えや意見をたくさん発表できる場を設けることと「聞く」ということをしっかりやることも大事だと思う。
重点施策②
・少人数でありますが，文化祭等いろいろな仕事をやりながら発表もすると言うことができるのはすごいと思います。
・今後の人生を歩む中で，コミュニケーション能力が大事になっていくことをこの施策で生徒は理解しつつあるのではないか是非継続してもらいたい。。
・考えをまとめて意志表示できることは本当に素晴らしいです。先生方の教えが良いからだと思います。一生懸命学んでほしいと思います。
・ここでも自分の考えをまとめること，伝えることが弱いというのがあると思う。やはり「聞く」ということが必要である。・

(2) 課題
① 島守小・中学校地域密着型教育推進事業では，保護者・地域住民・教職員が「島守ふるさと応援隊」として，生徒たちのためにボランティアを引き受ける組織になっている。地域密着教育をとおして，さらに効果的に機能させていくために，学校行事やＰＴＡ行事，日常の教科等の授業において協力していただく場面をさらに広げていくことが大切である。そのために，年間の見通しをもって，地域の教育力を活かすように活用の工夫を図りたい。
② 委員の方々に対しては，学校行事や参観日や講演会などにお出でいただくよう案内を送付している。日常の生徒の様子をみる機会が少ないので，機会を見つけて積極的に情報発信を行っていきたい。いろんな場面で，生徒の普段の姿を理解していただいた上で，協議会で意見を話していただくかがポイントである。
③ 協議会で話し合われた内容については，小・中学校の学校だよりを通してお知らせている。また，学校のホームページへ掲載したり，保護者集会の際に報告するなど発信していきたい。
④ 非常災害時・緊急時には，小学校と連携を密に取り、児童・生徒が安全に帰宅できるような体制を小学校と協力しながら取り組んでいく。また，防災ノート，避難訓練，防災訓練，防災マップなどを活用して，危機回避能力や災害時の対応能力を高めていきたい。
⑤ 「地域密着型教育」をスタートして以来，７年が過ぎようとしている。これまでの取組を振り返り，継続すべき内容と改善すべき点を明確にしていきたい。

平成27年度「地域密着型教育」報告書

八戸市階上町学校組合立田代小中学校
校長　本　　間　　孝　　浩　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２７年　６月　８日　１９：００～
②協議内容・委嘱状交付式　・会長氏名　・会則承認　・事業説明

(2) 第２回　　①実施日時　平成２７年１１月１１日　１９：００～
②協議内容・事業説明　　・評価アンケート説明

(3) 第３回　　①実施日時　平成２８年　２月２４日　１９：００～
②協議内容・事業説明　　・来年度への展望

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　なし　(2) 専門部会　なし　(3) その他　なし

３　具体的な取組状況

(1) 環境整備　①　平成２７年５月３日１２名参加　②　平成２７年５月１７日１４０名参加
③　平成２７年９月６日９０名参加

①＝学区危険個所巡視、看板点検
②＝前期手ふり（刈り払い機１７台参加）
③＝後期手ふり（トラクター２台参加・刈り払い機１５台参加）

(2)伝統芸能伝承活動補助　平成２７年５月・１０月　計５回　１名　えんぶり指導補助

(3)体験活動補助　平成２７年９月・１０月　計２回　４名　赤ちゃんふれ合い体験補助

(4)布草履づくり体験補助　　平成２７年６月１１日　　４名　布草履作製補助

(5)ふるさと水の道体験補助　平成２７年１０月９日　　１０名　見学施設説明・体験の補助

(6)運動会補助　　平成２７年５月３１日　３０名　テント設営・撤去作業

(7)キャンプ運営　　平成２７年７月２５日～２６日　１４名　用具運搬・設営指導

(9)田代こどもまつり　　平成２７年９月１８日　１３名　「昔の田代」お話しコーナー

４　ボランティアの状況

(1) 登録現在数　１４０人（保護者含む）　(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果　今年度も様々な体験活動をサポートするため、正会員（保護者）と準会員（地域住民）で構成される PTA 会員と共に、地域に支えられ地域と共に教育活動を展開し、地域の総力を挙げて児童生徒の育成に取り組むことができた。この成果をブログ等で発信したことが要因となり、教育厚生会広報・県青少年育成県民会議広報・東奥日報特集記事等でも「ひまわりの道」活動などが大きく取り上げられた。

(2) 課題　保護者・地域に対し、学校が地域に支えられて充実した教育活動を展開していることと、児童生徒が地域に対して感謝の心で受け止め、「地域を誇りにする心」を大事にしていることを積極的に発信（「学校だより」「育ちの道しるべ」カレンダーの全戸配付やＨＰ・ブログ 等）し、一層結びつきを強める必要がある。

3章　実践発表資料

美保野小学校　発表資料（コーディネーター研修会）　・・・・・　151
白山台小学校　発表資料（実践研究発表会）　・・・・・・・・・・　164

美保野小学校地域学校連携協議会　紹介

○　開拓の地　美保野

美保野という地域は、戦後の食糧難を解消するために、昭和２１年以降、開拓が進められたところです。入植した人たちは、荒れ野を切り開き、畑をつくっていきました。機械のない時代に木を切り倒して開墾したり、井戸を掘ったり、霜の被害により農作物が全滅したりしたこともありました。昭和３２年に電気が通るまでランプ生活を余儀なくされ、先人が大変な苦労をして築き上げた地域です。

そういう中で、美保野小学校は、昭和２６年に馬小屋を改造し町畑小学校美保野分校として開校しました。町内会やＰＴＡの組織もつくっていきました。中学校は３年遅れて、白銀中学校美保野分校として開校。昭和３０年には、小中併設の美保野小・中学校として開校しています。昭和３８年には小学校８８名の児童数となりましたが、その後児童・生徒数は減少し、中学校は平成２４年度をもって閉校、現在は八戸市立美保野小学校となっています。

校地そばには、「墾即魂」と刻まれた石碑が建っていて、この言葉が意味する「無から有を生み出す意志力」「逆境をはね返す精神力」は、子どもたちにもぜひ受け継いでほしいと考えています。

○　地域学校連携協議会

美保野小学校は、現在、児童数１１名の小さな学校です。学区は市街化調整区域のため家が建てられず、児童数は減少傾向にあります。しかし、何とかこの美保野をみんなに知ってほしい、美保野を盛り上げていきたいと、平成２２年に地域学校連携協議会を立ち上げました。

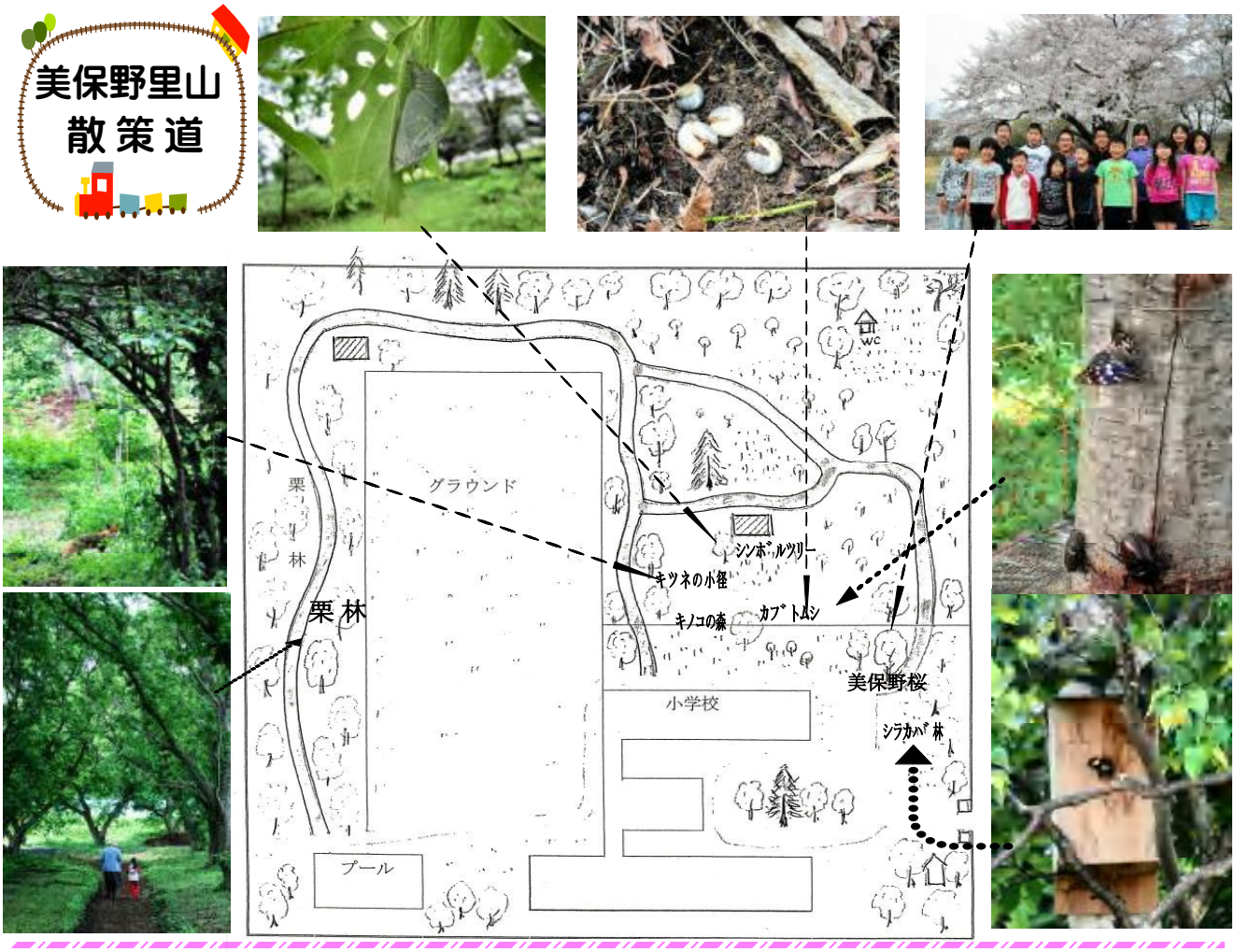
事業の一つとして、校地内にあるうっそうとした林を教育環境としてふさわしい「里山」につくり変えました。木を適度に伐採し風通しをよくするとともに、国蝶オオムラサキを呼び込むために、エゾエノキの植樹をしました。また、カブトムシの幼虫を育て、シイタケなどのキノコの植菌をしました。現在、里山には草花が生え、たくさんの種類の蝶が飛び交い（美保野小学校で確認された蝶は５２種類）、鷗盟大学 OB の方々も観察や整備作業に協力してくださっています。散策道には木の皮のチップを敷いているため歩くとふわふわして気持ちよく、自然を満喫できる、とてもすばらしい教育環境となりました。

もう一つの大きな事業は、８月末に行われる「みほの里山夏まつり」です。美保野小学校の校庭で実施され、観客は千人を超えます。子どもたちや地域の方々がステージ発表し、昨年度は八戸せんべい汁で有名なトリオ・ザ・ポンチョスに司会と歌をお願いしました。地域からは飲食、ゲームコーナー等の出店があり、大いに盛り上がっています。八戸学院短期大学の学生さんも、ボランティアとして夏まつりや運動会などの行事に協力してくださっています。

美保野小学校の運動会は、保護者、町内会そしてユートピア、のぞみ園、瑞光園など地域の福祉施設の方々とともに行っています。もちろん子どもたちだけのプログラムもありますが、町内会や福祉施設の利用者さんと一緒に競技する種目もたくさん組んでいて、みんなが和気あいあいと笑顔で楽しんでいます。

このように、地域学校連携協議会が中心となり、家庭・地域と学校が一体となって地域密着型教育を行っています。

散策道整備（6/15） 多くの人々の力が結集し、美保野の里山に散策道ができました。



美保野里山散策（7/5）

東中学校区小中連絡協議会（東中・青潮小・旭ケ丘小・町畑小・美保野小）の先生、保護者の方々、鷗盟大学OB の方々、斉藤町内会長さん、小野寺協議会会長さんが里山を散策しました。（約 40 名）

みほの里山通信

平成２６年度
１１月号（NO.５）
美保野小学校地域学校連携協議会

みほの里山夏まつりに寄せて

美保野小学校地域学校連携協議会
会長　小野寺　修

（会場のみんなが一体となった「せんべい汁」の歌）

みほの里山夏まつり実行委員の皆様、大変お疲れさまでした。また、ご支援、ご協力を頂いた、社会福祉法人施設、八戸学院大学、短期大学、美保野・金吹沢町内、協賛してくださった多くの個人、法人、そして、出店された皆々様のおかげをもちまして、まつりを成功裏に終えることができました また、皆様が楽しんでくださったことに厚く御礼申し上げ、来年の、みほの里山夏まつりの糧といたす所存です。

終わりに重ねて、関係各位、実行委員会スタッフ、ボランティアの皆さんのご苦労に対して深く感謝申し上げあいさつといたします。本当にありがとうございました。

夏まつり（8/31） 好天にも恵まれ、１０００人以上の来場者がありました。

町内会の方々も、準備・片付けから物品販売、あいさつ、踊り等と忙しい１日でした。

子どもたちは開会式から閉会式までカラオケの他にもたくさん参加し、大活躍でした。

美保野里山訪問団

たくさんの方々が美保野の里山に

平成２６年６月１５日に多くの人々の力が結集し、美保野の里山に散策道ができました。今年はその効果もあり、７月５日の東中学校区小中連絡協議会（東中・青潮小・旭ケ丘小・町畑小・美保野小）の先生、保護者をはじめとして、たくさんの方々が美保野の里山を訪れてくれました。

東中学校区小中連絡協議会（7/5）

東中学校区小中連絡協議会（東中・青潮小・旭ケ丘小・町畑小・美保野小）の先生、保護者の方々、鷗盟大学 OB の方々が里山を散策しました。（約４０名）

岩手県職員視察団（7/17）

岩手県職員の方々が、地域が一体となって活動している団体として、美保野の里山活動が八戸市役所から紹介され訪れました（25 名）。

八戸盲学校（9/4）

美保野小学校と長年交流している盲学校の子どもたちと、散策道を歩きました。盲学校の子どもたちが大変喜んでいました。

東北都市学会（9/27）

八戸学院大学の齋藤先生をはじめとし、東北、関東の大学の先生方の学会の研修の一つとして、美保野の里山が対象となりました（10 名）

上記の他にも、「みほの里山夏まつり」の際に散策道を歩いている人がいました。また、栗拾いの季節には美保野小の子どもたち、各施設、町内会の方々、その他にもたくさんの人たちが里山を訪れていました。来年度も大変楽しみです。

観察台です。来年設置されます。

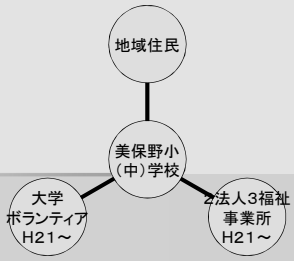
美保野の秋の風景です。今年は一段ときれいです。

美保野小学校地域学校連携協議会
里山活動紹介

美保野・金吹沢地区の沿革

- 昭和25年　本地区への入植,開墾が始まる。
- 昭和26年　馬小屋を改造した町畑小学校分校 として開校。
- 昭和29年　中学校を併設し 美保野小中学校設置。（その後最大時80名あまりの学童が通学）
- 昭和63年　美保野小学校新設（その後、地域の後継者の減少に伴う学童の減少が続く。）
- 平成21年　10数人の小中学生に地域福祉事業所の参加と近隣大学のボランティアの協力の合同運動会が始まる。
- 平成25年　中学校が東中学校へ統廃合によって閉校。
- 現　在　小学生11人の複式学級

美保野小（中）学校地域連携の始まり
H21年地域合同運動会から始動



学校・地域・福祉施設と合同運動会
地域が集まれば大運動会！学生ボランティアも活躍！

児童も障がいのある方も一本の綱で！

学校連携協議会の発足の経緯と活動概要

- 発足のきっかけ：学童の減少による統廃合の危機がささやかれる中、何としても存続を願う地域の意で平成22年に発足。
- 活動の核として：地域の特徴を生かした「里山活動」を核として計画。学校・地域一丸となり実行。
  1. 長く放置された裏山のリセット＝間伐・刈り払い
  2. 希少生物の保全・増殖＝植樹・生息環境の構築
  3. 地域の協働作業・行事＝環境整備・夏祭りほか
  4. 里山環境での児童の体験学習＝きのこ植菌・植樹・観察会・巣箱作りなど
  5. 散策道の設置＝学童・車椅子の方も安全に散策
  6. 植物解説プレートの設置＝里山の学習

「元気な八戸づくり市民奨励金」の助成を受け活動の推進

- 重機の借料や草刈機等の燃料
- 環境整備のための花苗
- 授業の一環のためのきのこ原木や種駒
- 観察台や植物解説プレート作製に活用

- 近隣事業所の無償提供
  - ・遊歩道に敷く木の皮チップ
  - ・巣箱作製の木板
  - ・生物の保全を目的とした植物の苗木
  - ・地域住人、福祉事業所から人的協力（草刈・草集め・植物の移植、植樹）

活動前の暗くうっそうとした裏山

1．放置された森のリセットの間伐（H24年冬）

間伐後の明るく風通しの良くなった森

地域住民・地域福祉施設職員利用者の協働作業

地域住民・福祉施設職員の
うっそうとしたヤブの刈り払い

障がい施設利用者の草集め
社会参加「がんばるぞ！」

2．希少生物の保全・増殖の活動

近隣の山から国蝶オオムラサキの食樹エゾエノキの移植作業

地域住民・福祉施設職員の協働で朝から真っ暗になるまで奮闘！

カブトムシ・クワガタムシ増殖の床
おがくず・枯れ木・落ち葉をサンドした
幼虫の床。毎年落ち葉や枯れ木を補充。

13

地域の協働作業・行事

・地域住民・事業所・福祉施設 ・大学等との協働・交流
・授業の一環とした里山体験　　（草苅後の集合写真）

14

４月　キノコ植菌体験

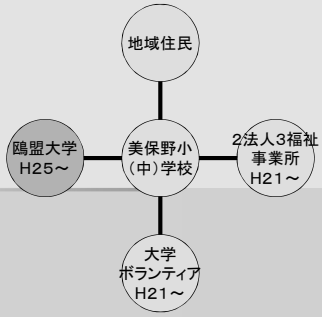
障害福祉施設のノウハウで親子で体験

15

キノコ原木の養生中　（シイタケ・ナメコ・ヒラタケ）

16

H25新たな協力団体の参加協力
（国蝶オオムラサキの調査研究を目的に参加）



17

６月　植樹活動　広葉樹（エゾエノキ・ナラ類等）

学童・お祖父ちゃんや鴎盟大学の大先輩とペアで体験

18

グランドゴルフ大会
家族・地域・福祉施設利用者と

19

授業での観察会

この葉っぱには　・・・・？
虫の苦手な子も少しは？

20

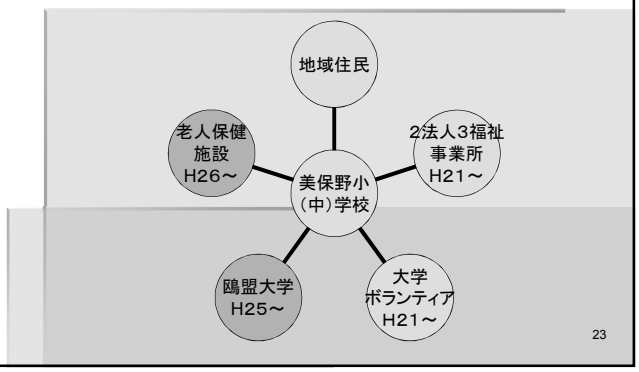
カブトムシ幼虫探し　2012年小中学生で作った
床にゴロゴロ。初めて触れる子も

21

八戸東地区学校PTA連携協
議会視察の様子（H26）
他、東北都市学会等

22

H26美保野小（中）学校地域学校
連携協議会の現在の組織



23

9月　第1回美保野夏まつり（今年は3回目の予定）
住民・地域事業所・福祉施設が協賛・協働
ブラバン演奏・歌謡ショー・カラオケ大会など
1，000人を越える参加で大盛況！

24

地域の協力に一人ひとり感謝の言葉

2月　巣箱づくり

授業の一環の巣箱作り

「どんな小鳥が気に入ってくれるかな？」

巣箱の設置（15個）

冬季の間伐材・枯れ枝の片付け

地域障がい施設利用者さんが活躍！　　チップ機も活躍！

地域の薪ストーブ利用の方々も自主的に片付け（本来の里山利用）

H26年春　車椅子でも安全な散策道の設置

地域・福祉施設・鴎盟大学の協働

26年6月　木漏れ日のチップ散策道完成

H26. 秋　植物解説プレート作製

H26. 秋　観察台の作製（普段は談話のスペースに活用）

32

27年春　植物解説プレートの設置（60個）

33

34

「元気な八戸づくり市民奨励金」による活動の表示板設置

35

この春　学童・地域・福祉施設協働の花壇づくり

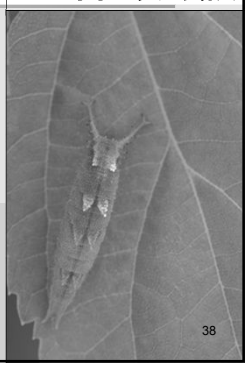
36

地域に棲息する生物の紹介

37

←里山代表ツーショット
オオムラサキやカブトムシの活発な活動が観察される。

オオムラサキ幼虫



38

地域に棲息する稀少な昆虫たち
（青森県レッドデータ選定種7種確認）

スジボソヤマキチョウ

ヒメシロチョウ

キマダラモドキ

ゴマダラカミキリ

シロスジコガネ

40

41

アオオサムシ

カラスアゲハ

42

ルリボシカミキリ

43

セイタカアワダチソウ　ナガボノシロワレモコウ

44

ウマノアシガタ　ツリガネニンジン

45

ササバギンラン　ネジバナ

46

美保野の動物たち

鳥類

- スズメ　・ツグミ
- ヒバリ　・キジバト　・トビ
- コムクドリ（営巣・巣立ち）
- ムクドリ
- ヒヨドリ　・カルガモ　・モズ
- ハシボソガラス・ハシブトガラス
- アカゲラ（営巣・巣立ち）
- コゲラ
- ホオジロ・カシラダカ・カワラヒワ
- エナガ　・コガラ
- シジュウカラ（巣箱に営巣巣立ち）
- カッコウ　・ホトトギス
- キジ　・　ウグイス
- オオヨシキリ　・ハクセキレイ

ほ乳類

- アズマモグラ
- ホンドタヌキ
- ホンドキツネ
- ホンドイタチ
- ムササビ
- ヤマネ（国の天然記念物）
- ノウサギ
- ニホンリス
- カモシカ（国の天然記念物）

47

48

協議会発足からの活動成果

- 小学生の授業の一環として、整備された安全な環境での里山活動体験。
  （キノコ植菌・植樹・観察会・巣箱作り）
- 学童と大学生・年配の方々、障がいのある人たちとの交流
  （植樹・運動会・グランドゴルフ大会・夏祭り）
- 地域住民・福祉事業所の連携・協働のいっそうの推進
  （草苅・地域のごみ拾い・夏祭り・里山の環境整備）
- 里山の復元活動と生物の保全・増殖活動による効果
  （オオムラサキの発生・定着の確認。他、希少種の生息確認。
  カブトムシの発生量増。）
- 新たな活動団体の参加・協力 ： 鴎盟大学・老人保健施設
- 里山活動の拡がり： 種差小学校・県立種差少年自然の家

終わりに

里山活動により地域連携・活性化をいっそう推進するとともに、子供たちの情操教育の一助になることを望むものです。

また、市民が里山環境の体験が出来る様に広報するとともに、空き教室において学校・地域の歴史や里山環境の資料の展示作業を進めているところです。

この里山環境を継続的に維持することで、里山環境に依存してきた生物の種の存続と、市民にとって里山の原風景を体感出来る環境を後世につなぎ、更に本活動の輪が拡がる事を期待し活動を継続するものです。

ご清聴 ありがとうございました。

地域密着型教育推進事業実践研究発表会

地域の子どもは地域で育む

～青森県一大規模校の取組～

平成２８年１月１８日

八戸市立白山台小学校

学校支援コーディネーター：川村由紀子

---

1 白山台小学校 の紹介

・八戸ニュータウンの中心地（新興住宅地）

・児童数大幅増加

平成　８年開校　　８学級　２２９名

平成２８年１月現在　３０学級　８９２名

・平成２９年４月　西白山台小学校（新設）と分離(予定)

＜地域密着型教育推進事業への経緯＞

・平成２０年度　学校支援地域本部事業開始

・平成２３年度　地域密着型教育推進校に指定

・平成２５年度　白山台中学校との連携開始

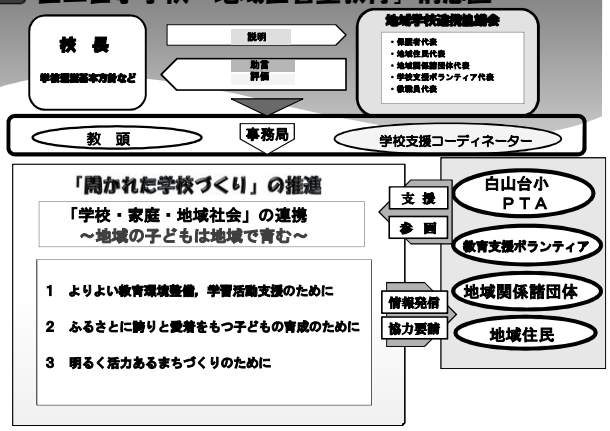
・平成２７年度　地域密着型教育推進事業へ完全移行

「八戸市立白山台中学校区　地域学校連携協議会」

白山台小・中合同で協議会委員を委嘱し開催

---

2 白山台小学校「地域密着型教育」構想図



「地域密着型教育」を通じて，

学校・家庭・地域社会が連携・協力し，
子どもたちに「確かな学び」と「豊かな育ち」を！

学校支援コーディネーターの役割

◇学校とボランティアとの
　連絡・調整
◇各活動の推進リーダー
　など

1　よりよい教育環境整備，学習活動支援のために

◇よみきかせ・図書支援の充実（装飾）　学習支援　環境整備

2　ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもの育成のために

～特色ある教育活動の推進～

◇子ども俳句　「ふるさと」学習　あいさつ日本一への取組

◇八戸七夕まつり，花火大会，三社大祭への参加

3　明るく活力あるまちづくりのために

◇安全，安心なまちづくり　　◇子どもの健全育成

3 教育支援ボランティアの取組について

地域の教育力を学校の教育活動に生かしながら，
「地域の子どもは地域で育む」

〈平成27年度教育支援ボランティア登録人数〉

・白山台小学校児童の全保護者・・・・・711名
＜その他＞
・白山台地域住民・・・・・・・・・・・・・　24名
・白山台地域以外の方々・・・・・・・　6名

・地域関係団体・・・・・・・・・・・・・・・　4団体
（ 計 741名 と 4団体 ）
（その都度，募集するボランティア活動もあります。）

①「教育ボランティア募集」の流れ

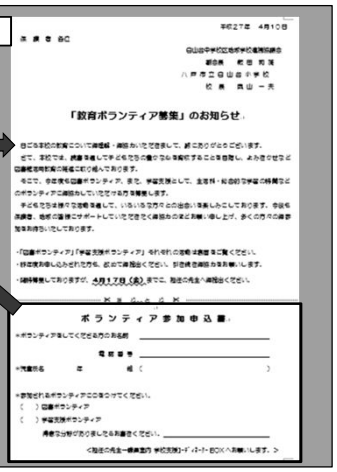
4月

1.「教育ボランティア募集」
手紙作成・配付

2.「ボランティア参加申込書」
受 付

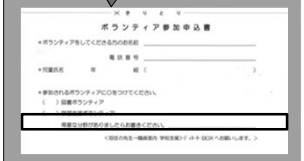
3. ボランティア名簿
作 成

4. 校長，教頭，各学年主任へ
配付・活用

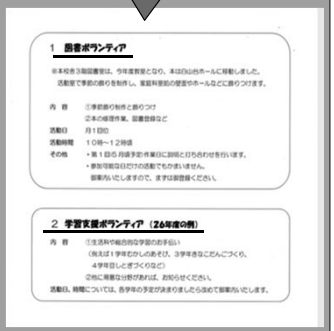


①「教育ボランティア募集」の流れ

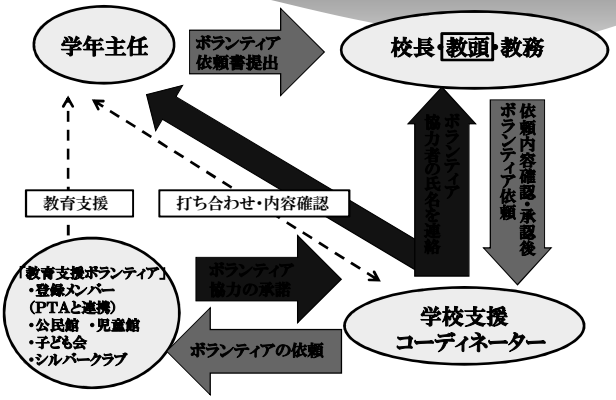
工夫１



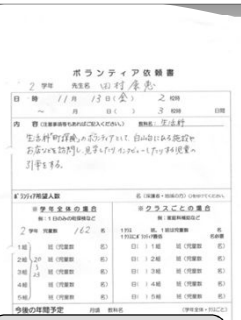
工夫２



②ボランティア要請から活動までの流れ



③ボランティア依頼書提出からの流れ



1. 学年主任が
ボランティアを希望する月日，
人数，希望するボランティアの
支援内容等を記入して提出。

2. 承認後，
教頭はコーディネーターに渡す。
コーディネーターは登録メンバーに
呼びかけ，決定後，学校と学年主
任に決定内容の一覧を配付する。

③ボランティア依頼を受けた時の工夫

工夫①
過去のボランティア内容の一覧を載せていること。

工夫②
特別な内容の講師が必要な場合は、地域の方や公民館に先に日時を確認すること。

工夫③
ボランティア人数が足りないときは、PTA・諸団体と連携して、人材を確保すること。

4 「教育支援ボランティア」の内容

（1）図書ボランティア

①朝の「よみきかせ」（15年目）
- 5月～2月　年9回　朝8時～8時30分
- 各学級に一人ずつボランティアが入り，本のよみきかせを行う。

②季節飾り制作　・本の修理

（2）登校安全指導

（3Aサポーター・安協白山台支部）

- 朝の登校見守り
- 交通安全指導

（3）環境整備支援

（シルバークラブ，PTA環境美化委員会）

- 校地内草刈り，草取り
- 環境整備作業

（4）学習活動支援

①授業・学習にかかわる支援
- 家庭科ミシン学習補助
- 安全マップづくり引率補助
- まちたんけん引率補助
- 白山台ふれあいの路探検引率補助
- 生活科「むかしのあそび」
- 動物ふれあい学習補助
- かきぞめ学習補助

②学校行事にかかわる支援
- 入学式・卒業式控え室の接待・留守番

③地域・ふるさと学習支援
- 「あいさつ看板」取り付け補助
- 創立20周年記念事業補助
  - 「八戸花火大会」花火玉募金活動引率補助
  - 「はちのへ七夕祭り」七夕飾りづくり補助
  - 「八戸三社大祭」引率補助
- きなこと白玉だんごづくり
- 豆しとぎづくり

5 活動のようす

（1）図書ボランティア

①朝の「よみきかせ」ボランティア
- 朝8時～8時30分（年9回）
- 今年，15年目

今年度のよみきかせボランティアの皆さん

「創立20周年記念事業」新山淑子元校長先生のおはなし会

「創立20周年おめでとう！」完　成！

季節飾り制作

本の修理

(2)登校安全指導

八戸ニュータウン
3A運動サポーターの皆さん
・平成16年4月に結成

八戸地区交通安全協会　白山台支部の皆さん

(3)環境整備支援

白山台地区シルバークラブ連合会，
PTA環境美化委員会の皆さんと子どもたちによる
「校地内草刈り」

環境整備作業

(4)学習活動支援

①授業・学習にかかわる支援

家庭科～ミシン学習補助～

学習活動支援～児童引率～

・まちたんけん（2年）
・八戸市中心街探検（3年）

生活科～むかしのあそび～

動物ふれあい学習支援

②学校行事にかかわる支援

行事受付補助・接待・留守番

③地域・ふるさと学習支援

「あいさつ看板」取り付け補助

あいさつ看板を作りました。
地域に役立ててください。

創立20周年記念事業 活動補助

創立20周年記念事業 八戸花火大会

花火の紹介アナウンス

③地域・ふるさと学習支援

調理活動補助

・豆しとぎづくり（4年）
・きなこと白玉だんごづくり（3年）

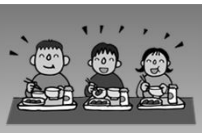
⑥ 取組の成果

＜成果①＞

＊　学校のねらいや子どもたちの興味関心に合わせた学習ができるので，子どもたちが生き生きしている。

　また，一人一人に十分な支援をすることができ，学習の成果を上げている。

＜成果②＞



＊「コーディネーターさんがいてくれて大変助かる。おかげで，子どもたちと向き合う時間が増えた。」先生方に，コーディネーターの役割を理解してもらい，活用していただけるようになった。

＊学校と地域をつなぐ橋渡しの役目を果たすことができた。

＜成果③＞

＊保護者をはじめ，地域の方々等，快く協力してくださる方が年々増え，三世代交流ができている。また，ボランティアに来てくださることを楽しみにしてくださっている。

＊子どもたちは，ボランティアの方々と顔見知りになり，安心感をもって安全に登校することができている。

＊校外でも進んで挨拶する子どもが増えている。

＜成果④＞

＊地域学校連携協議会では，
平成29年度の西白山台小学校開校や学校が抱える課題について情報交換や話し合いを行っている。
学校の課題を共通理解し，それぞれの立場で改善策を話し合うことにより，学校・家庭・地域が「共に力を合わせて子どもたちを育てていこう」という意識を高めることにつながった。

⑦ 今後の課題

◇見通しをもったボランティア活動の推進

・今年度の活動を参考に次年度の大まかな計画を立て，早めの人材確保に努める。

◇ボランティアの新メンバー確保と日程調整

・平成２９年度，西白山台小学校開校。
現在のボランティアメンバーとの情報交換を密にし，新メンバー確保のため情報収集に努める。

・先生方は，各学年支援ボランティアの日時をぎりぎりに決めることが多い。
しかし，ボランティアの方からはもっと早く教えてほしいとの声。
約１ヶ月前には，お知らせができるように，改善していきたい。
（約５０名いらっしゃる先生方とのコニュニケーションの取り方を工夫する。）

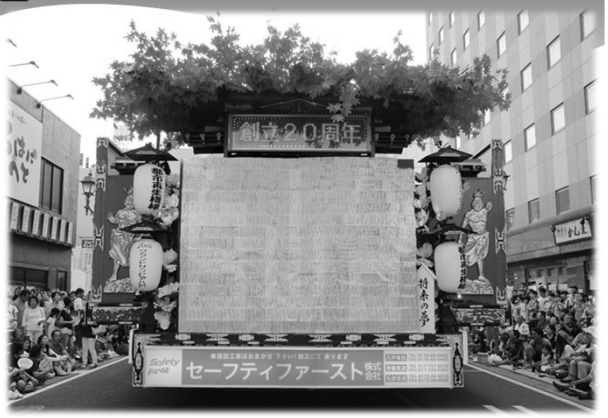
・広報紙や学校ブログで，ボランティアの活動を紹介し，周知を図る。

広報紙「白山台小学校学校支援センター」便り

広報紙「白山台小学校学校支援センター」便り

～地域の子どもは地域で育む～

3 おわりに



平成27年2月23日 発行

「白山台小学校学校支援センター」便り

今年度も、地域と保護者の皆様で子どもたちの笑顔を応援してくださり、誠にありがとうございました。
学校支援ボランティアの１年間の活動を御紹介します。詳細は、小学校 HP「学校支援センター」を御覧ください。
来年度も、皆様の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

朝のよみきかせ

年 ９ 回実施（5月～2月）

地域の方・保護者３０名で活動。 朝８時～ 各学年全２７クラスに入り、よみきかせを行いました。
子どもたちもボランティアの方々も、よみきかせの時間をとても楽しみにしています。

図書ボランティア

年 ８ 回実施（6月～2月）

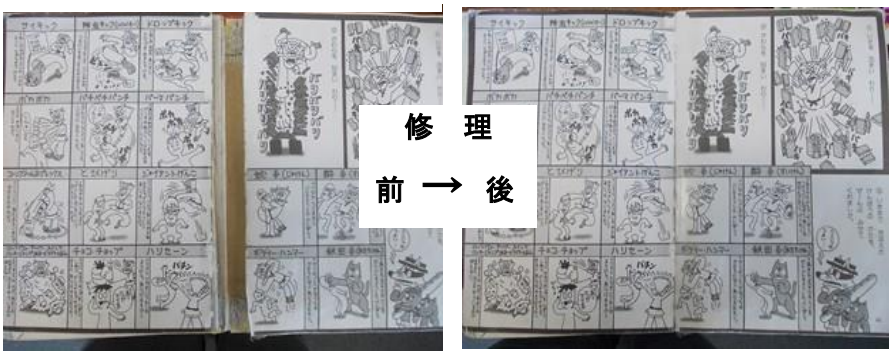
地域の方・保護者１３名で活動。 季節の飾り制作と飾りつけ、本の修理作業などを行いました。
６月七夕飾り制作を行い、子どもたちから、本に関する願い事を短冊に書いて貼ってもらいました。

図書室の本に破れなどあった場合

付箋やメモ書きなどを本にはさみ、返却手続きを済ませてから、先生・図書委員に渡します。

セロハンテープは、劣化して本を傷めるため使用しないでください！

ボランティアが、本専用補修テープで修理します。



学　習　支　援

※各学年学習支援は他にも、町探検・スケート教室（靴ひも結び）などを行っています。

♪１学年「むかしのあそび」

１月２３日と２６日の２日間、５クラスが「むかしのあそび」８種類（あやとり・めんこ・こま・おはじき・けん玉・お手玉・だるまおとし・紙ふうせん）を行い、地域・保護者３５名の方が教えてくださり、楽しい３世代間交流ができました。初めはうまくできなかった子どもたちも、各１校時（４５分）の間にみるみる上達！担任の先生・ボランティアの方々は、とても感心していました。

学　習　支　援

♪3学年「きなこだんごづくり」

２月１２日～１８日の土日を除く５日間、５クラスが「きなこだんごづくり」と題し“きなこと白玉だんごづくり”を行い、地域から４名の方が御指導・補助、各クラス保護者の方もお手伝いしてくださいました。子どもたちは「大豆を炒ったら香ばしくていいにおい。」「きなこの色も味も各班で違い、びっくりした！」「きなこの色が違うのは、なぜだろう？」などと実習していました。

♪4学年「豆しとぎづくり」

２月３日～６日の４日間、４クラスが「豆しとぎづくり」を行い、地域から３名の方が御指導・補助、各クラス保護者の方もお手伝いしてくださいました。手作りは保護者の方も初めて。青豆・黒豆とも生と焼いたものを食べ比べました。子どもたちは班のみんなで協力して実習し、「南部地方のものを自分の手で作り、自分たちで食べられてよかった。」など感想を述べました。

白山台シルバークラブ連合会＆PTA 環境美化委員会　草刈り

７月１９日、白山台シルバークラブ連合会と PTA 環境美化委員会・子どもたち、先生方、計９７名が毎年暑い中、校地内草刈りをしてくださり、おかげさまですっきりときれいになりました！

登校時交通安全指導ボランティア

３Ａサポーター５名の方は、４月～１２月まで６時５０分～７時４０分頃まで「ミニストップ前交差点」で、毎朝子どもたちのために交通安全指導をしてくださっています。
保護者の方も、PTA 交通安全委員会の“朝の街頭活動”に、是非御協力をお願いいたします。

年３回

『地域学校連携協議会』開催

「子どもたちを、学校・家庭・地域社会が連携協力して育てる」＝『地域密着型教育』学校教育充実のために、『地域学校連携協議会』を、今年度委嘱された２８名のメンバーで、年３回行いました。

白山台小学校では、初めて「むかしのあそび」を行い、地域・保護者の皆様から教わりました。

地域の矢田さんが、手作りの「たたきごま」などを寄付してくださり、子どもたちも初めて見る「たたきごま」に一生懸命挑戦して、棒の先についた布でたたき、回していました。

８種類の「むかしのあそび」、「きなこだんご」と「豆しとぎ」づくりに、瞳を輝かせている子どもたちを見て、とても幸せに思いました。

皆様の御支援、御協力のおかげです。心からお礼申し上げます。

白山台小学校支援コーディネーター　川村 由紀子

お問い合わせは

白 山 台 小 学 校
℡２７－９２００

平成２７年　４月１０日

保　護　者　各位

白山台中学校区地域学校連携協議会
副会長　　飯 田　和 雄
八 戸 市 立 白 山 台 小 学 校
校　長　　奥 山　一 夫

「教育ボランティア募集」のお知らせ

日ごろ本校の教育について御理解・御協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本校では、読書を通して子どもたちの豊かな心を育成することを目指し、よみきかせなど図書館活用教育の推進に取り組んでおります。

そこで、今年度も図書ボランティア、また、学習支援として、生活科・総合的な学習の時間などのボランティアに御協力していただける方を募集します。

子どもたちは様々な活動を通して、いろいろな方々との出会いを楽しみにしております。今後も保護者、地域の皆様にサポートしていただきたく御協力のほどお願い申し上げ、多くの方々の御参加をお待ちいたしております。

・「図書ボランティア」「学習支援ボランティア」それぞれの活動は裏面をご覧ください。
・昨年度お申し込みされた方も、改めて御提出ください。引き続き御協力をお願いします。
・随時募集しておりますが、４月１７日（金）までに、担任の先生へ御提出ください。

✂　き　り　と　り　✂

ボ ラ ン テ ィ ア 参 加 申 込 書

＊ボランティアをしてくださる方のお名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電 話 番 号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊児童氏名　　年　　組（　　）

＊参加されるボランティアに〇をつけてください。

（　　）図書ボランティア

（　　）学習支援ボランティア

得意な分野がありましたらお書きください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＜担任の先生→職員室内 学校支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ BOX へお願いします。＞

１　図書ボランティア

※本校舎３階図書室は、今年度教室となり、本は白山台ホールに移動しました。
　活動室で季節の飾りを制作し、家庭科室前の壁面やホールなどに飾りつけます。

内　容　①季節飾り制作と飾りつけ
　②本の修理作業、図書登録など

活動日　月１回位

活動時間　１０時～１２時頃

その他　・第１回(5 月頃予定)作業日に説明と打ち合わせを行います。
　・参加可能な日だけの活動でもかまいません。
　御案内いたしますので、まずは御登録ください。

２　学習支援ボランティア（26年度の例）

内　容　①生活科や総合的な学習のお手伝い
　（例えば１学年むかしのあそび、３学年きなこだんごづくり、
　４学年豆しとぎづくりなど）
　②他に得意な分野があれば、お知らせください。

活動日、時間については、各学年の予定が決まりましたら改めて御案内いたします。

平成２７年　４月２０日

各学年主任先生各位

白山台小学校学校支援センター
学校支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　川村由紀子

学習支援ボランティア依頼書について

いつも大変お世話になっております。
今年度も、学校支援コーディネータをさせていただきます川村由紀子と申します。
前コーディネーターから引き継ぎ、23 年度～５年目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

コーディネーターは、先生がボランティアを活用することで子どもと向き合う時間を確保するため、学習支援や環境整備など学校と保護者や地域ボランティアとの連絡・調整などを行っております。

先週、保護者の方に教育ボランティアの募集をしたところ、今年度も「学習支援・図書ボランティア」の申し込みがありました。各学年主任の先生に名簿をお配りいたしますのでぜひ御活用ください。また、裏面に２３～２６年度の活動内容を載せましたので、参考に御覧ください。

もし、保護者や地域の方のボランティアが必要な場合、先生と御相談しながら、こちらの方でお願いや調整、お手紙作成～配付、出欠のとりまとめや名簿・名札作成などいたしますので、御遠慮なく御連絡をいただけたらと思います。

大体ほぼ毎日来校しておりますが、休み時間ではゆっくり話を伺うことができませんので、「学習支援ボランティア依頼書」に御記入のうえ、教頭先生にお渡ししていただけないでしょうか。
依頼書下側“川村とのご都合のよい相談日時”をご記入くだされば、先生の御都合のよい時間にお伺いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

☆平成 23～26 年 度　学 習 支 援 活 動 内 容

◎ 1 学 年

・26年度　むかしのあそび　1月23日(金)・26日(月)　2～4校時 学年保護者・地域

◎ 2 学 年

・25年度　町探検　11月8日(金)　学年保護者

◎ 3 学 年

・26年度　きなこだんごづくり　2月12日(木)～18日(水) 各3･4校時　学年保護者・地域
〃　八戸市中心街探検　10月31日(金)　1～4校時　学年保護者

・25年度　きなこ・白玉だんごづくり　2月18日(火)～21日(金)・24日(月) 各3･4校時
学年保護者・地域
〃　町探検　11月1日(金)　1～4校時　学年保護者
・24年度　きなこ・白玉だんごづくり　2月18日(火)～21日(金) 各3･4校時
(19日のみ5･6校時)　学年保護者・地域
〃　町探検　10月30日(火)　9時～12時　学年保護者

◎ 4 学 年

・26年度　豆しとぎづくり　2月3日(火)～ 6日(金) 各3･4校時　学年保護者・地域
・23年度　豆しとぎづくり　2月7日(火)～10日(金) 各3･4校時　学年保護者・地域

◎ 5 学 年

・25年度　地域安全マップづくり　11月12日(火)　学年保護者
・23年度　地域安全マップづくり　9月2日(金)8時50分～11時20分　学年保護者
・23年度　家庭科実習補助（ミシン）11月7日(月)・10日(木) 各1～4校時　学年保護者
・23年度　きんかもちづくり　2月27日(月)～3月2日(金) 各3･4校時　学年保護者・地域

※例えば、町探検付き添いなど　各学年の先生や委員長が、学年内でお願いしていた部分などもこちらで引き受けます。日時・必要人数などを「学習支援ボランティア依頼書」で早めに御連絡をお願いいたします。

中には、仕事をしている保護者の方で、仕事をお休みしてボランティアに協力したいと思ってくださる方もおみえになります。できましたら、約1ヵ月前には保護者に募集案内を配付予定ですので、1ヵ月以上前に依頼書をいただけましたら助かります。

ボ ラ ン テ ィ ア 依 頼 書

学年　　先生名

日　時	月	日（　　）	校時		
～	月	日（　　）	校時	日間	

内　容（注意事項等もあればご記入ください。）　教科名：

ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ希望人数　名（保護者・地域の方）○を付けてください。

※学年全体の場合 例：1日のみの町探検など			※クラスごとの場合 例：家庭科補助など		
学年　児童数		名	1ｸﾗｽ　班、1班は児童数 1ｸﾗｽにﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ最低		名 名必要
1組	班（児童数	名）	日(　)1組	班（児童数	名）
2組	班（児童数	名）	日(　)2組	班（児童数	名）
3組	班（児童数	名）	日(　)3組	班（児童数	名）
4組	班（児童数	名）	日(　)4組	班（児童数	名）
5組	班（児童数	名）	日(　)5組	班（児童数	名）

今後の年間予定　月頃　教科名　（学年全体・ｸﾗｽごと）

ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ希望人数　名（保護者・地域の方）○を付けてください。

☆川村とのご都合のよい相談日時をご記入ください。お伺いいたします。
月　日(　)　時　分頃

４章　関係資料

１　地域密着型教育推進事業実施要項 ・・・・・・・・・・・・・・・ 179

２　八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における
地域学校連携協議会の設置に関する要綱 ・・・・ 181

３　地域密着型教育推進事業に係る
「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱 ・・ 185

４　地域密着型教育推進事業基本構想図 ・・・・・・・・・・・・・・ 187

５　同一学区内地域学校連携協議会の形態例 ・・・・・・・・・・・ 188

地域密着型教育推進事業実施要項

八戸市教育委員会

１．趣　　旨

近年、少子高齢化や核家族化、都市化などの社会現象に伴い、家庭や地域の教育力が十分に発揮しにくい状況が生じている。一方、学校においては、社会の急激な変化にも柔軟に対応できる「生きる力」を子どもたちに身に付けさせるために、教育内容を一層充実させることが強く求められている。

このことから、八戸市教育委員会では、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を推進し、推進校の運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとする。

２．地域密着型教育推進校における実践内容

八戸市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者および地域住民が学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

（１）「願い」「情報」「責任」「学び」の４つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。

（２）教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。

（３）地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

３．推進校の指定

（１）学校が指定を希望し、教育委員会が指定する。

（２）指定は、単年度ごととする。

（３）新規指定校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。

４．推進校における本事業に係る経費

本事業に要する経費の取扱いに関しては別に定める。

５．推進校の組織

推進校においては、次の（１）～（４）に即して地域学校連携協議会を組織し、運営することとする。（５）（６）については、推進校の裁量とする。

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）

（２）委員（理事）の任命

①校長の推薦により、教育委員会が任命する。

②委員（理事）は、保護者、地域住民、教職員、地域の幼児教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等をもって構成する。

③委員（理事）の人数は１５人程度とする。

④任命期間は１年以内とし、再任を妨げない。

⑤委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

⑥報酬については無償とする。

（３）会長及び副会長

①地域学校連携協議会に、会長１名と副会長若干名を置く。

②会長は校長が指名する。副会長は校長と会長が協議の上、会長が指名する。

（４）会議

①委員（理事）の半数以上の出席で、会議が成立する。

②議事は出席委員（理事）の過半数で決し、可否同数の時は会長が決する。

（５）専門部会（月１回程度）

（６）企画・推進部会

６．主な機能

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）において、次の各項について協議し、校長に対して意見を述べることができる。

①教育目標及び学校経営方針

②教育課程の編成に関する方針

③施設、設備の管理及び整備に関する方針

④各事項の前年度運営実績

⑤次年度の学校運営に生かすための、学校運営全般に関わる評価

⑥その他校長が必要と認める事項

（２）専門部会は、次の規定に基づいて活動する。

①専門部会の数や内容・名称については、各学校や地域の実態に合わせて設定する。

②各専門部会は賛助ボランティア委員を募り、それぞれの活動の充実に向けて取り組む。

（３）企画・推進部会は、次の各項の機能に基づいて活動する。

①保護者や地域住民等の意見・要望を教育活動に反映させるための具体策を企画・運営する機能

②各専門部会の活動内容を連絡・調整する機能

③学校行事の運営への参画や教育ボランティア活動の推進に関して協議する機能

（４）推進校においては、渉外等の事務機能を有する事務局を置くことができる。

八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における地域学校連携協議会の設置等に関する要綱

（目的）

第 1 条　この要綱は，地域密着型教育推進校（以下「推進校」という。）における地域学校連携協議会（以下「協議会」という。）に関し，必要な事項を定めるものとする。

（趣旨）

第 2 条　協議会は，八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び校長の権限と責任の下，児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として，その学校の運営に関して，地域の住民及び保護者等（以下「地域住民等」という。）の参画等を進め，地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

（1）学校と地域住民等との信頼関係を深め，その教育力を相互に高め合うことを通して，よりよい教育環境と支援体制を整備し，学校教育の質を向上させること

（2）教育方針等に地域住民等の願いや地域の特色を反映させることにより，児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむこと

（3）地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して，明るく活力あるまちづくりに貢献すること

（指定）

第 3 条　各校長は，地域住民等の意見を踏まえ，推進校の指定を教育委員会に申請することができる。

2　教育委員会は，前項の規定による申請があった場合において，前条の設置目的が達成できると認める場合には推進校の指定をすることができる。

（基本方針等の説明）

第 4 条　推進校の校長は，次に掲げる事項について，協議会の意見を基に，毎年度基本的な方針等を作成し，その内容を同協議会に説明するものとする。

（1）　教育目標及び学校経営に関すること

（2）　教育課程の編成に関すること

（3）　施設，設備の管理及び整備に関すること

（4）　その他校長が必要と認める事項

2　校長は，前項の基本方針等に基づき，その権限と責任によって学校運営を行わなければならない。

3　校長は，第 1 項各号に掲げる事項の前年度の運営実績を協議会に報告するものとする。

（運営についての意見）

第 5 条　協議会は，推進校の運営に関する事項（予算の編成及び執行に関する事項並びに職員の採用，任用，分限，及び懲戒に関する事項を除く。）について，校長に対して意見を述べることができる。

（運営に関する評価）

第 6 条　協議会は，学校の運営状況について毎年度 1 回以上の評価を行うものとする。

2　協議会が，文部科学省の「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」に沿った

学校関係者評価を行う場合においては，推進校の校長その他の教職員は，委員（理事）として意見を述べることはできない。

（運営への参画促進）

第 7 条　協議会は，推進校の運営について，地域住民等の理解，協力，参画等が促進されるよう努めるものとする。

（情報発信）

第 8 条　協議会は，地域住民等に対して，その活動状況に関する情報を積極的に発信するとともに，地域住民等の意見・要望等を把握し，その運営に反映するように努めるものとする。

（児童又は生徒の意見の聴取）

第 9 条　協議会は，校長の同意を得て，推進校の児童又は生徒の意見を聴取することができる。この場合において，児童又は生徒の発達の段階等に応じ，必要な配慮をしなければ ならない。

（委員の委嘱）

第 10 条　協議会の委員（理事）は，次に掲げる者のうちから，教育委員会が委嘱する。

(1)　推進校に在籍する児童又は生徒の保護者

(2)　推進校の地域の住民

(3)　推進校の教職員

(4)　地域の保育関係者，幼児教育関係者，学校教育関係者

(5)　学識経験者

(6)　関係行政機関の職員

(7)　前各号のほか教育委員会が適当と認める者

2　委員（理事）は，その一部を公募できるものとする。

3　推進校の校長は，委員（理事）を推薦することができる。

4　委員（理事）の定数は，校長と協議の上，15 人程度で教育委員会が定める。

5　委員（理事）に欠員が生じたときは，教育委員会は新たに委員（理事）を委嘱することができる。

6　委員（理事）は，地方公務員法（昭和２５年法律第２６１号）第 3 条第 3 項第 2 号に規定する特別職の非常勤職員とする。

（委員の任期）

第 11 条　委員（理事）の任期は，委嘱の日から１年以内とする。ただし，任期途中の委員（理事）の交代等に伴う補欠の委員（理事）の任期は，前任者の残任期間とする。

2　委員（理事）は，再任されることができる。

3　第１項の規定に関わらず，推進校の指定の期間が満了したとき又は指定が取り消されたときは，委員（理事）は，その身分を失う。

（守秘義務等）

第 12 条　委員（理事）は，職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

2　前項のほか，委員（理事）は次の各号に掲げる行為をしてはならない。

(1)　協議会及び推進校の運営に支障をきたす言動を行うこと。

(2)　委員（理事）としての地位を営利行為，政治活動，宗教活動等に不当に利用すること。

(3)　委員（理事）の職の信用を傷つけ，又は委員（理事）の職全体の不名誉となるような非行を行うこと。

（報酬等）

第 13 条　委員（理事）の報酬及び費用弁償については，無償とする。

（会長及び副会長）

第 14 条　協議会に，会長 1 名及び副会長若干名を置く。

2　会長は校長が指名する。副会長は，校長と協議の上，会長が指名する。ただし，推進校の校長その他の教職員を会長又は副会長に指名することはできない。

3　会長は，会務を総理する。

4　副会長は会長を補佐し，会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは，その職務を行う。

5　副会長が複数名いる場合は，会長の職務代行についての副会長の優先順位をあらかじめ定めておく。

（議事）

第 15 条　会長は，校長と協議の上，協議会の会議を招集し，議事を掌る。

2　会議は，委員（理事）の半数以上が出席しなければ，開くことができない。

3　議事は，出席委員（理事）の過半数で決し，可否同数のときは会長の決するところによる。

4　会長は，必要があるときは，校長から報告及び説明を求めることができる。

5　校長は，会議に出席し，及び意見を述べ，並びに職員を出席させることができる。

6　協議会の協議事項について個人的に利害を有する委員（理事）は，当該協議事項について意見を述べ，又は議決に加わることはできない。

（専門部会等）

第 16 条　校長は，第 7 条に規定する学校運営への参画等を具体的に進めるため，協議会に専門部会（プロジェクト）等を置くことができる。

2　前項の専門部会（プロジェクト）等の具体的内容については，学校の実態に則して，各推進校の協議会会則で定めるものとする。

（指導及び助言）

第 17 条　教育委員会は，協議会の運営に関し，その求めに応じて指導及び助言を行うものとする。

2　推進校の校長及び教育委員会は，協議会が適切な活動を行うことができるよう情報の提供及び説明に努めるものとする。

（指定の取消し）

第 18 条　教育委員会は，次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合は，必要に応じて適切な指導・助言を行うものとし，当該指導・助言等にもかかわらず，事態が改善しない場合は，推進校の指定を取り消さなければならない。

(1)　協議会が機能せず，その設置の目的を果たせないとき。

(2)　協議会としての合意形成が行えないとき。

(3)　その他協議会の運営が著しく適正を欠くことにより，推進校の学校運営に現に著しい支障が生じ，又は生じるおそれがあるとき。

2　校長は，前条第 2 項の規定による情報の提供及び説明に努めたにもかかわらず，基本方針等について協議会の了解が得られないとき又は推進校の運営に現に著しい支障が生じ，若しくは生じるおそれがあるときは，指定の取消しを申し出ることができる。

（解任）

第 19 条　教育委員会は，本人から辞任の申出があったときのほか，次の各号のいずれかに該当すると認められるときは，委員（理事）を解任することができる。

(1)　第 12 条に規定する義務に違反したとき。

(2)　委員（理事）が心身の故障のために職務を遂行することができないとき。

(3)　その他，解任に相当する事由が認められるとき。

2　校長は，委員（理事）が前項各号のいずれかに該当すると認めるときは，直ちに教育委員会に報告しなければならない。

（運営等）

第 20 条　協議会は，法令及び教育委員会が定める要綱及びその設置目的に反しない範囲において，その運営に必要な事項を定めることができる。

（委任）

第 21 条　この要綱において別に定めることとされている事項及びこの要綱の実施に関し必要な事項は，教育長が定める。

附　則

この要綱は，平成２２年　４月１日から実施する。

地域密着型教育推進事業に係る「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱

（趣　旨）

第１条　この要綱は、地域密着型教育推進事業において、地域密着型教育を支援するために推進校に配置する地域密着型教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）について必要事項を定めるものとする。

（設　置）

第２条　八戸市教育委員会（以下「委員会」という）は、児童数 100 人以上の小学校及び、生徒数 80 人以上の中学校の推進校にコーディネーターを置くものとする。

２　コーディネーターは、地域密着型教育推進校（以下「推進校」という）校長の推薦により選任し、委員会が委嘱する。

３　コーディネーターは、原則１推進校１人とする。ただし、必要と認められる場合は複数名委嘱することができる。

（職　務）

第３条　コーディネーターは次に掲げる業務を行う。

(1) 推進校に設置する地域学校連携協議会の事務に関すること。

(2) 学校支援ボランティア人材バンクの作成事務に関すること。

(3) 学校が必要とする支援と人材バンク登録者や地域とのコーディネート（調整）に関すること。

(4) 地域学校連携協議会が検討した事業の実施に関すること。

(5) その他委員会及び推進校校長が学校支援に関して必要と認める事項に関すること。

（服　務）

第４条　コーディネーターは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 法令等及び委員会の職務上の命令に従うこと。

(2) 職の信用を傷つけ、又は職全体の不名誉となるような行為をしないこと。

(3) 職務上知り得た秘密を漏らさないこと。

(4) 誠実かつ公正に勤務すること。

（免　職）

第５条　委員会は、コーディネーターが次の項に該当する場合においては、その任期中においても委嘱を解くことができる。

(1) 本人の都合により退職を申し出た場合

(2) 心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合

(3) その職に必要な適正を欠く場合

(4) 刑事事件に関し起訴された場合

（任用期間）
第６条　コーディネーターは、１年を超えない期間を任期として任用する。ただし、更新することを妨げない。

（勤務日及び勤務時間等）
第７条　原則として、１週間の勤務時間はおおむね７時間以内とする。
２　勤務場所は、原則として推進校校内とする。ただし、委員会もしくは推進校校長が必要と認めた場合は、校外においても勤務することができる。

（謝礼及びその支給）
第８条　謝礼は、予算の範囲内において支給するものとし、時給８００円とする。
２　謝礼の計算期間は、一の月の初日から末日までとする。
３　謝礼の支給日は、前項の計算期間の翌月の２１日（その日が日曜日、休日又は土曜日に当たるときは、その日の前日以前で、かつ、その日に最も近い日曜日、休日又は土曜日でない日）とする。

（費用弁償）
第９条　コーディネーターに支給する費用弁償の額は、八戸市職員等の旅費支給条例（昭和28年八戸市条例第9号）第14条第1項第3号に規定する特別職の職員等以外の職員の職務にある職員相当額とする。
２　コーディネーターに対する費用弁償の支給は、一般職の例による。

（その他）
第10条　この要綱の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附　則
この要綱は、平成２２年４月１日から施行する。

地域密着型教育推進事業基本構想図

八戸市教育委員会

推進校の指定
委員の委嘱

協働による教育の質の向上
～確かな学びと豊かな育ちを保証するために～

願いの共有　情報の共有　責任の共有　学びの共有

校長

学校運営
基本方針
決定

教育目標
教育活動
施設管理
等

説明

助言
評価

地域学校連携協議会
・保護者代表
・地域住民代表
・地域関係諸団体代表
・教職員代表
・学識経験者　等

教職員

事　務　局
（教頭・コーディネーター）

保護者・地域住民

参画
支援

情報発信
協力要請

開かれた学校づくり
=学校運営への保護者・地域住民の参画

・学校と家庭・地域社会の協力と適切な役割分担
・学校運営への保護者・地域住民の参画
・学校情報・地域情報の積極的な相互発信

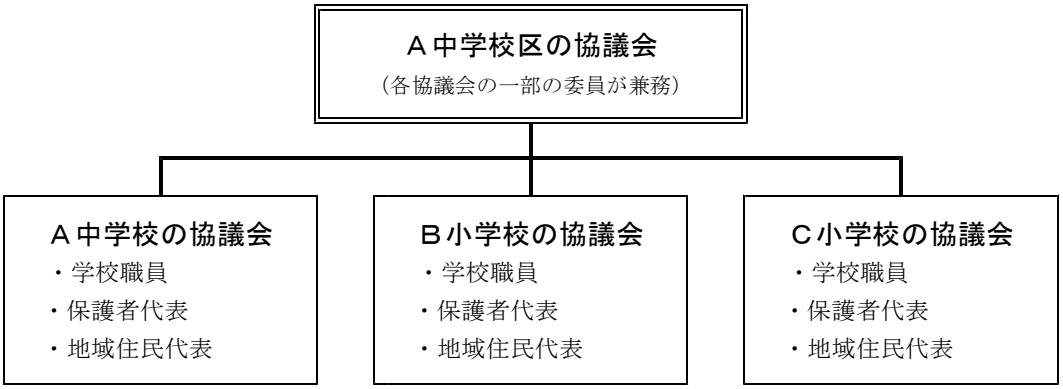
（１）よりよい教育環境・支援体制の整備
①地域の幼・保、小、中、高校の連携
②子どもたちの安全を地域全体で見守る体制の充実
③学校を支援するボランティア活動の充実

（２）ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもの育成
①保護者の願いや地域の特色を反映した教育活動
②家庭・地域社会の教育力（人材）を生かした教育活動
③地域のために活動する大人の姿から学ぶ「地域の絆」

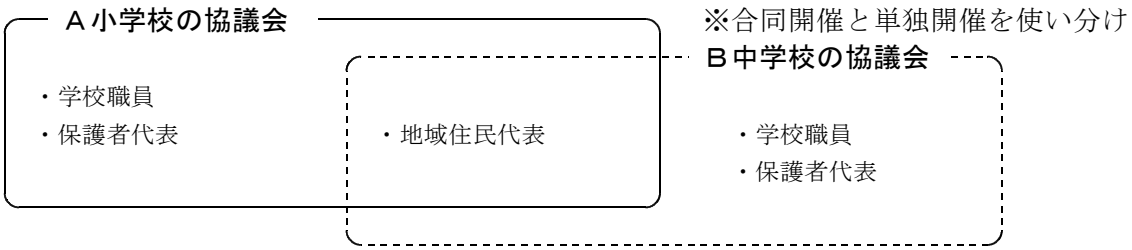
（３）明るく活力あるまちづくり
①地域の次代を担う子どもたちの健全育成
②地域のために活動する人材の育成

同一学区内地域学校連携協議会の形態例

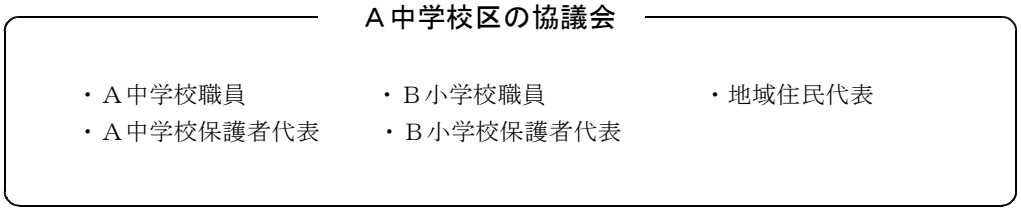
１　複数の協議会のネットワーク型



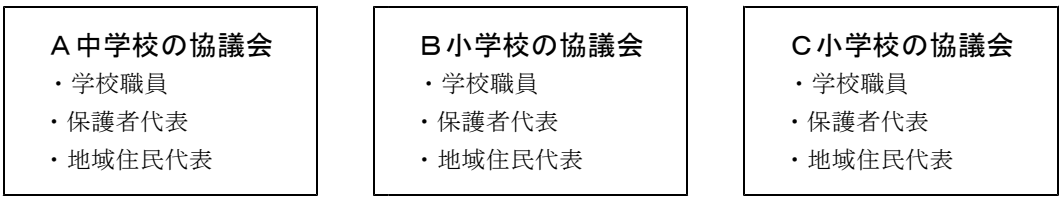
２　一部の委員が兼務する一部合同型



３　小中合同の完全一体型



４　学校別の独立型



※同じ学区にある他の学校の校長先生を委員やオブザーバーにするケースが多い

平成２７年度

地域密着型教育推進事業実践報告集

編集発行：八戸市教育委員会 教育指導課

〒031-8686　八戸市内丸一丁目１番１号
電　話　0178-43-9519（直通）
ＦＡＸ　0178-47-4997